

I 調査概要

1 調査目的

県民の、在宅療養及び、人生の最終段階における医療に関する県民意識を把握し、在宅療養に関する施策を推進する上での参考とする。

2 調査項目

- ・ 在宅療養についての御意見
- ・ 人生の最終段階における医療についての御対応や御意見
- ・ あなた御自身やあなたの身近で大切な人が回復の難しい状態になった場合の、医療に関する御希望
 - ① 末期がんであるが、食事もよくとれ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合
 - ② 末期がんで、食事や呼吸が不自由であるが、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合
 - ③ 重度の心臓病で、身の回りの手助けが必要であるが、意識や判断力は健康な時と同様の場合
 - ④ 認知症が進行し、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合
 - ⑤ 交通事故により半年以上意識がなく、管から栄養をとっている状態で、衰弱が進んでいる場合
 - ⑥ 交通事故により心肺停止となったのち蘇生したものの、2週間が経過した時点で意識はなく、人工呼吸器と点滴を受けている場合
- ・ あなた御自身のことについて

3 調査方法

- | | |
|----------|----------------------------------|
| (1) 調査地域 | 岡山県全域 |
| (2) 調査対象 | 県内全市町村から無作為に抽出した満20歳以上の男女 2,500人 |
| (3) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収 |
| (4) 実施時期 | 平成27年2月6日(金)～平成27年2月13日(金) |

4 回収結果

有効回収数(率) 1,402人 (56.1%)

5 報告書をみる際の注意点

- (1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- (2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- (3) 他の設問とのクロス集計では、他の設問で無回答があるため、総数が同数にならない場合がある。
- (4) 報告書中の図表では、表記の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
- (5) 報告書中の図表について、複数回答の設問については、その設問に回答する資格を有する者の数を「全体n=()」で示している。
- (6) 「人生の最終段階における医療に関する意識調査(終末期医療に関する意識調査等検討会、平成26年3月)」との結果比較を行う項目は、「全国調査【平成26.3】」と表記している。

Ⅱ 調査結果

問1 あなたは、「在宅医療」という言葉とその意味を知っていましたか。(〇は1つ)

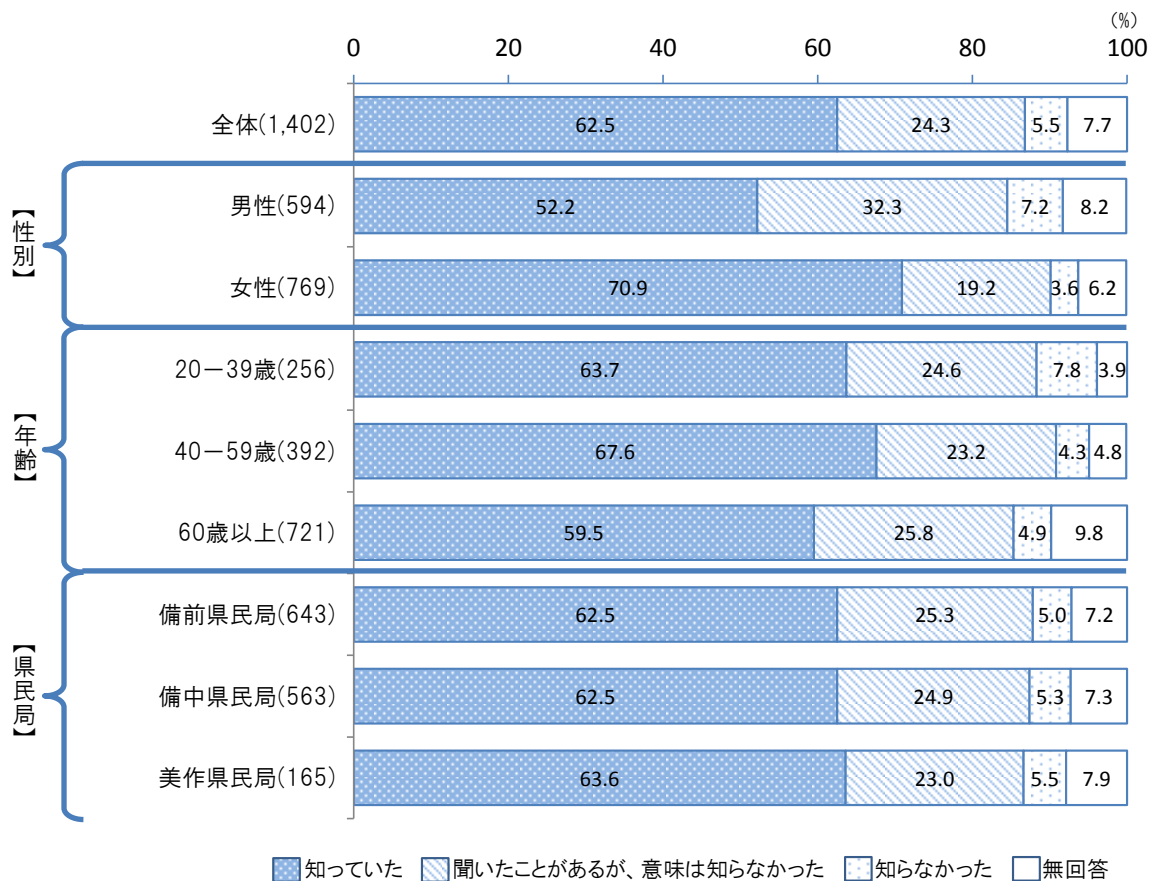
【基礎項目1】

「在宅医療」という言葉とその意味を知っていたかについて、「知っていた」と回答した割合が62.5%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、意味は知らなかった」(24.3%)、「知らなかった」(5.5%)となっている。

【性別】「知っていた」と回答した割合が、女性で70.9%と、男性(52.2%)に比べて高くなっている。

【年齢】「知っていた」と回答した割合は、40-59歳で67.6%と、他の年齢と比べて高くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



※ 設問とのクロス集計では、性別・年齢・居住地で無回答があるため、有効回答数から除外して集計する(以下同じ)。

【基礎項目2】

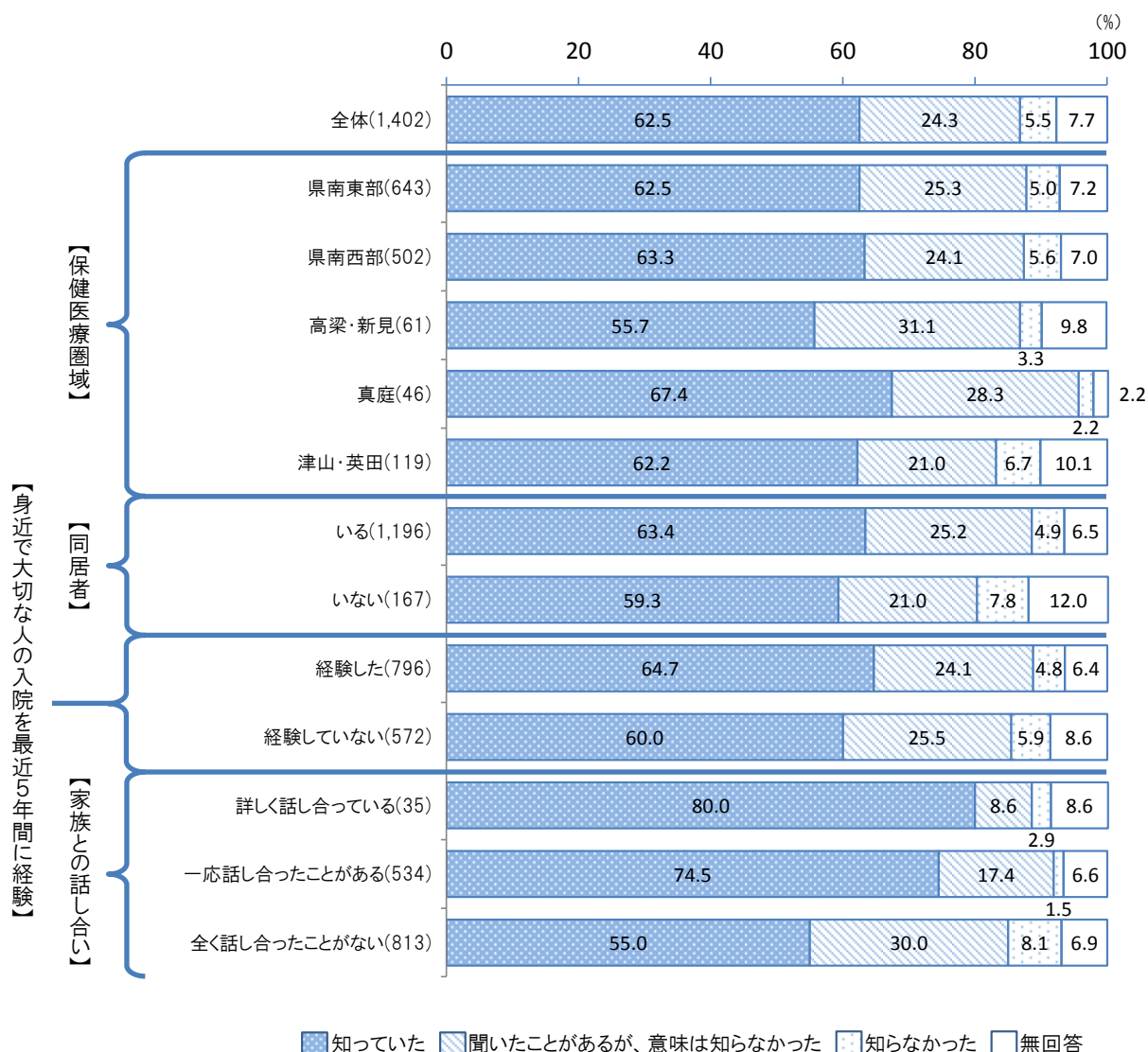
【保健医療圏域】在宅医療という言葉とその意味を「知っていた」と回答した割合が、[真庭]で67.4%と高くなっている。

【同居者】同居者がいる方が在宅医療について知っている割合がやや高くなっている。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【家族との話し合い】在宅医療という言葉とその意味を「知っていた」と回答した割合は、[全く話し合ったことがない]で55.0%で、話し合いが詳しくなるにつれて回答割合が高くなっている。

家族と詳しく話し合っている人は、全く話し合ったことがない人と比較して「在宅医療」という言葉とその意味を知っている傾向がある。

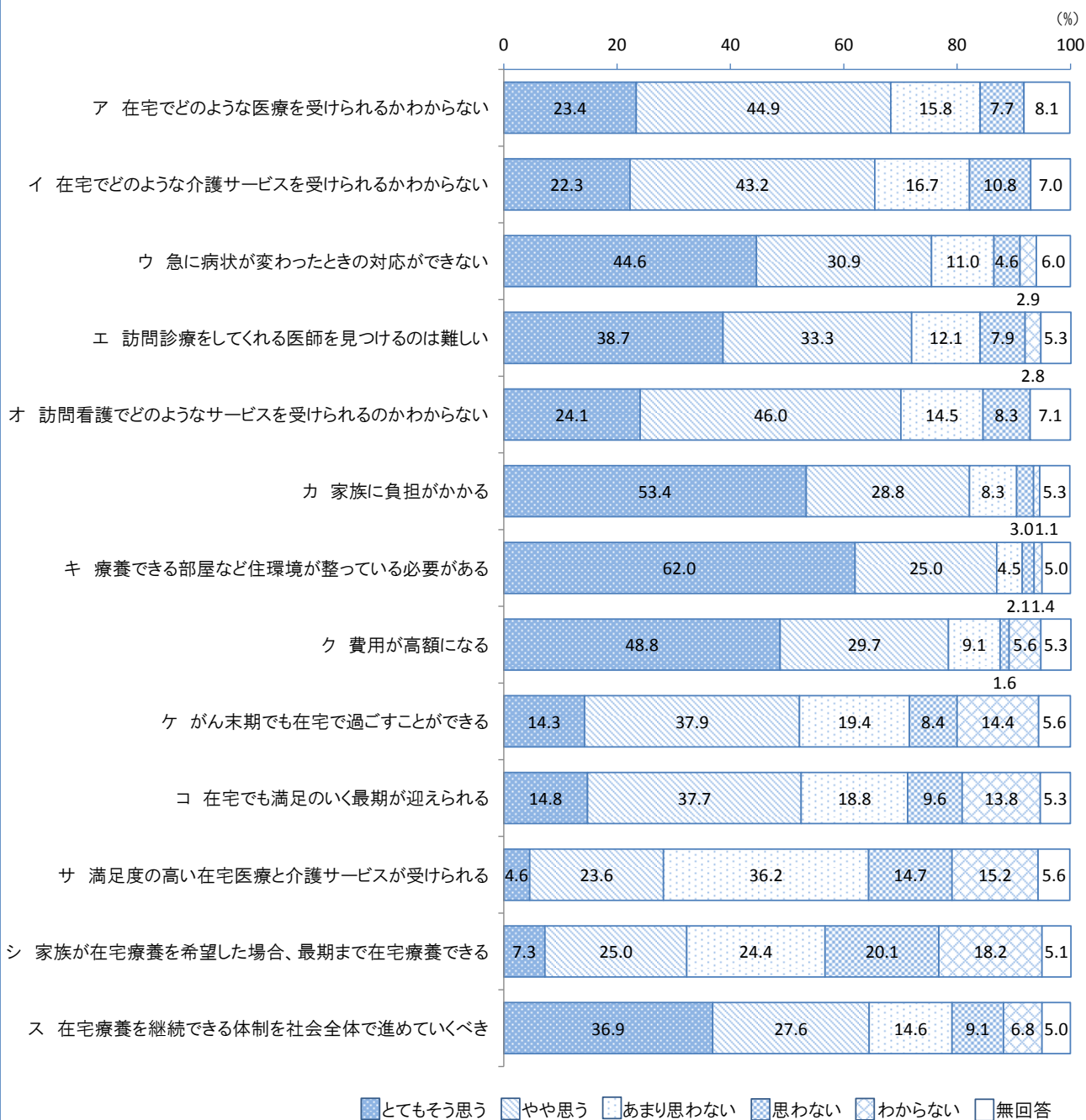


※ 設問とのクロス集計では、「保健医療圏域」・「同居者」・「身近で大切な人の入院を最近5年間に経験」・

「在宅療養の周知」・「家族との話し合い」で無回答があるため、有効回答数から除外して集計する(以下同じ)。

問2 あなたは、在宅療養(在宅医療と介護サービス等を受けること)についてどのようなイメージをお持ちですか。下記のア～スそれぞれに該当する数字を1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つ)

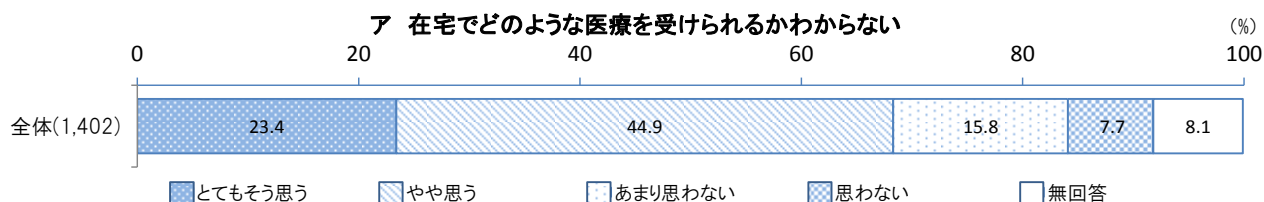
在宅療養についてのイメージのまとめ (n=1,402)



※(ア)、(イ)、(オ)は選択肢5 わからない は無し

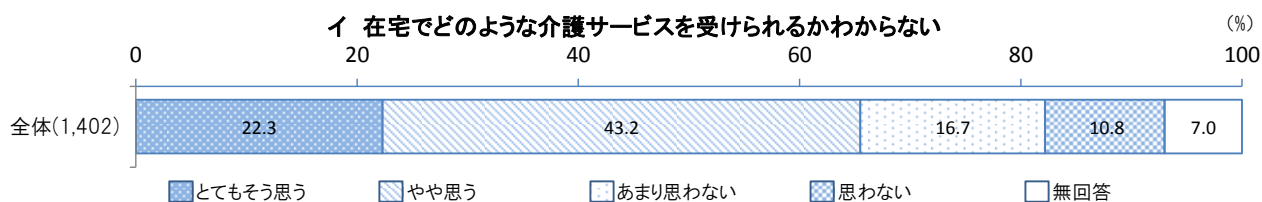
(ア)在宅でどのような医療を受けられるかわからない

在宅でどのような医療を受けられるかわからない、というイメージについて、「とてもそう思う」と「やや思う」の合計である【思う】と回答した割合は68.3%となっている。



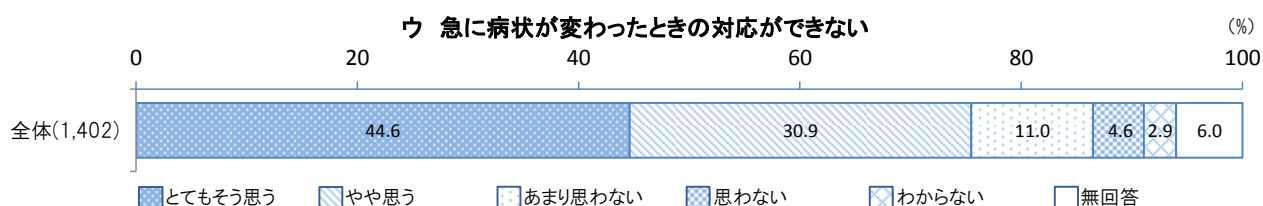
(イ)在宅でどのような介護サービスを受けられるかわからない

在宅でどのような介護サービスを受けられるかわからない、というイメージについて、「とてもそう思う」と「やや思う」の合計である【思う】と回答した割合は65.5%となっている。



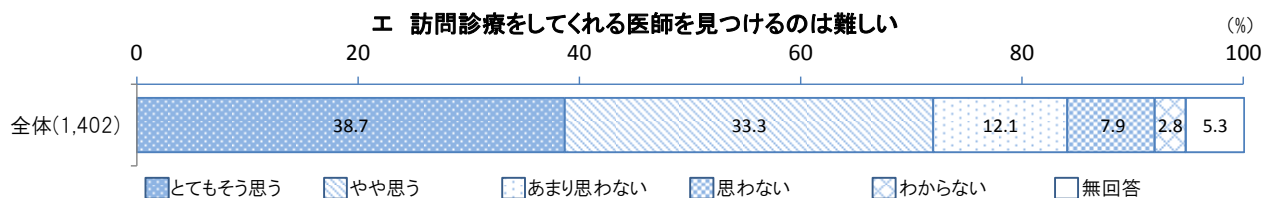
(ウ)急に病状が変わったときの対応ができない

急に病状が変わったときの対応ができない、というイメージについて、「とてもそう思う」と「やや思う」の合計である【思う】と回答した割合は75.5%となっている。また、「わからない」と回答した割合は2.9%となっている。



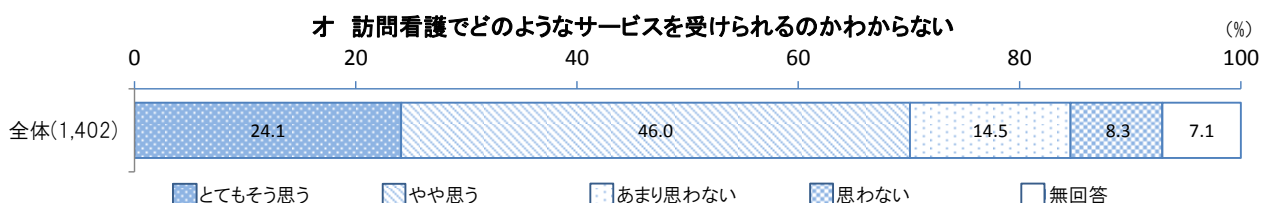
(エ) 訪問診療をしてくれる医師を見つけるのは難しい

訪問診療をしてくれる医師を見つけるのは難しい、というイメージについて、「とてもそう思う」と「やや思う」の合計である【思う】と回答した割合は72.0%となっている。また、「わからない」と回答した割合は2.8%となっている。



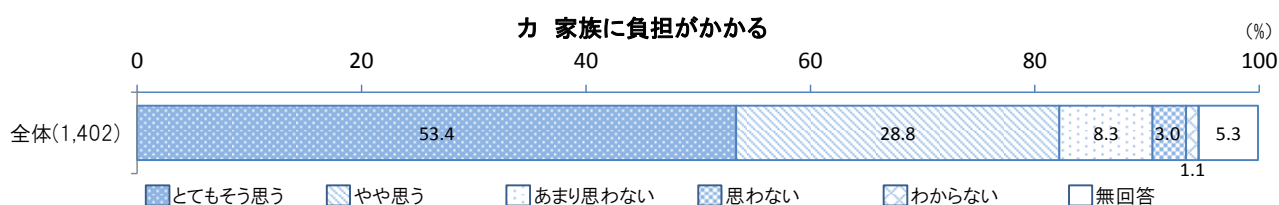
(オ) 訪問看護でどのようなサービスを受けられるのかわからない

訪問看護でどのようなサービスを受けられるのかわからない、というイメージについて、「とてもそう思う」と「やや思う」の合計である【思う】と回答した割合は70.1%となっている。



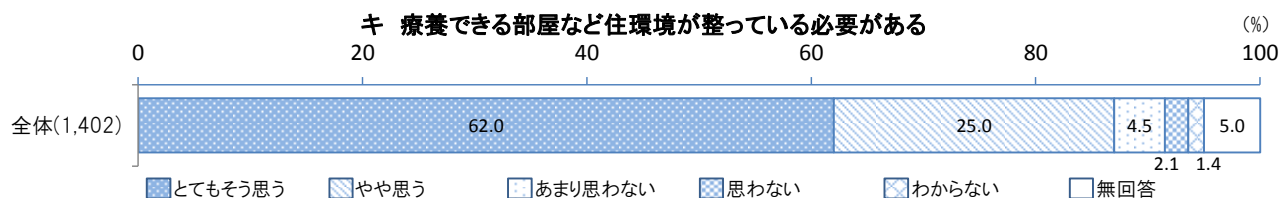
(カ) 家族に負担がかかる

家族に負担がかかる、というイメージについて、「とてもそう思う」と「やや思う」の合計である【思う】と回答した割合は82.2%となっている。また、「わからない」と回答した割合は1.1%となっている。



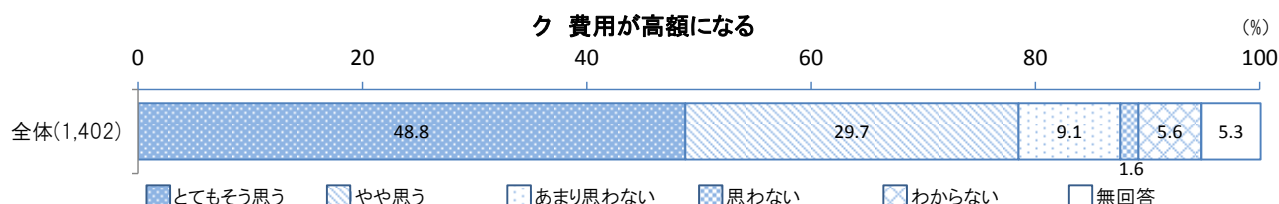
(キ)療養できる部屋や風呂・トイレなど住環境が整っている必要がある

療養できる部屋や風呂・トイレなど住環境が整っている必要がある、というイメージについて、「とてもそう思う」と「やや思う」の合計である【思う】と回答した割合は87.0%となっている。また、「わからない」と回答した割合は1.4%となっている。



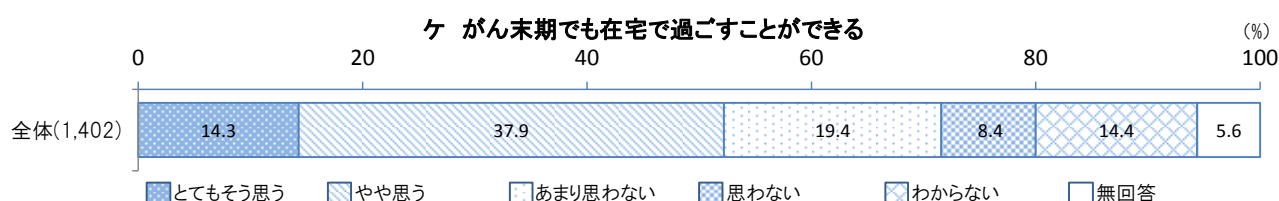
(ク)費用が高額になる

費用が高額になる、というイメージについて、「とてもそう思う」と「やや思う」の合計である【思う】と回答した割合は78.5%となっている。また、「わからない」と回答した割合は5.6%となっている。



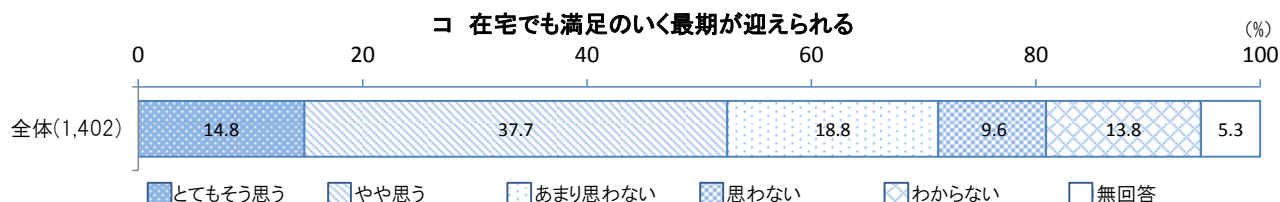
(ケ)今ではがん末期でも痛みのコントロールをしながら在宅で過ごすことができる

今ではがん末期でも痛みのコントロールをしながら在宅で過ごすことができる、というイメージについて、「あまり思わない」と「思わない」の合計である【思わない】と回答した割合は27.8%となっている。また、「わからない」と回答した割合は14.4%となっている。



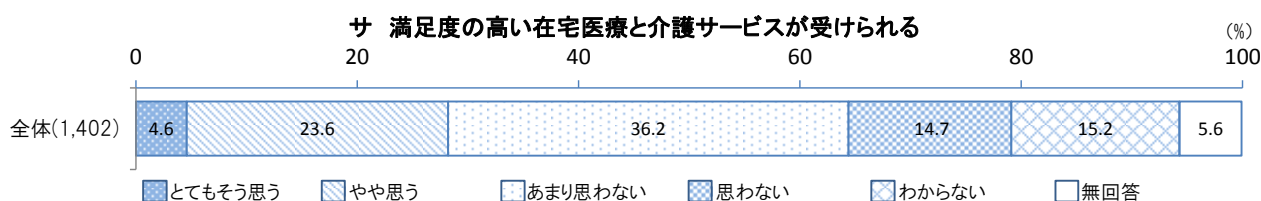
(コ) 在宅でも満足のいく最期が迎えられる

在宅でも満足のいく最期が迎えられる、というイメージについて、「あまり思わない」と「思わない」の合計である【思わない】と回答した割合は 28.4%となっている。また、「わからない」と回答した割合は 13.8%となっている。



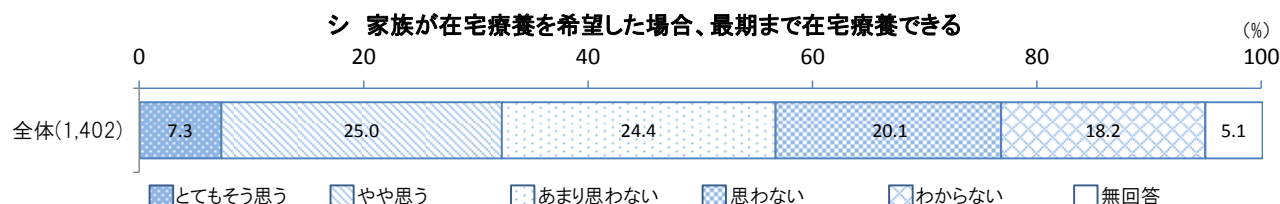
(サ) 満足度の高い在宅医療と介護サービスが受けられる

満足度の高い在宅医療と介護サービスが受けられる、というイメージについて、「あまり思わない」と「思わない」の合計である【思わない】と回答した割合は 50.9%となっている。また、「わからない」と回答した割合は 15.2%となっている。



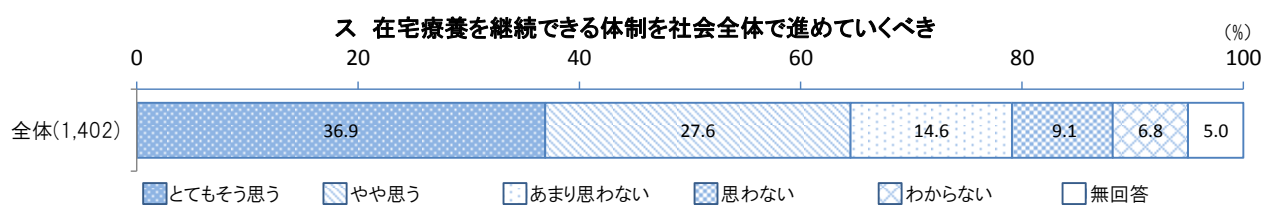
(シ) 御自身の家族が在宅療養を希望した場合、最期まで在宅療養できる

御自身の家族が在宅療養を希望した場合、最期まで在宅療養できる、というイメージについて、「あまり思わない」と「思わない」の合計である【思わない】と回答した割合は 44.5%となっている。また、「わからない」と回答した割合は 18.2%となっている。



(ス) 老衰や後遺症等で通院が困難になった場合も病院に入院せず、在宅療養を継続できる体制を社会全体で進めていくべきだと思う

老衰や後遺症等で通院が困難になった場合も病院に入院せず、在宅療養を継続できる体制を社会全体で進めていくべきだと思う、というイメージについて、「とてもそう思う」と「やや思う」の合計である【思う】と回答した割合は64.5%となっている。また、「わからない」と回答した割合は6.8%となっている。



問3 あなたは、御自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、御家族とどのくらい話し合ったことがありますか。(〇は1つ)

【基礎項目1】

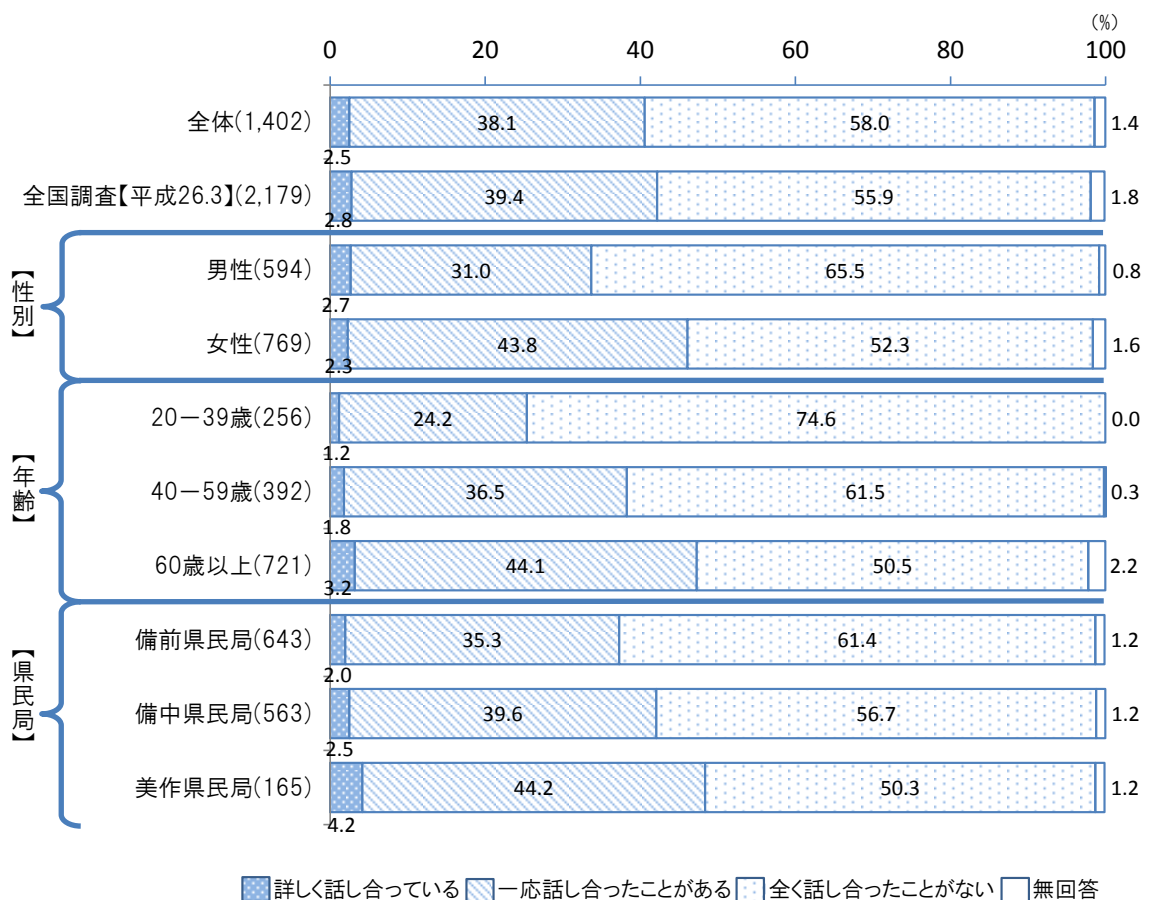
御自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、御家族とどのくらい話し合ったことがあるかについて、「全く話し合ったことがない」と回答した割合が58.0%と最も高く、次いで「一応話し合ったことがある」(38.1%)、「詳しく話し合っている」(2.5%)となっている。

全国調査と比較すると、「全く話し合ったことがない」と回答した割合が、2.1ポイント高くなっている。

【性別】「全く話し合ったことがない」と回答した割合が、男性で65.5%と、女性(52.3%)に比べて高くなっている。

【年齢】「一応話し合ったことがある」と詳しく話し合っている」の合計である【話し合っている】と回答した割合は、20-39歳で25.4%で、年齢が高くなるにつれて、回答割合が高くなっている。

【県民局】「全く話し合ったことがない」と回答した割合は、備前県民局で61.4%と、他の県民局に比べて高くなっている。



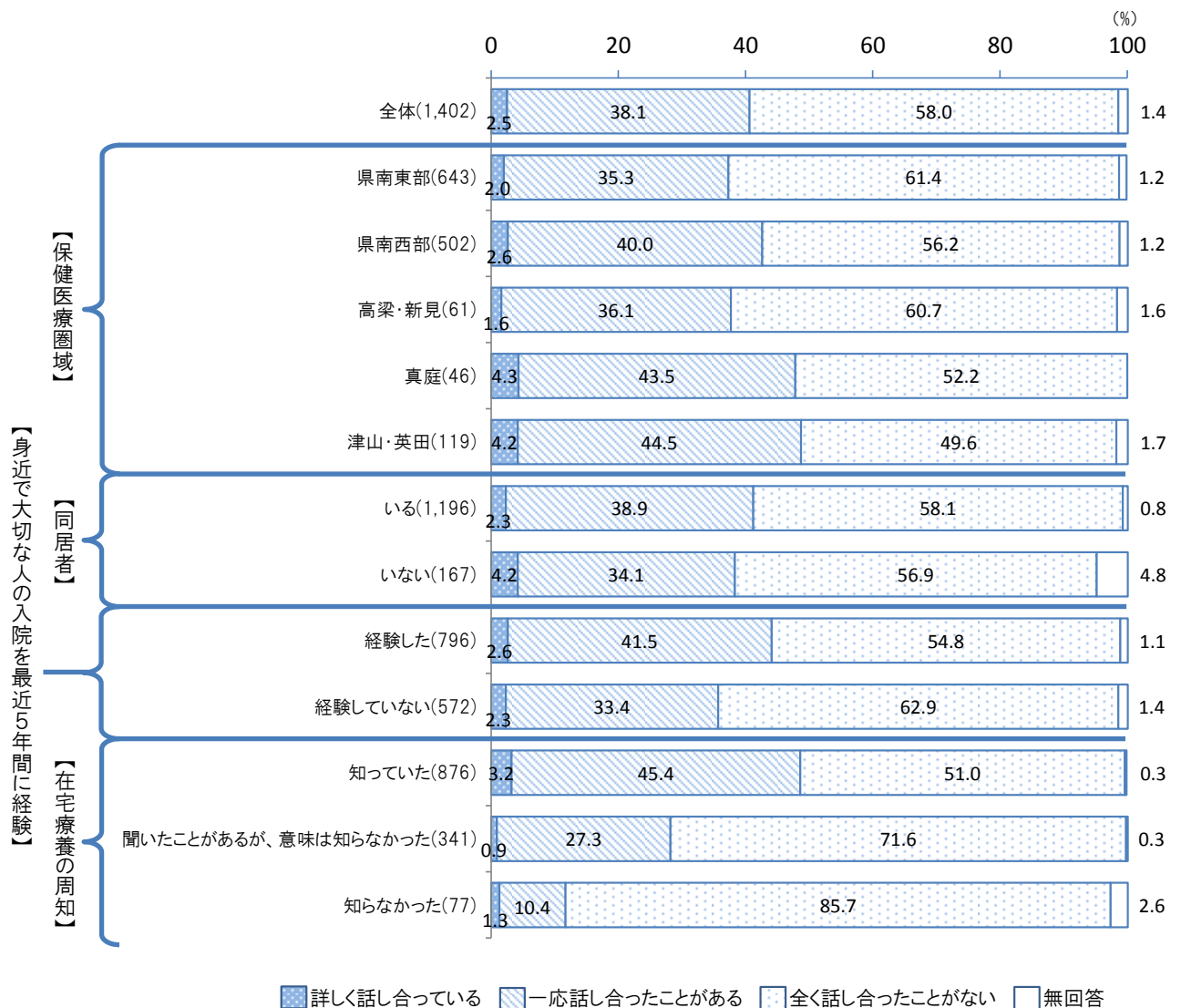
【基礎項目2】

【保健医療圏域】「全く話し合ったことがない」と回答した割合が、[県南東部] で61.4%と最も高くなっている。

【同居者】「全く話し合ったことがない」と回答した割合は、同居者の [いる] 「いない」 であまり違いは見られない。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】「一応話し合ったことがある」と回答した割合が、[経験した] で41.5%と高くなっている。

【在宅療養の周知】「一応話し合ったことがある」と回答した割合は、[知らなかった] で10.4%で、周知が高くなるにつれて、回答割合が高くなっている。



問4 あなたは、「リビングウィル」という言葉とその意味を知っていましたか。(〇は1つ)

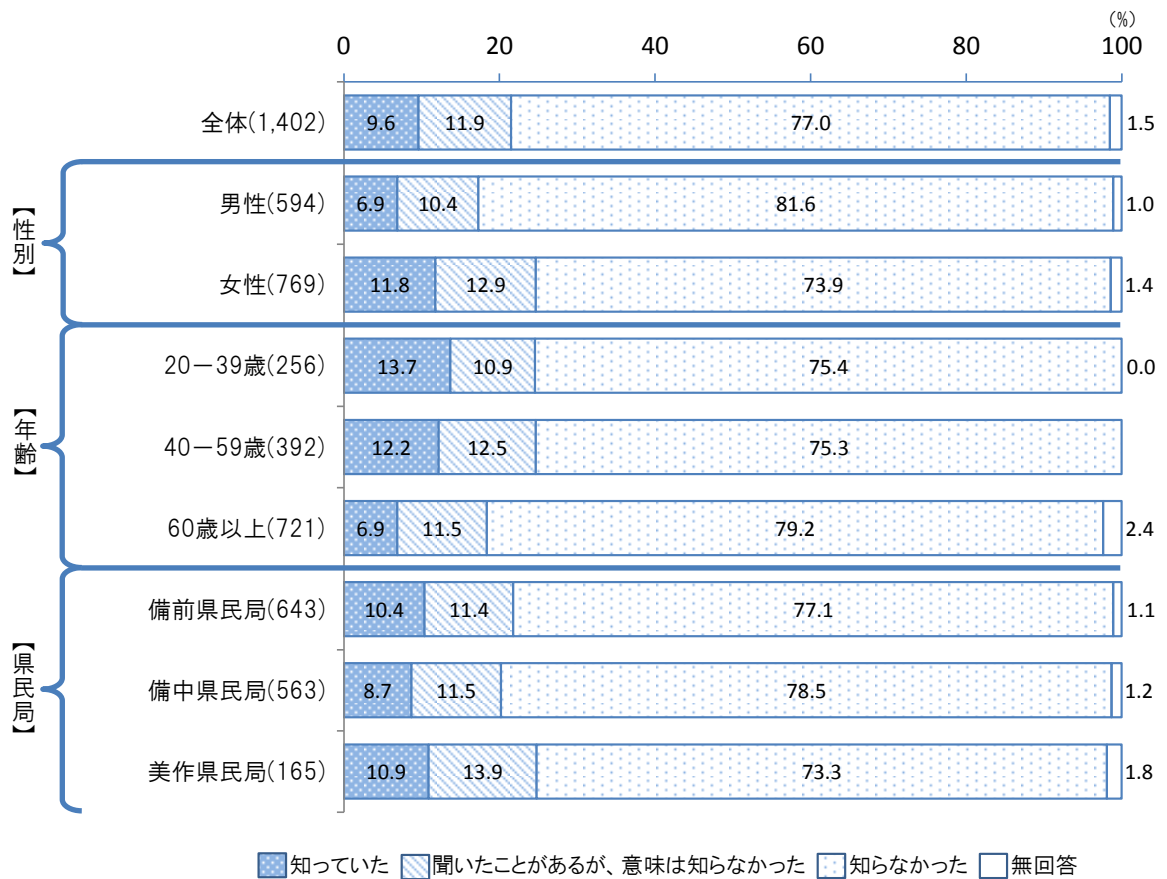
【基礎項目1】

「リビングウィル」という言葉とその意味を知っていたかについて、「知らなかった」と回答した割合が77.0%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、意味は知らなかった」(11.9%)、「知っていた」(9.6%)となっている。

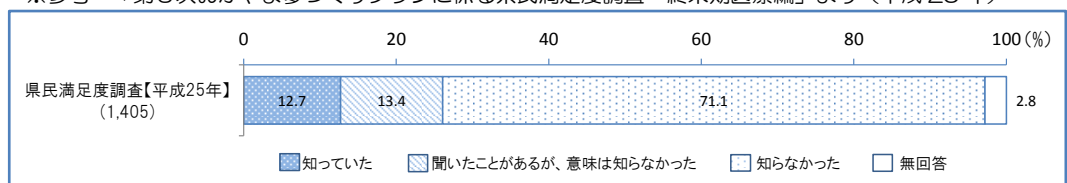
【性別】「知らなかった」と回答した割合が、男性で81.6%と、女性(73.9%)に比べて高くなっている。

【年齢】「知っていた」と回答した割合は、20-39歳で13.7%で、年齢が高くなるにつれて、回答割合が低くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



※参考 「第3次おかやま夢づくりプランに係る県民満足度調査 終末期医療編」より(平成25年)



【基礎項目2】

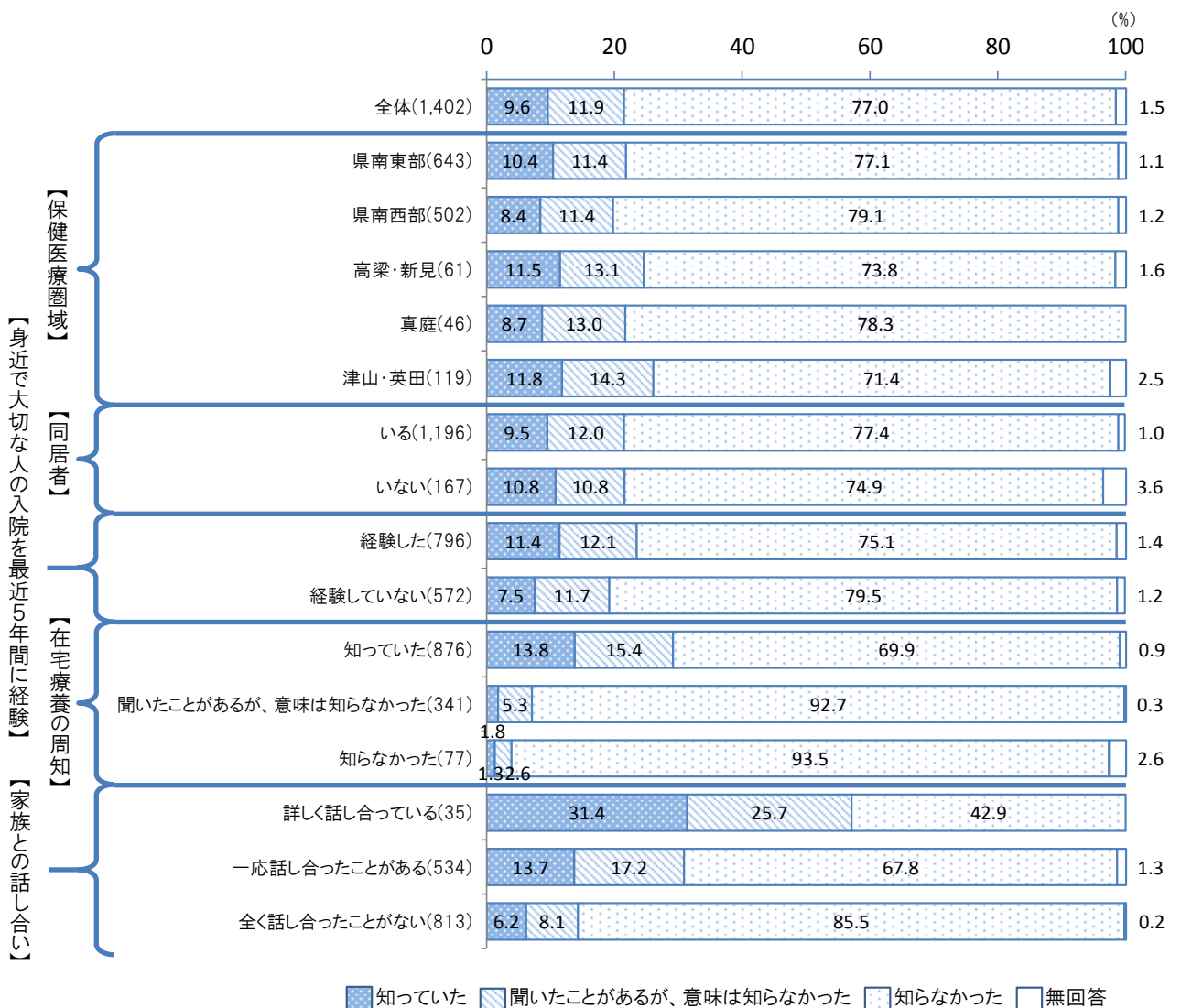
【保健医療圏域】「知らなかった」と回答した割合が、[県南西部] で79.1%と最も高くなっている。

【同居者】同居者の有無で、あまり違いはみられない。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】「知らなかった」と回答した割合が、[経験していない] で79.5%と高くなっている。

【在宅療養の周知】在宅療養の周知が高くなるにつれて、「知らなかった」と回答した割合は低くなっている。

【家族との話し合い】「知っていた」と回答した割合は[話し合い]の度合と相関が見られ、[全く話し合ったことがない]が6.2%で、話し合いが詳しくなるにつれて、回答割合が高くなっている。



問5 あなたは、自分で判断ができなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面(リビングウィル/事前指示書)をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。(〇は1つ)

【基礎項目1】

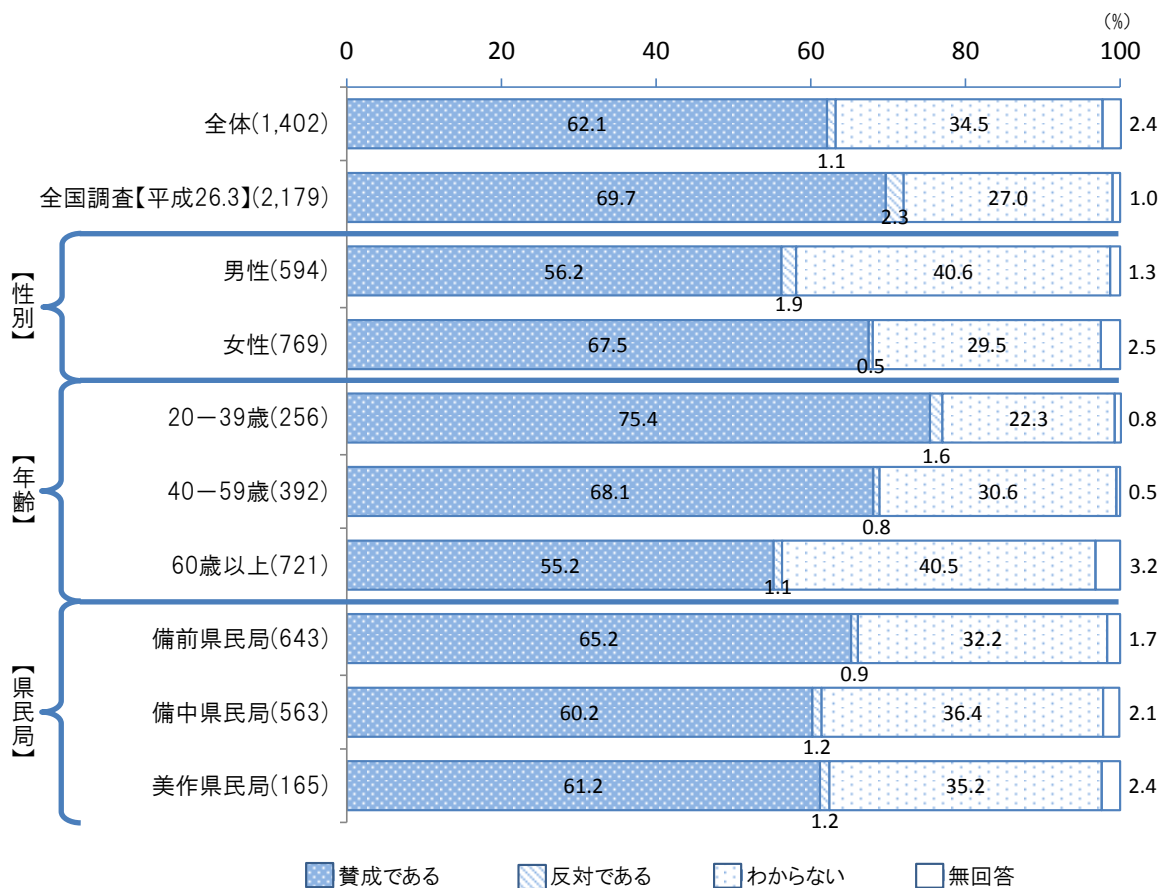
自分で判断ができなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面(リビングウィル/事前指示書)をあらかじめ作成しておくことについて、「賛成である」と回答した割合が62.1%と最も高く、次いで「わからない」(34.5%)、「反対である」(1.1%)となっている。

全国調査と比較すると、「賛成である」と回答した割合が、7.6ポイント低くなっている。

【性別】「賛成である」と回答した割合は、女性で67.5%と、男性(56.2%)に比べて高くなっている。

【年齢】「わからない」と回答した割合は、60歳以上で40.5%と、他の年齢と比べて高くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



【基礎項目2】

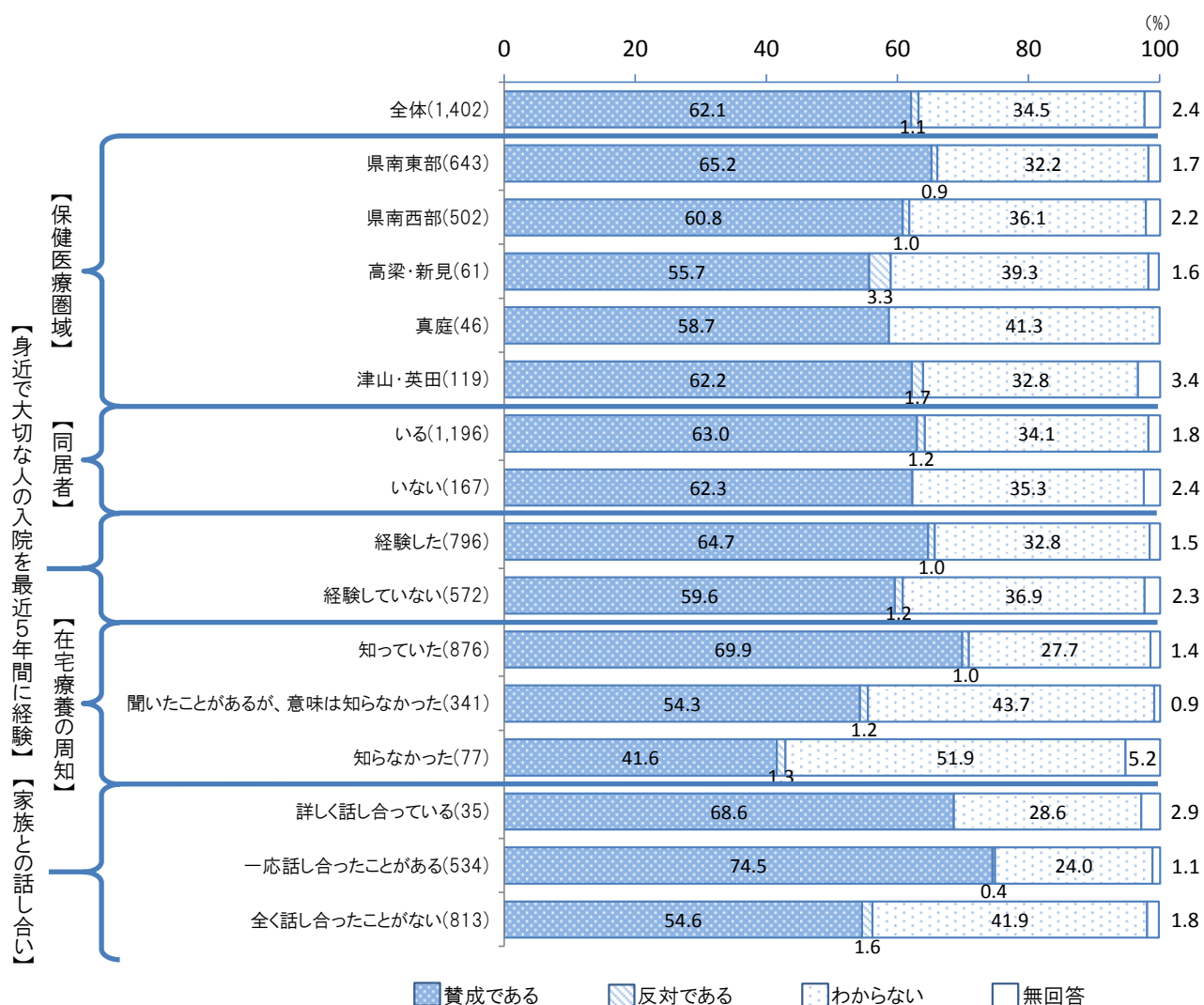
【保健医療圏域】「賛成である」と回答した割合が、[県南東部] で最も高くなっている。

【同居者】あまり違いは見られない。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】「賛成である」と回答した割合は、[経験した] で64.7%と高くなっている。

【在宅療養の周知】「賛成である」と回答した割合は、在宅療養を[知らなかった]で41.6%で、周知が高くなるにつれて回答割合が高くなっている。在宅療養を知っている方がリビングウィルに賛成する傾向がある。

【家族との話し合い】「わからない」と回答した割合が、[全く話し合ったことがない]で41.9%と高くなっている。



問5-1 実際に書面を作成していますか。(〇は1つ)

【基礎項目1】

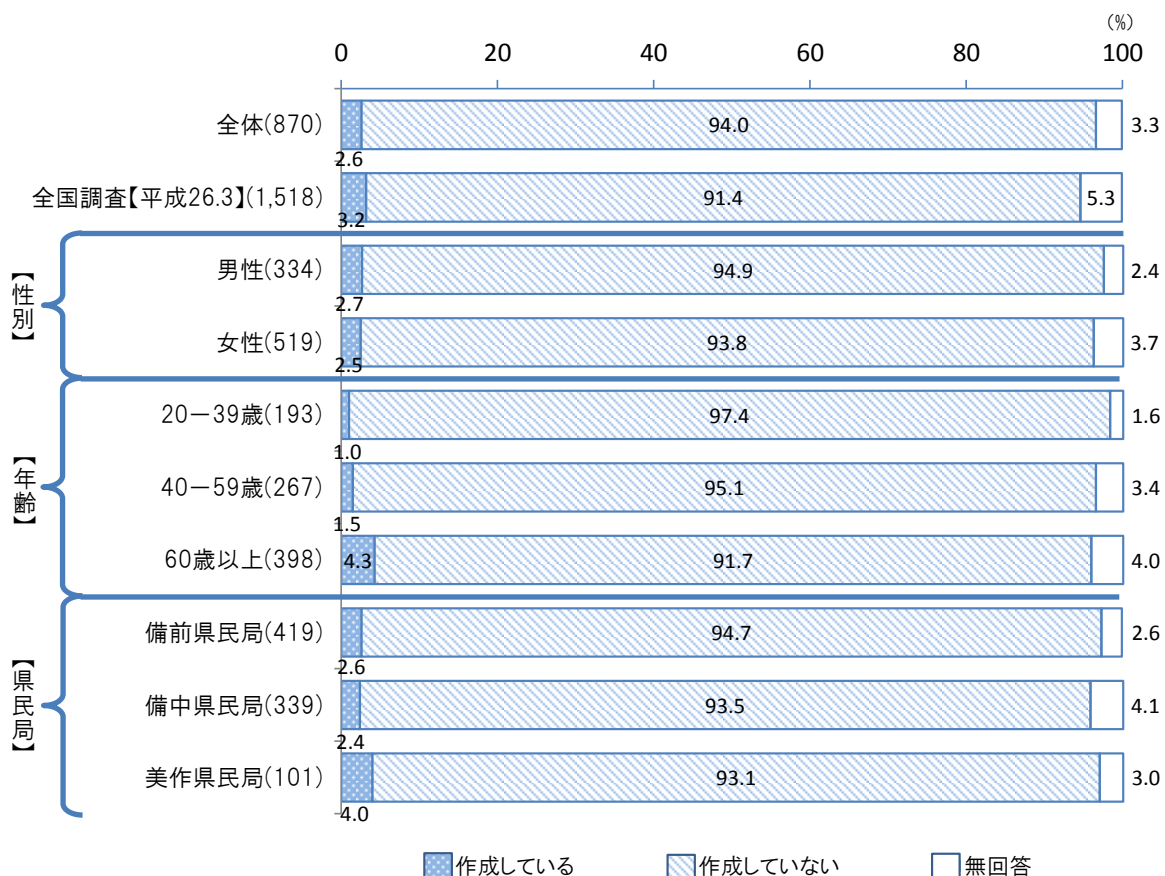
実際に書面を作成しているかについて、「作成していない」と回答した割合が94.0%と高くなっている。

全国調査と比較すると、「作成していない」と回答した割合が、2.6ポイント高くなっている。

【性別】「作成していない」と回答した割合は、男性で94.9%、女性で93.8%と性別による違いはあまり見られない。

【年齢】「作成していない」と回答した割合は、20-39歳で97.4%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が低くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



【基礎項目2】

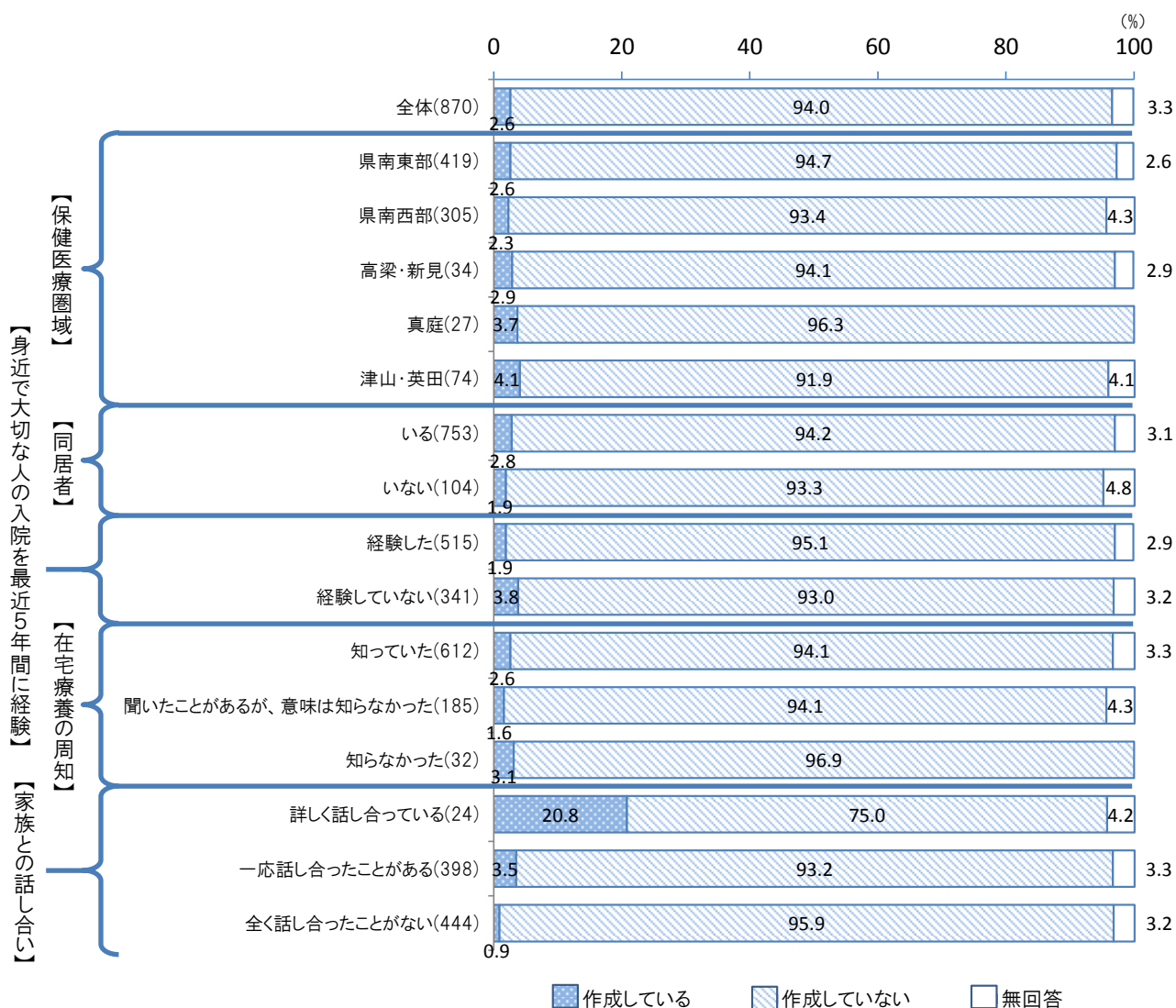
【保健医療圏域】保健医療圏域で、あまり違いはみられない。

【同居者】同居者の有無で、あまり違いはみられない。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】あまり違いは見られない。

【在宅療養の周知】在宅療養の周知で、あまり違いはみられない。

【家族との話し合い】「作成している」と回答した割合が、「詳しく話し合っている」が20.8%で、話し合いが詳しくなるにつれて回答割合が高くなっている。



問5-2 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面について、どのように扱われるのがよいと思いますか。(〇は1つ)

【基礎項目1】

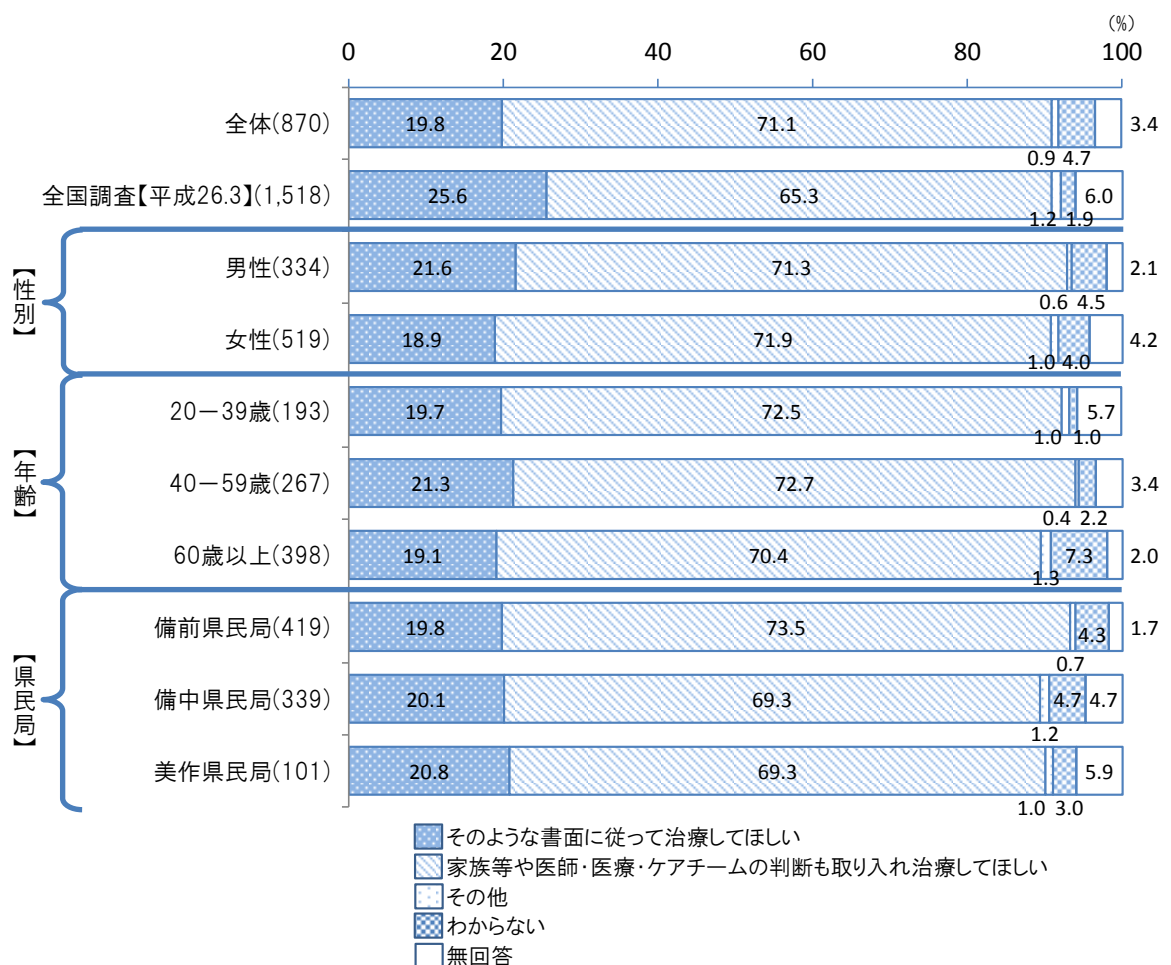
自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面について、どのように扱われるのがよいと思うかについて、「家族等や医師又は医療・ケアチームの判断も取り入れながら、治療してほしい」と回答した割合が71.1%と最も高く、次いで「そのような書面に従って治療してほしい」(19.8%)、「わからない」(4.7%)となっている。

全国調査と比較すると、「家族等や医師又は医療・ケアチームの判断も取り入れながら、治療してほしい」と回答した割合が、5.8ポイント高くなっている。

【性別】「そのような書面に従って治療してほしい」と回答した割合が、男性で21.6%と、女性(18.9%)に比べて高くなっている。

【年齢】「わからない」と回答した割合は、60歳以上で7.3%と、他の年齢と比べて高くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



【基礎項目2】

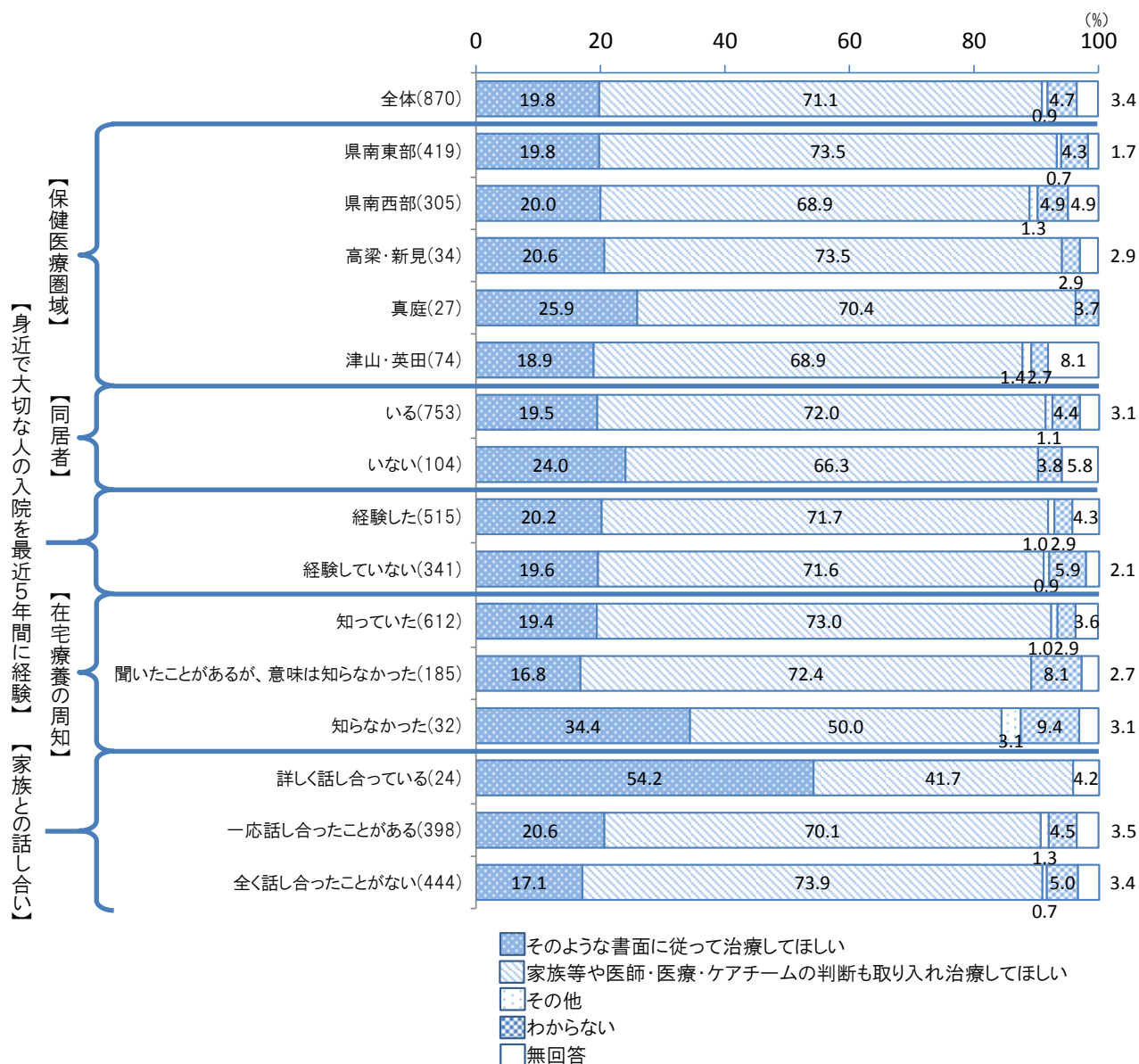
【保健医療圏域】「そのような書面に従って治療してほしい」と回答した割合が、[真庭]で25.9%と最も高くなっている。

【同居者】「家族等や医師又は医療・ケアチームの判断も取り入れながら、治療してほしい」と回答した割合が、同居者が[いる]で72.0%と、[いない]（66.3%）に比べて高くなっている。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【在宅療養の周知】「そのような書面に従って治療してほしい」と回答した割合が、[知らなかった]で34.4%と高くなっている。

【家族との話し合い】「そのような書面に従って治療してほしい」と回答した割合は、[詳しく話し合っている]が54.2%で、話し合いが少なくなるにつれて回答割合が低くなっており、詳しく話し合っている方が、書面に従って治療してほしいと思う傾向がある。



問6 あなたは、治療の選択について自分で判断できなくなった場合には、誰に、治療方針を決めてもらいたいですか。(〇は1つ)

【基礎項目1】

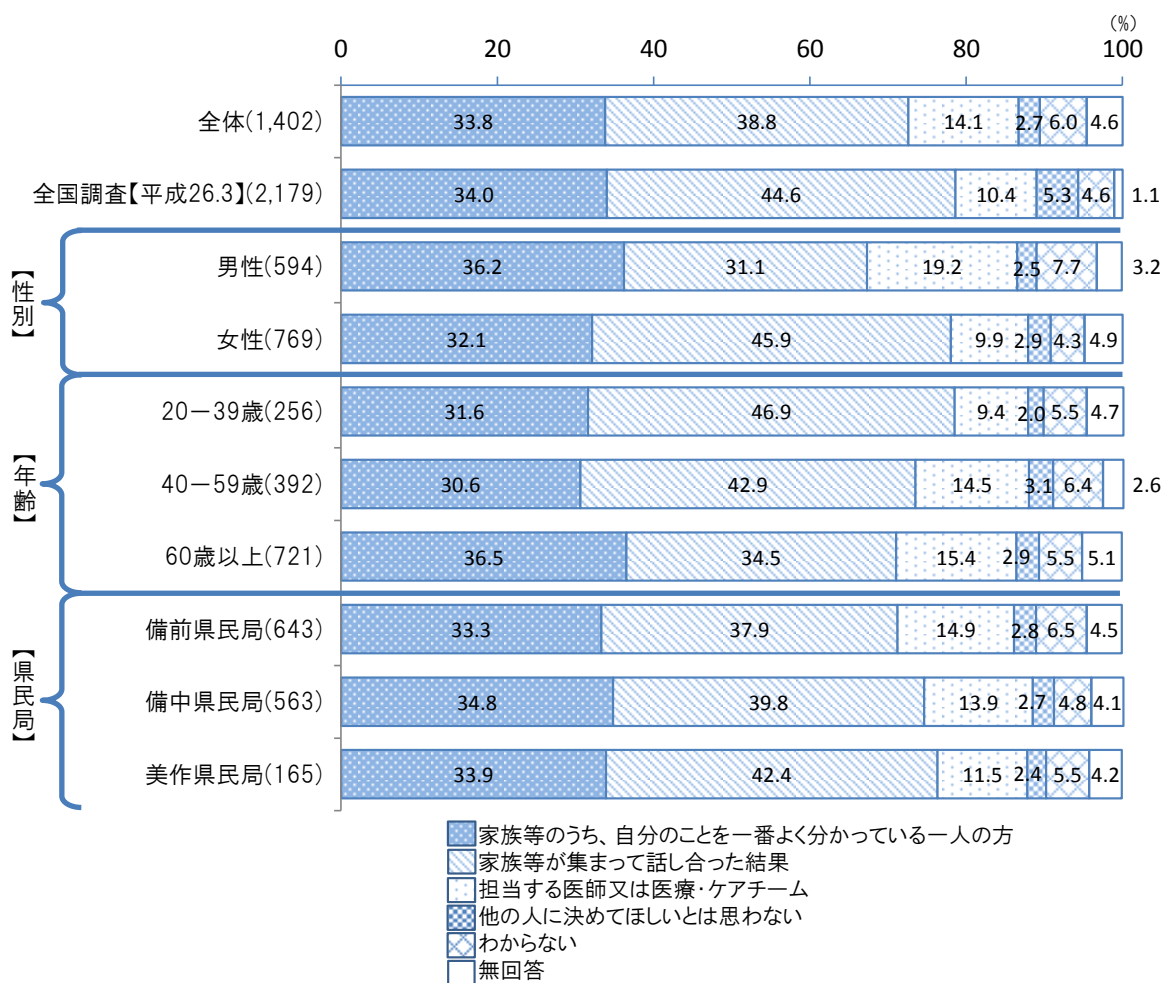
治療の選択について自分で判断できなくなった場合には、誰に、治療方針を決めてもらいたいかについて、「家族等が集まって話し合った結果」と回答した割合が38.8%と最も高く、次いで「家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている一人の方」(33.8%)、「担当する医師又は医療・ケアチーム」(14.1%)となっている。

全国調査と比較すると、「家族等が集まって話し合った結果」と回答した割合が、5.8ポイント低くなっている。

【性別】「担当する医師又は医療・ケアチーム」と回答した割合が、男性で19.2%と、女性(9.9%)に比べて高くなっている。

【年齢】「家族等が集まって話し合った結果」と回答した割合は、20-39歳で46.9%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が低くなっている。また、「担当する医師又は医療・ケアチーム」と回答した割合は、20-39歳で9.4%で、年齢が高くなるにつれて担当する医師又は医療・ケアチームに治療方針を決めてもらいたいと思う傾向が強い。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



【基礎項目2】

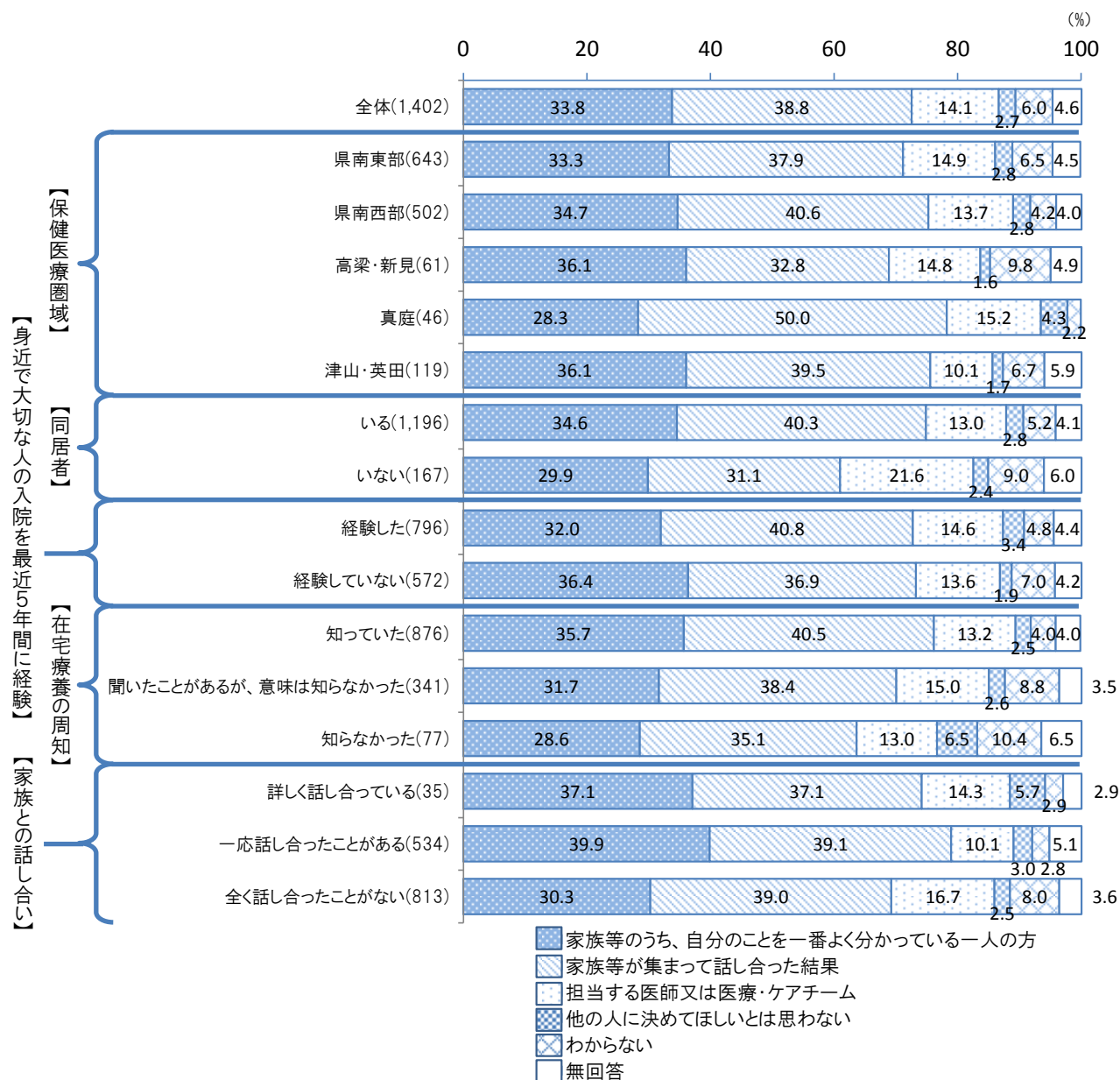
【保健医療圏域】「家族等が集まって話し合った結果」と回答した割合が、[真庭] で 50.0%と高くなっている。

【同居者】「担当する医師又は医療・ケアチーム」と回答した割合が、同居者が [いない] で 21.6%と高くなっている。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【在宅療養の周知】「家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている一人の方」と回答した割合は、[知っていた] で 35.7%で、周知が低くなるにつれて回答割合が低くなっている。

【家族との話し合い】「家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている一人の方」と回答した割合が、[一応話し合ったことがある] で 39.9%と高くなっている。



問7 あなたは、どのような治療を受けたいかあるいは受けたくないか自分で判断できなくなった場合に備えて、家族等の中から、あなたに代わって判断してもらう人をあらかじめ決めておくことについてどのように思いますか。(〇は1つ)

【基礎項目1】

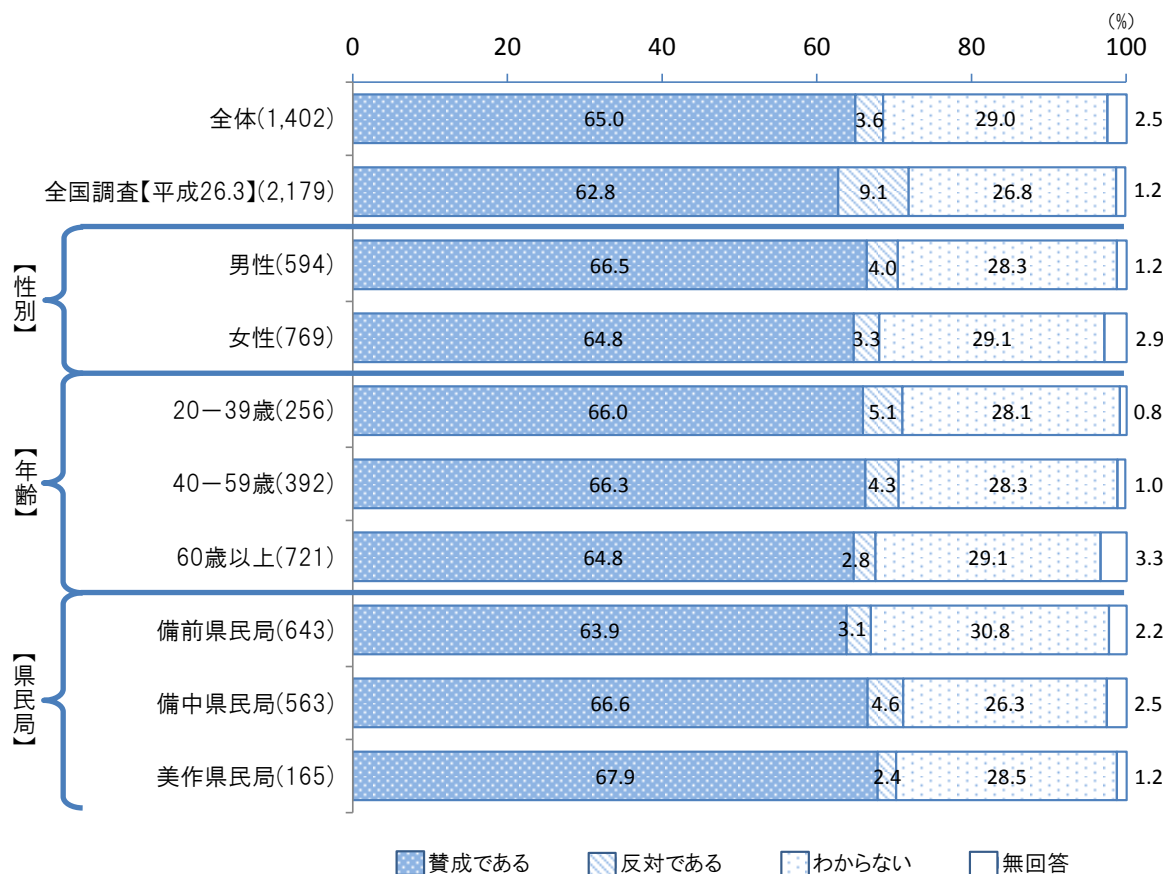
どのような治療を受けたいかあるいは受けたくないか自分で判断できなくなった場合に備えて、家族等の中から、あなたに代わって判断してもらう人をあらかじめ決めておくことについてどのように思うかに対して、「賛成である」と回答した割合が65.0%と最も高く、次いで「わからない」(29.0%)、「反対である」(3.6%)となっている。

全国調査と比較すると、「反対である」と回答した割合が、5.5ポイント高くなっている。

【性別】性別で、あまり違いはみられない。

【年齢】年齢で、あまり違いはみられない。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



【基礎項目2】

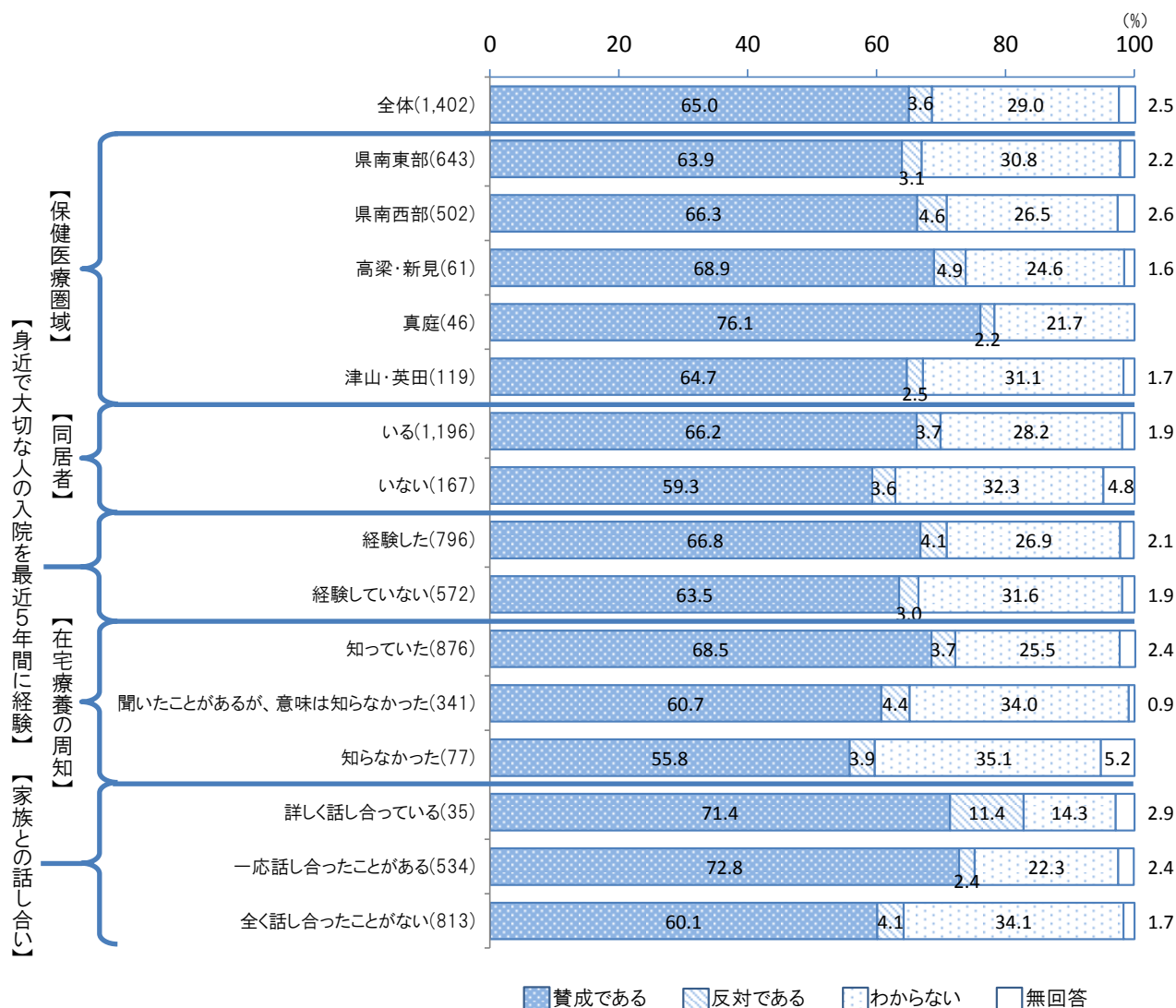
【保健医療圏域】「賛成である」と回答した割合が、[真庭] で 76.1%と高くなっている。

【同居者】「賛成である」と回答した割合が、同居者が [いる] で 66.2%と高くなっている。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【在宅療養の周知】「賛成である」と回答した割合は、周知が高くなるにつれて回答割合が高くなっており、[知っていた] で 68.5%となっている。

【家族との話し合い】「反対である」と回答した割合が、[詳しく話し合っている] で 11.4%と高くなっている。



問8 前の問7とは逆に、家族から、治療の選択について代わって判断してもらいたいとあらかじめ頼まれた場合、引き受けますか。(〇は1つ)

【基礎項目1】

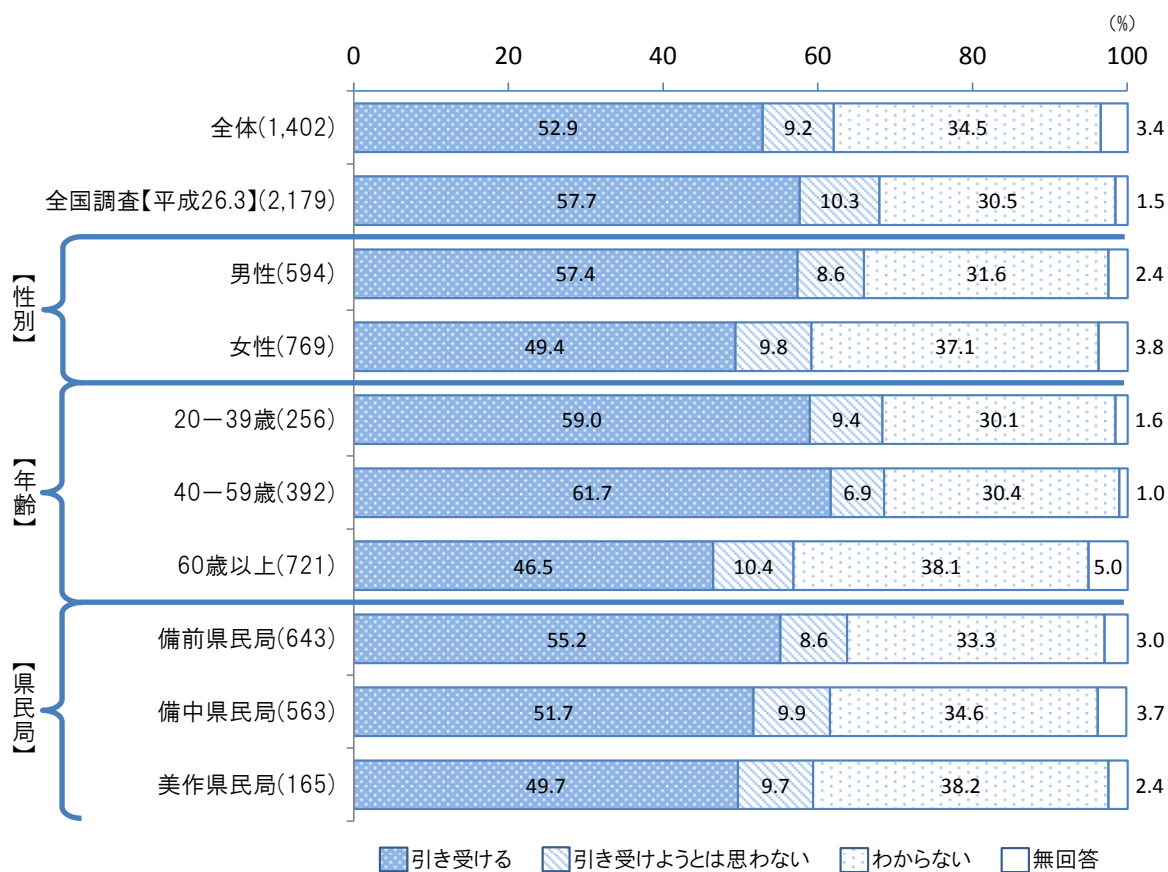
家族から、治療の選択について代わって判断してもらいたいとあらかじめ頼まれた場合、引き受けるかについて、「引き受ける」と回答した割合が52.9%と最も高く、次いで「わからない」(34.5%)、「引き受けようとは思わない」(9.2%)となっている。

全国調査と比較すると、「引き受ける」と回答した割合が、4.8ポイント低くなっている。

【性別】「引き受ける」と回答した割合が、男性で57.4%と、女性(49.4%)に比べて高くなっている。

【年齢】「引き受ける」と回答した割合は、60歳以上で46.5%と、他の年齢と比べて低くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



【基礎項目2】

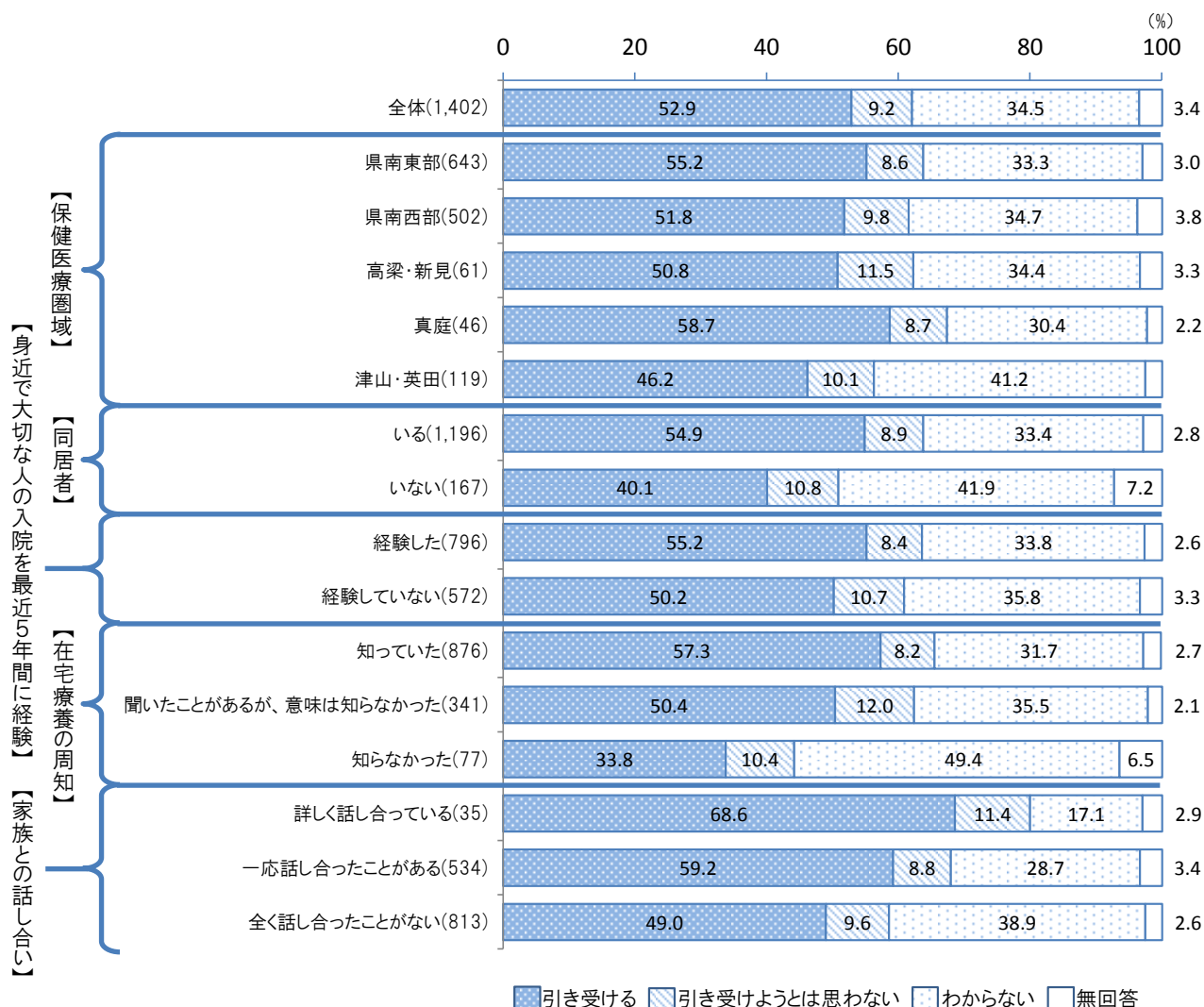
【保健医療圏域】「引き受ける」と回答した割合が、[真庭] で58.7%と高くなっている。

【同居者】「引き受ける」と回答した割合が、同居者が [いる] で54.9%と高くなっている。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】「引き受ける」と回答した割合が、[経験した] で55.2%と高くなっている。

【在宅療養の周知】「引き受ける」と回答した割合は、[知っていた] で57.3%となっており、在宅療養を知っている方が回答割合が高くなっている。

【家族との話し合い】「引き受ける」と回答した割合が、[詳しく話し合っている] で49.0%と話し合いが詳しくなるにつれて回答割合が高くなっている。



問9 あなたは、身近で大切な人の死を最近5年間に経験しましたか。(〇は1つ)

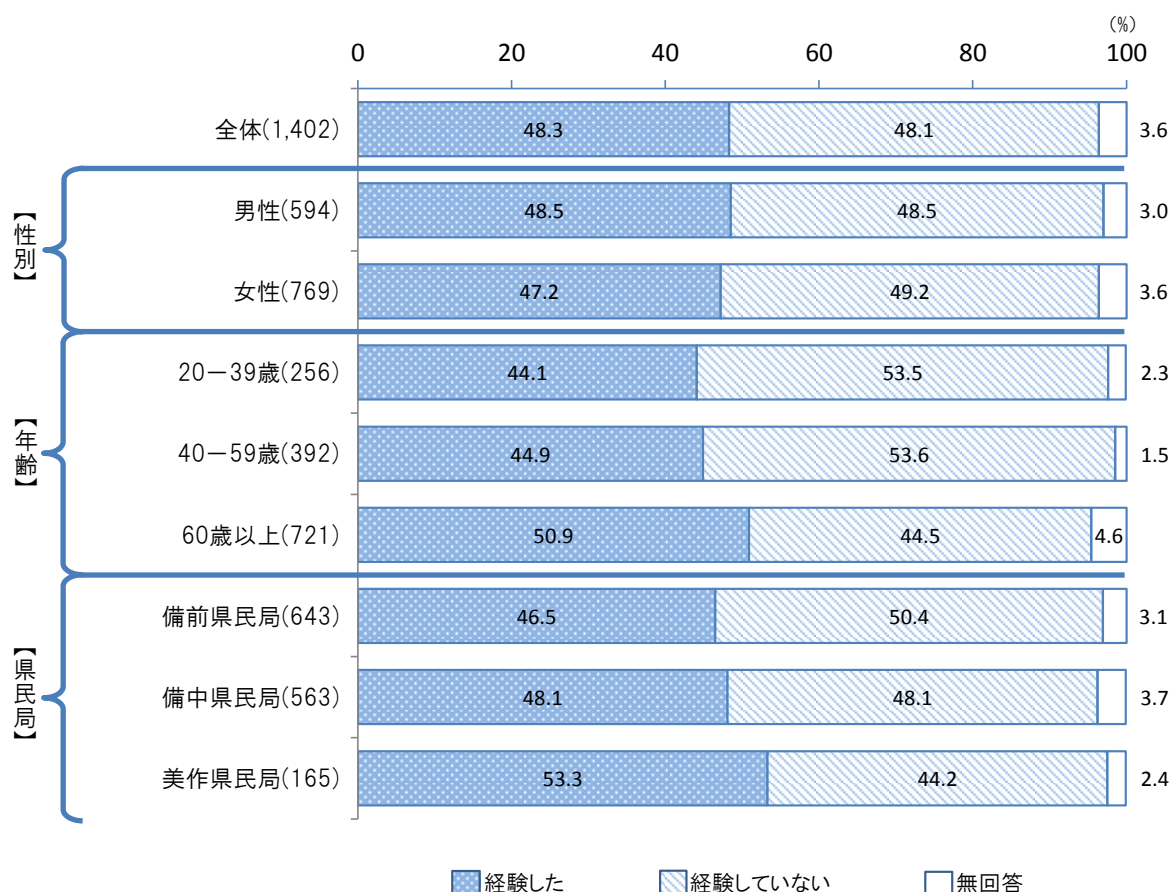
【基礎項目1】

身近で大切な人の死を最近5年間に経験したかについて、「経験した」と回答した割合が48.3%と高くなっている。

【性別】「経験した」と回答した割合が、男性で48.5%と、女性（47.2%）に比べて高くなっている。

【年齢】「経験した」と回答した割合は、20-39歳で44.1%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が高くなっている。

【県民局】「経験した」と回答した割合は、美作県民局で53.3%と、他の県民局と比べて高くなっている。また、「経験していない」と回答した割合は、備前県民局で50.4%と、他の県民局と比べて高くなっている。



【基礎項目2】

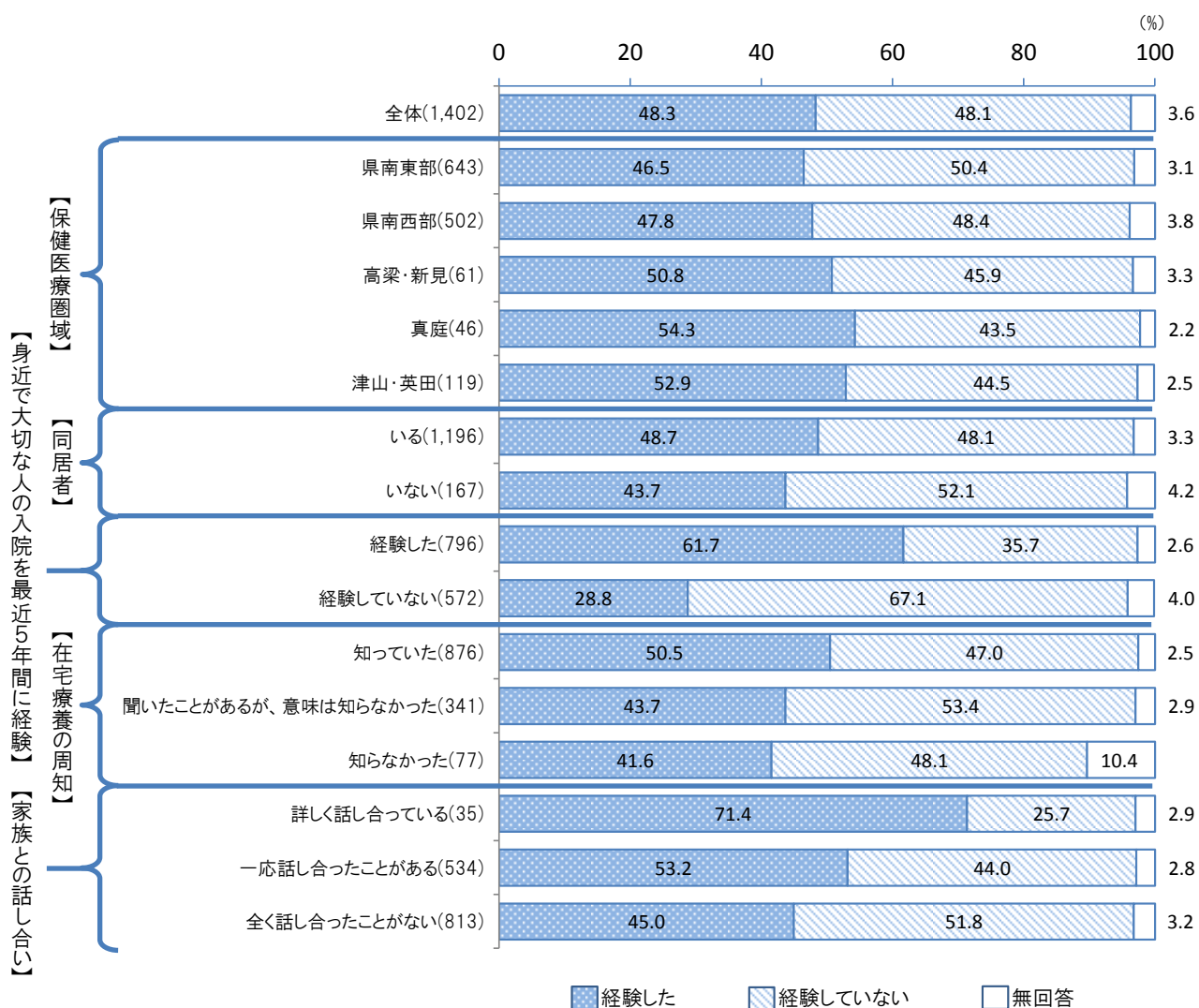
【保健医療圏域】「経験していない」と回答した割合が、[県南東部]で50.4%と高くなっている。

【同居者】同居者の有無で、あまり違いはみられない。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】「経験していない」と回答した割合は、[経験していない]で67.1%と高くなっている。

【在宅療養の周知】「経験した」と回答した割合は、[知っていた]で50.5%で、周知が低くなるにつれて回答割合が低くなっている。

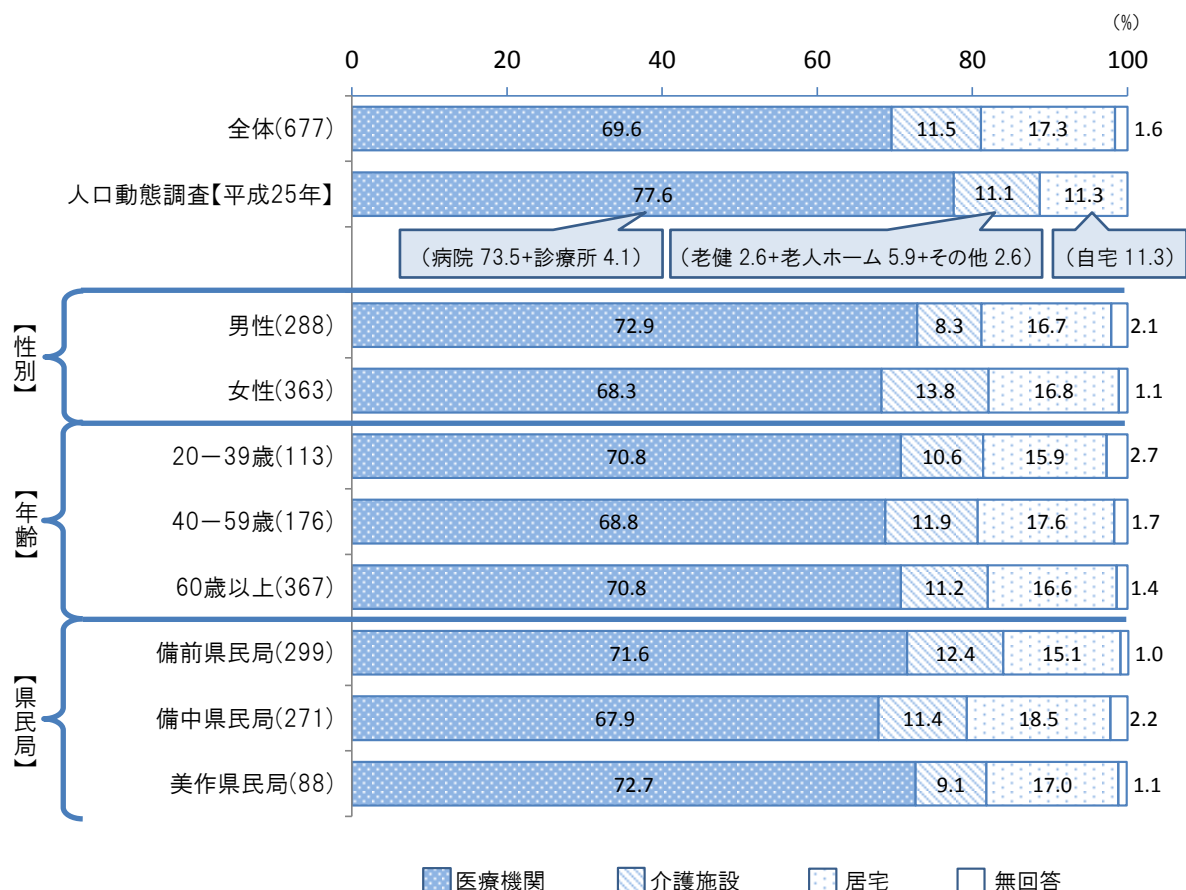
【家族との話し合い】「経験した」と回答した割合が、[詳しく話し合っている]で71.4%と、話し合いが少なくなるにつれて回答割合が低くなっている。



問9-1 その大切な人が最期を迎えられた場所はどこでしたか。(〇は1つ)

[基礎項目1]

大切な人が最期を迎えられた場所はどこかについて、「医療機関」と回答した割合が69.6%と最も高く、次いで「居宅」(17.3%)、「介護施設」(11.5%)となっている。



【基礎項目2】

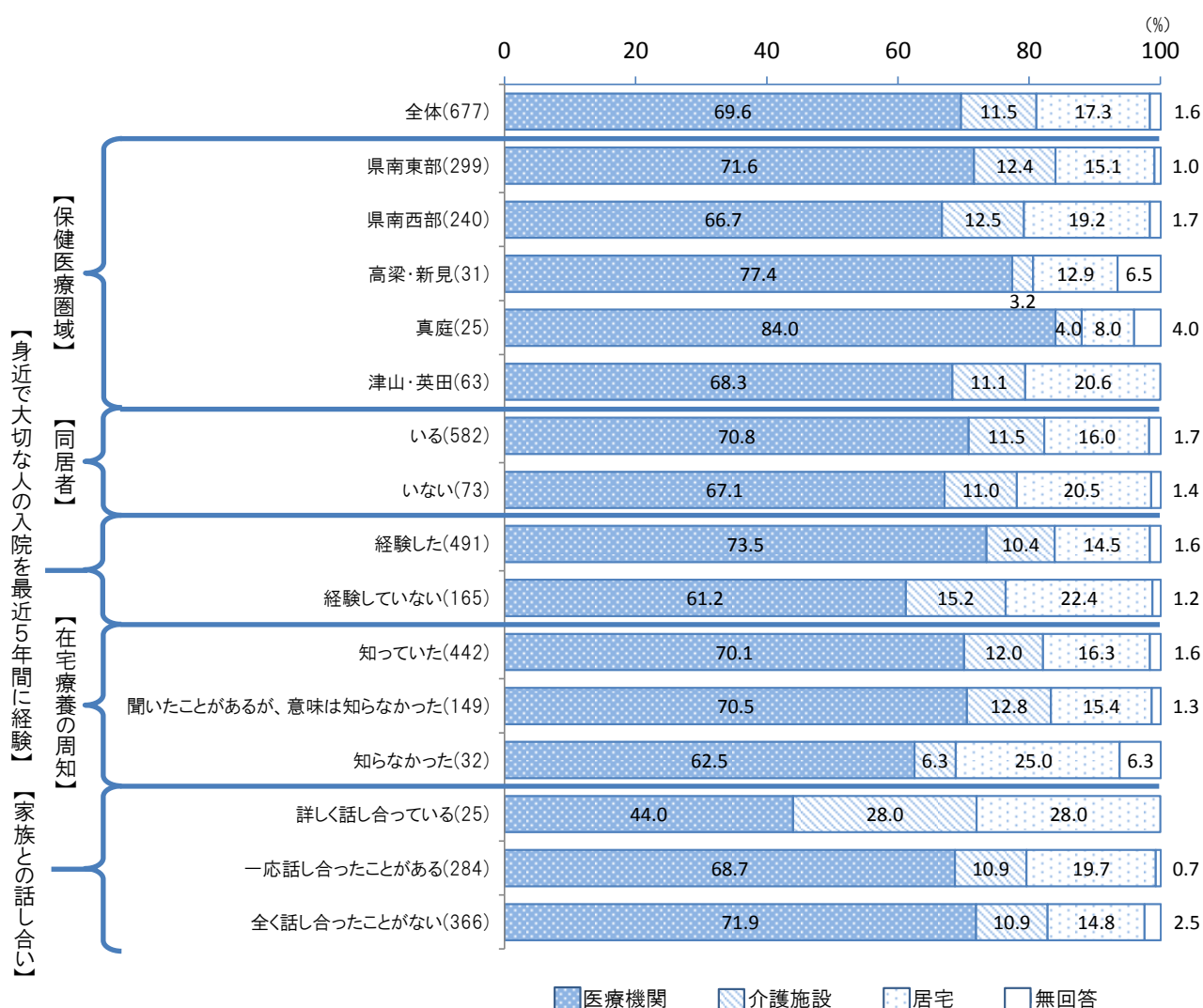
【保健医療圏域】「居宅」と回答した割合が、[津山・英田] で 20.6%と高くなっている。

【同居者】「居宅」と回答した割合が、同居者が [いない] で 20.5%と高くなっている。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】「医療機関」と回答した割合が、[経験した] で 73.5%と高くなっている。

【在宅療養の周知】「居宅」と回答した割合は、[知らなかった] で 25.0%と高くなっている。

【家族との話し合い】「医療機関」と回答した割合が、[全く話し合ったことがない] で 71.9%と、話し合いが少なくなるにつれて回答割合が高くなっている。



問9-2 その大切な人を満足してお送りすることができましたか。(〇は1つ)

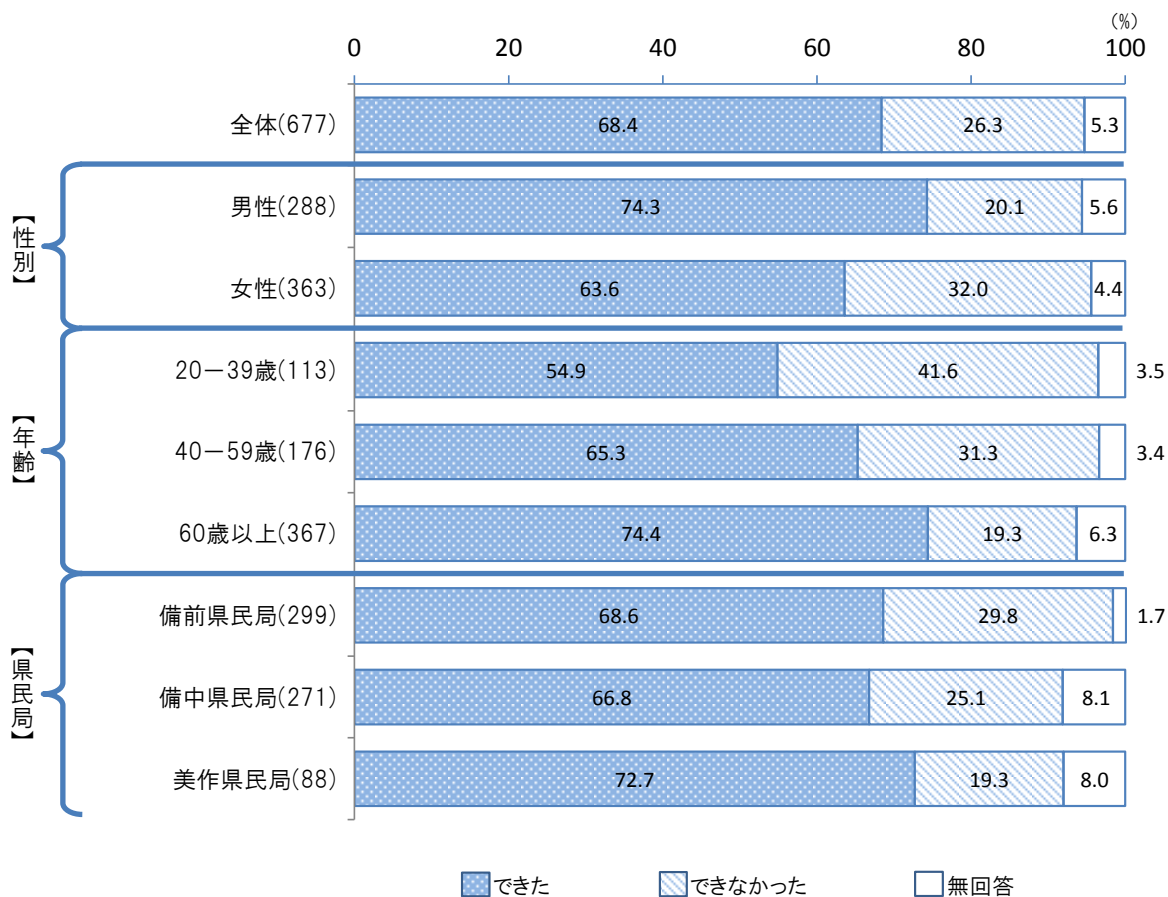
【基礎項目1】

大切な人を満足してお送りすることができたかについて、「できた」と回答した割合が68.4%と高くなっている。

【性別】「できた」と回答した割合は、男性で74.3%と、女性（63.6%）に比べて高くなっている。

【年齢】「できた」と回答した割合は、60歳以上で74.4%で、年齢が高くなるにつれて回答した割合が高くなっている。

【県民局】「できなかった」と回答した割合は、備前県民局で29.8%と、他の県民局と比べて高くなっている。



【基礎項目2】

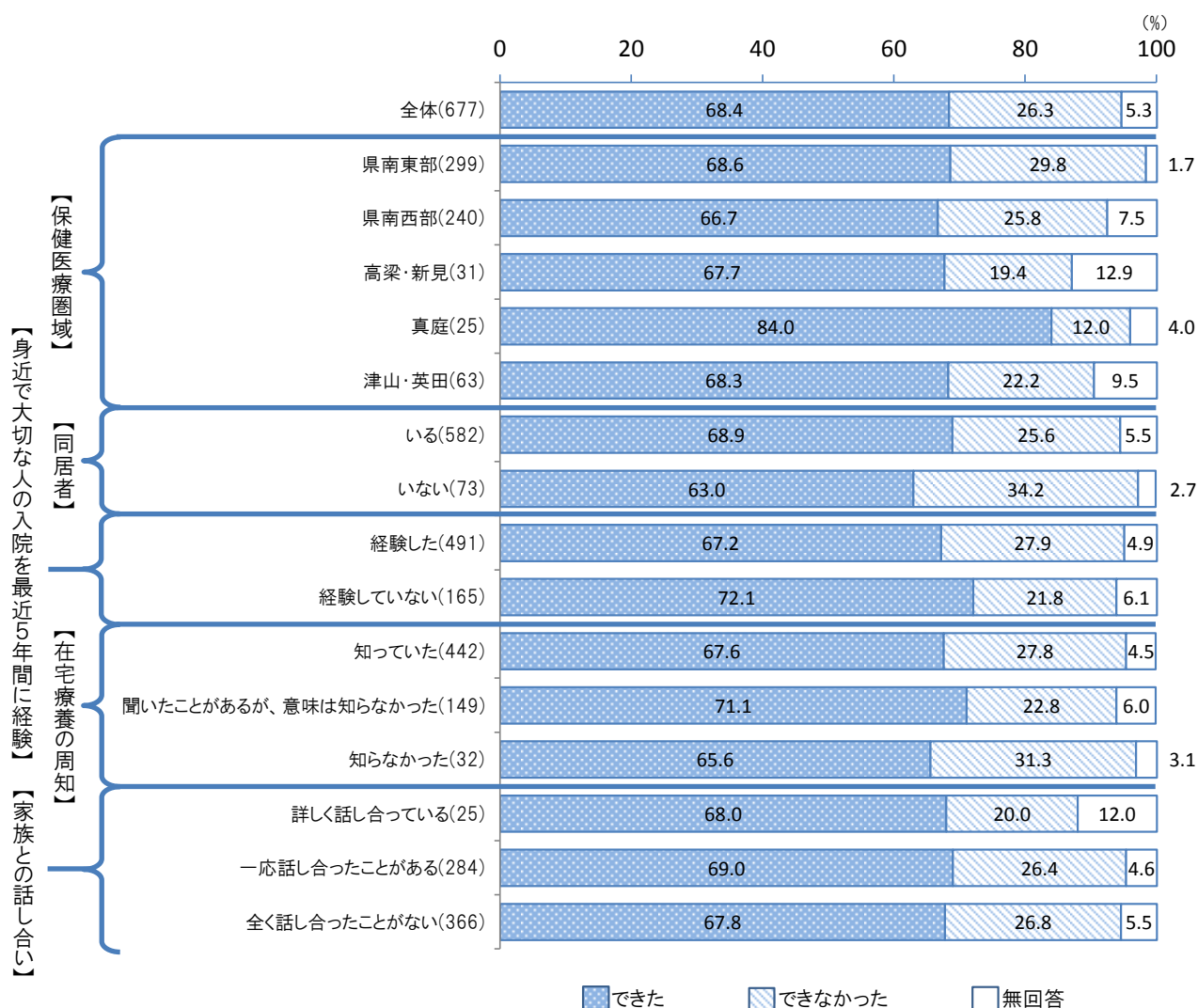
【保健医療圏域】「できた」と回答した割合が、[真庭]で84.0%と高くなっている。

【同居者】「できなかった」と回答した割合が、同居者が [いない] で34.2%と高くなっている。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】「できなかった」と回答した割合が、[経験した]で27.9%と高くなっている。

【在宅療養の周知】在宅療養の周知では、あまり違いは見られない。

【家族との話し合い】家族との話し合いでは、あまり違いは見られない。



具体的にどのようなところが満足できなかったのか、また、どのようにした方がよかったのかお考えを教えてください。

具体的なお考え		
県南東部		
男性	20-39歳	なるべく家でみてあげたいと思った。
		末期ガンだったので、日数がなかった。もっとお見舞に行って、色々お世話が出来たらよかったと思う。
		容態が急変した時に仮眠をとって側にいられなかった。
		急に亡くなった為。
		急死だったため、死に目に会えなかった。
		病院の医療設備や介護が十分だとは思わなかったと思うし、家族として最期を看取ってあげられなかったから。
		医療機関へ行かなかった。行けなかった。
		1人で居宅にいた為。
	40-59歳	社会、会社に殺された。
		故人の意見を尊重したため、苦しい思いをさせた。人の死に対して満足はないと思う。
		治療に対してサポートができていなかった。
		病状を把握してなかった。
		その瞬間に居合わせなかった。
		手術を行う病院の選定を検査を行った医療機関の進めるまま選択し、社会的に評価されていた所か十分な調査しないまま決めてしまった。病名ごとの各病院の評価を公表してもらいたい。
		ホスピスだったから。
		延命処置をしすぎたかもしれない。肉体的苦痛が多すぎた。
	60歳以上	アルコール薬物のアディクトは知っていたが使用する事を、止められなかった！！
		交通事故です。
		母は癌が全身に回り、長く苦しみ、父は関節リウマチで兄夫婦が介護拒否し私たちが最期まで見ました。仕事と、介護の疲れ、兄夫婦とのもめ事、どうして良いか悩み満足できる介護ができなかったと思います。
		もっと早く病院へつれて行けば助かったのかも。介護の判断が遅い。
		転院を3回経験して、又、虐待らしき光景を何度もみた。母が可愛いそうでした。
		水分を欲したのに医師は禁じた。短期日に死亡することがわかっており飲ませておいた方が良かった。
		胃ろう処置のため、短命。
		50代で通院中の急死であり、治療に工夫はなかったのか？
死の近いことを知らせてくれなかった。死の近いことを、どこまで知らすのか、家族の判断は難しいので、なんとも言えない。		
年末のため医療機関で満足な治療ができなかった。病院受入Dr不足。		
入院した病院で真夜中に死亡のため。医師チーム（看護師含む）家族1人だけ立ち合えたため。		
最期には手を握ってあげたかった。		
自分が動けない状態。		
身近の人でも意見がちがうので医療ヘルパー等の考えを十分聞く方が良いと思う。		

県南東部		
女性	20-39歳	最終が近いならばはっきりそう言ってから呼吸器を使う同意を確認してほしかった。家人が死に目にあえなかったと後悔していたので、早目に連絡がほしかった。
		ちゃんと泊まりで介護してほしかった。訪問じゃなく最期の時を見てほしかった。訪問でも1日に1時間置きに見にきてほしい。
		誰にも看取られずに亡くなってしまった。自宅で介護できればよかったのかもしれないが、経済面や人手の事を考えると困難なのが現実でした。
		最後にひ孫を連れて行ってあげることができなかった。
		最後に心臓マッサージを子供がしてもらっていたが、もっと長くしてもらっていたら、息をふき返したのではないかと考えることが今でもあります。
		「延命治療をしないでほしい」と言われていたのに、人工呼吸器をつけて、苦しそだった。本人の意思を尊重すべきだったかもしれない。
		入院することで環境の変化から痴呆が進んでしまい病気も悪化したように感じたため。医師と話す時間も少なく、対等にコミュニケーションをとれるようになればと今後の医療について思います。
		別の所に住んでいる祖母が亡くなったが離れている為死に目に会えなかった。また、最後の方は、病院から別の病院へ移動となり、高齢の為、手術も受けられなかった。
		遠く離れていて、家族に看とられずに亡くなった。間に合わなかった。
		遠方のため発病から数回しか会うことができなかった。意識がはっきりしている状態でもっと話ができればよかった。
		一緒に住んでいるわけではないので、親せきに任せっきりにしていた。もう少しかまっていればよかった。
		父とずっと会っていなかったのに、最後まで会うことができなかったから、もっと姉と話してあつて少しでも早く行けばよかったのかもしれない。
		家に帰りたいと言われたが、末期のガンで痛みがひどくつれて帰れなかった。
		具体的にではなく、なんでもあれもしてあげればよかった、こんなこともできたのと思うことがある。
	できなかったというか、満足して送ることができたかどうか、自分自身でもわからない。	
	孫をつれて、遊びに行けなかった。	
	40-59歳	私がみたわけでもないのわからない。
		とつぜんだったので、満足できるまでの関わりができなかった。医療機関の対応には特に不満はないけど、満足というほどでもなかった。
		会いに来てほしいと言われた時に、会いにいけなかった事。
		入院していたがなかなか会いに行く事ができなかった。
		透析があり、食べ物の制限があり、好きなもの、食べたいものを、病院での手前、“ダメ”とあげることができなかった。もし、自宅にいた場合では、父も80才すぎで、母がいれば、気になり、父の気持ちには他家族もかなりの負担がかかったと思う。母は入退院くりかえしていたので、長くないことがわかっていれば自宅で少しでもすごさせてあげたかった(母にとっては)。
		延命治療の選択により、口から物を食べることもなく、ただ寝たきりの時間をとても長く過ごさせたことに後悔がある。
		最期に間に合わなかった。延命をしなかったのだが本人の意思確認ができていなかったの本人はどうしたのかかわからないままだった。
		もっと早く入院させればよかった。他の病院にすればよかった。
		治療が適切ではなかったと疑っている。
		入院中、便意を訴えていたが、トイレではなく、紙オシメにするように看護師に言われていた。仕事の多忙さも理解できるが、連れて行ってもらえたらと思った。
心臓の病気の為、倒れた時には死亡の為、介護もできなかった為。		

県南東部		
女性	40-59歳	<p>病院に駆けつけた時には、既に昏睡状態で意識がなかったので、話ができませんでした。</p> <p>ショート先で急に救急車で運ばれ病院に着いた時処置中でなかなか会わせてもらえなかった。救急車の方に心肺停止と聞かされたが、どのような状態かわからず会えた時はもうダメみたいだった。もっと苦しい時手をにぎったりしていっしょにがんばってもらいたかったし、ありがとうといっぱい言いたかったです。どうしてすぐ会わせてもらえなかったのだろう、と後で不思議だった。でも病院の方は親せつにして下さり不満はありませんでした。</p> <p>日頃、十分な事ができなかったことの後悔が大きかった。治って出るはずの入院でベットからの転落、それによる外傷などが続き、急速に死に至ってしまった事に対して、気持ちが追いつかなかった。病院への不信感が大きく、後悔した。</p> <p>本人は、最後、家に帰りたいがっていたので…。もう時間がないとわかった時は、本人の希望どおり、家へ帰れるような配慮をして頂ければと、思います。</p>
	60歳以上	<p>1人で苦しんで死にました。自家一人暮らし。子供さんと生活していたらと思います。</p> <p>家族の希望で在宅療養していましたが十分なcure、careが出来ず苦痛も見られ最後は入院をもっと勧めるべきだったとずっと後悔し続けています。入院して同じ状態だったとしてももっと納得出来たのではと思います。(県外在住)</p> <p>7年前に義父(92才)実母(88才)を見送りました。ガンであったため、家で見るのは大変だと思いました。</p> <p>末期がんで、入院して、1ヶ月たたないで、なくなり、心の準備もできないまま…もっとよりそって。</p> <p>医療機関に、入院中は、姉妹3人で、交替で、夜は、医療機関にねとまりして、看護していましたが、難病(ALS)にもかかわらず、介護施設に入所できることになりました。介護施設入所後、2週間足らずで、容態が悪くなり、医療機関へ紹介され2日後、永眠しました。介護施設へ行かず、医療機関で、治療を続けていたら、もう少し長く生きれたのかと、後悔しています。(真近の人とは、私の実母です。)</p> <p>病院のたらい回し。病院の医療に殺された思いが強い。</p> <p>救急車の中で息を引き取ったので、残念でした。</p> <p>容体急変により最期に立ちあえなかった。</p> <p>私自身が体が不調であった為、外出出来なく面会にたびたび行ってあげられなかった。最終に近づいた時、施設の医師からその説明を聞いたかった。</p> <p>岡山市内と、県北在住であり急変し最期を看取ることができなかった。</p> <p>退院してきた後、急変して死んだ為。</p> <p>緊急だったので思う様な看護がしなかった。どの様にしたのが良かったかどうか今でも思う時がある。</p> <p>近所皆んな集合していろいろきめた。</p> <p>ひどくなる前に医療機関に入院すれば良かった。</p> <p>十分に話が出来ず満足出来る送りをしてあげられなかった。</p> <p>年に不足なく身内がよく見舞にいった。病人が満足していた。</p> <p>何も思う事はないです。</p> <p>親切に対応してくれた。</p> <p>私も治療を受けていたから。</p>
	年齢無回答	<p>自宅外で急になくなりなかなか本人にあわせてもらう事が出来なかった。最期の時がわからないので今でもかなしい。</p>
性別無回答	年齢無回答	<p>死亡後の連絡となった事により看取れなかった(職員が気付かなかった)。</p> <p>どのようにした方がよいかは分からない。</p> <p>どうする事も出来なかった。</p> <p>しきたりにしたがって行った事。</p> <p>自分の病の為思うように介護できなかった。</p>

具体的なお考え			
県南西部			
男性	20-39歳	もう少し会っておけばよかった。 仕事もあり、また、家族として過ごせる時間も限られていたため。 お金の貸し借りが原因で疎遠になっていたため。でも亡くなった事を聞いてからボロボロ泣いてしまった。小さな事だったな、自分の器が小さかったな、と後悔してしまっ。生前に戻れたら、「水に流すから、楽しかった頃に帰ろう」と声をかけたい。	
	40-59歳	急だったのでやりのこしたことが多くのことのように思うから 永遠の課題もしくはきりがないのかもしれませんがもっと介護が出来たのではないかと、もっとしてあげられたことはないか？と思う。 どれだけのことをすれば満足なのかわかりません。その時、その時の環境に 応じて、出来る事を一生けん命やるだけでした。 息を引きとる時、だれも部屋にいなかった…。※どうしようもなかったと思う。	
	60歳以上	いっばいなにもかもしてあげたかった。 おなかが痛いと言って病院に11月末入院。翌10日に死にいたった。 急死だった為(80才)。 急変の為、誰も見るだけでした。別に手当を取らなかった。 心の通じる介護が出来なかった。特に居宅の時は大変な思いをしました。 仕事を持っているので医療機関に一任。 5年間なし。	
	女性	20-39歳	入院しており、十分に会いに行けないまま亡くなってしまったため、もっと会いに行っておけばよかった。最期にまにあわなかった。 家がはなれていたので、まかせきりになってしまった。 孫を一度も抱かせれなかった！！ 2年間病院にいたが、遠方であり行けなかった。脳疾患で意思疎通が難しかった。行ける時は行き、話しかけた。 真夜中に息を引き取ったので、誰も看取ることができなかった。さびしがり屋な人ただけに、なんともいえない気持ちが今でもある。 いろいろな事情で、私の意見は、伝える事ができず、本人の意見も聞く事ができなかったため、これでよかったのか分からなかった。 他に何をどうしてあげられたかわかりませんが個人的には後悔ばかりです。質問内容にそう回答ではないと思いますができたとは回答しにくいので、すみません。 医療機関の為、最期に間に合わなかった。 透析ができなくなり、延命の方法がないのにチューブや点滴を外さなかった。最期まで、家族の希望で生きていてもらった。最期まで苦しんだと思う。申し訳なかったと思っている。
		40-59歳	気管に前日から、物がつまっている事に気づかず、気づいたら、苦しそうにしていて、そのまま、心ぞうが止まった。家族だから、迷惑かけたくないと思う気持ちが、本人をがまんさせてしまったので、病院で、このような事になっていたら、助かったと思う。 治療方針を決める時に仕事で病院にいけず電話ですませた事。 突然の悪化。もっと度々訪問すれば良かったが、自分たちの生活もゆとりがなくいろいろな場合への備えが足りなかった。 集中治療室には入れないので…。息を引きとる場面に一緒にいてあげられなかったのが残念でした。 あまりにも急すぎたので…。いろいろ振り返ると心残りがあつた。最期は在宅がよかったのかなあ…。 父が要介護5で有料施設へ。(有料にしか入れなかったため)途中から胃ろうで栄養を摂ることに…。良かったか分からない。

県南西部		
女性	40-59歳	<p>義姉であったが、子どもの意見から、治療が十分にできなかったように思う。4人の子の意見がまとまっていなかった。医師の指示での転院、手術をしていれば…と思う。</p> <p>入院させる病院をもっと考えて入院させれば良かった。病院のいい加減さに腹立しい。</p> <p>救急病院にはこばれある程度良くなり退院できるまでになりその後の受け入れ先がなかなかみつからなかった。思っていた施設に入れなかった。思う様な介護ができなかった。</p> <p>手術をしないと助からないと言われ受けたが術後1週間で亡くなった。86才の年で痛い思いまでして手術する必要があったのか？</p> <p>前日まで四六時中家族の誰かが夜も病室に居たが、病院より、当院で看護するから無理をしないで帰宅をといわれ、翌日誰も居ない中息をひきとったので…残念でした。</p> <p>病院で寝たきりで、数年間、何の楽しみもなく、亡くなった事が悲しい。夜中急変し、看取る事もできなかった。介護型の施設で、人間らしく最期を迎えて一緒に過ごせる時間が欲しかった。(介護負担が家族、特に女性にばかり偏らない様に…)</p> <p>もう少し会いに行ければ良かったと思います。</p> <p>病院に、ひんぱんに見舞いに行っておいてあげてなかったこと、たくさん足を運んで、もう少し話しなどしてあげたかった。</p>
	60歳以上	<p>広島施設に入っていた為、なかなか、お見舞とか、介護に行けなかった。代って、長男が毎日、施設に通い、見とった。もう少し、最後頃、行けば、よかった。</p> <p>本人は家に帰りたかったが、病気も多く無理だった。</p> <p>家のもの(息子)がケアやヘルパーをたのんでいた為満足できなかったと思う。</p> <p>急性心不全だったので、どうかわかりません。でも一日のスケジュールを終えてうがいをしていって、たおれたものです。</p> <p>80代の(2006)…(月)からの検査入院で(土)入院。(日)朝食後、当直看護師に測定(体温・血圧etc)のため、横臥位を強制され、心不全をおこし死亡→入院しなければもう少し生きていた?80代の母(2014)…サ高住入居15ヶ月、夜中にトイレで転倒→大腿骨頸部骨折の疑いで救急搬送。認知症もなく、頭脳明晰。レントゲン室に「がんばってね!!」と送り、出てきた時には、意識喪失。その後、自発呼吸もできなくなり、(レントゲンを撮る際の外傷性ショック死?)病院到着2.5Hで死亡。(最期を看取る)→病院につれていかなければ、生きていた?</p> <p>治療方針が医療機関の言われるがままだった。もっと家族の希望を聞いてほしかった。そのためには病状説明を詳しくし、選択肢をふやしてほしかった。</p> <p>施設の方針があり、食事の時一緒にそうすることが出来ず、本人の願いに応じることが出来なかったことが多々あり、少しさびしい目をさせてしまった。度々面会し判断可能な折、色々話し合っておくことの必要を感じた。</p> <p>仕事をしていてすぐにつけていけなかったこと。自分の体力がついていけなかったこと。</p> <p>病気であるということをご本人の希望で知らされず、なくなってから会うという状況できちんとお別れできなかった。どうすれば最も良かったのかわからない。</p> <p>医療機関の主治医(回りのスタッフも)が状況をよく説明され信頼でき、納得できた。</p> <p>だいたい満足しています。</p> <p>突然死の為。</p> <p>家族との不仲の為苦しかったと思う。(両者ともに)</p>

県南西部		
女性	60歳以上	親せきに看護師の免許のあるめい子がいましてその子がずっと1ヶ月半ほどつき切りで世話してくれましたので本人も喜んでおりました。最後良かったと皆んなそのめい子に感謝していました。
		主人の在宅介護のため外出まならずです。
		居宅で医療介護を受けることを話し合ったが家族が患者本人を支えることに不安が大きく病者の希望が受け入れられなかった。
		私の夫は2年半前に多発性骨髄炎と診断されました。入退院の繰り返しでした。週に1回の通院でした。2年間続けました。本人の体力が衰え通院がしんどくなり先生に相談した所近くの病院を紹介されました。入院しました。嫁いでいる娘が病院の相談員さんに相談し家で見る事にしました。それには在宅医療・居宅介護をお願いしました。娘はお母さん悔のないようにの一点張りでした。最後には先生の進めで入院しました。一週間後には眠る様に亡くなりました。1ヵ月あまりですが良かったと思います。
		出来たか出来なかったかと云われても病気にもよるし医療機関に入院の場合は医師の指示通りにするしかないと思う。
		自宅で倒れた時大きな設備の整った病院ではなくかかりつけの病院に運んでもらい数日間すごした。最初から大きな病院に運んでもらっていたらもっと違うようになっていたのでは…とっている。
		緩和ケア病棟にいたが、一般病棟とさほど変わらなかった。もっと個別重視でケアしてほしい。

具体的なお考え		
高梁・新見		
男性	60歳以上	癌であったが総合的な見地からの診断が必要と思われる。
女性	40-59歳	家で最期を迎える事に、反対されてしまった。
		突然の事故のため。
		急変して、死を迎えたため、死の時に立ち会えなかった。そばにいてあげたかった。
女性	60歳以上	急死でしたので何もかもが後悔だらけでした。一人暮らしでもっと足を運んであげていたらー。
		心筋梗塞により心不全をおこし突然死をしました。普段から、気を付けて、病院受診をしていれば良かったと思っています。
		4年前の8月に主人は左足を切断し又人工栄養にしていたましたが亡くなりました。同年の10月に私の母を亡くしました。私1人で重症の二人を4~5年看護しましたがほとんど寝ない日々でした。肉身の愛に頑張れました。他の人が診て下さるのはあくまでビジネスだと思っていました。二人を見ることが出来て最高でした。

具体的なお考え		
真庭		
女性	40-59歳	事故死のため。
	60歳以上	認知症もあり、はいかいもあり頭部のケガを直す事を優先したため薬で行動を制限し、そのまま意識がもどらず亡くなった。病院では良くしてもらったと言う思いともっと外に対応がなかったのか、と複雑な気持ちです。
		度々見舞ができなかった。

具体的なお考え		
津山・英田		
男性	20-39歳	最期の時を一緒にいれなかったこと。
	40-59歳	自分の知らないもっと良い方法があったのではと考える。 最期に立ち合えなかった。
	60歳以上	救命は望むが、延命はしないと決めていたが遺族間で、救命と、延命の解釈が異なっており、延命になってしまい、故人を苦しめただけだった。
女性	20-39歳	車で1時間以上離れた病院で療養していたのと、医療ミスによって意識が戻らないまま、亡くなってしまった(簡単なOpeのための入院だったのに…)のどで、思いもよらない形で亡くなったので、何もできなかった。状態も不安定だったので、居宅に戻ることもできなかった。
		大きな病気もなく、前日まで元気に畑仕事をしていたのに突然倒れてそのまま亡くなってしまったので、もっと感謝を伝えたり、頻繁に会いに行ったりしておけば良かったと思います。
		急死(心筋梗塞)だったので、何もできなかった。
	40-59歳	癌で亡くなったが、抗癌剤を使うことが、はたして本人にとって良かったのかどうか。お互いに死というものに向き合わず、つらい悲しいと言いたくても言えなかった。弱気にならないようにと頑張り過ぎてしまった。もっと語り合いたかった。
		家族で介護してあげたかったが義母の介護もあったので出来なかった。
	60歳以上	遠い子供の所に居たから。 死後体内の毒素を発散すると聞くが、在宅では家族らに迷惑かからないのか?病状によって不安を残すのか?…(消毒法?)
風呂でなくなったので突然だった。		
無回答	そばに居てあげたかったのだが居る事が出来なかった。	

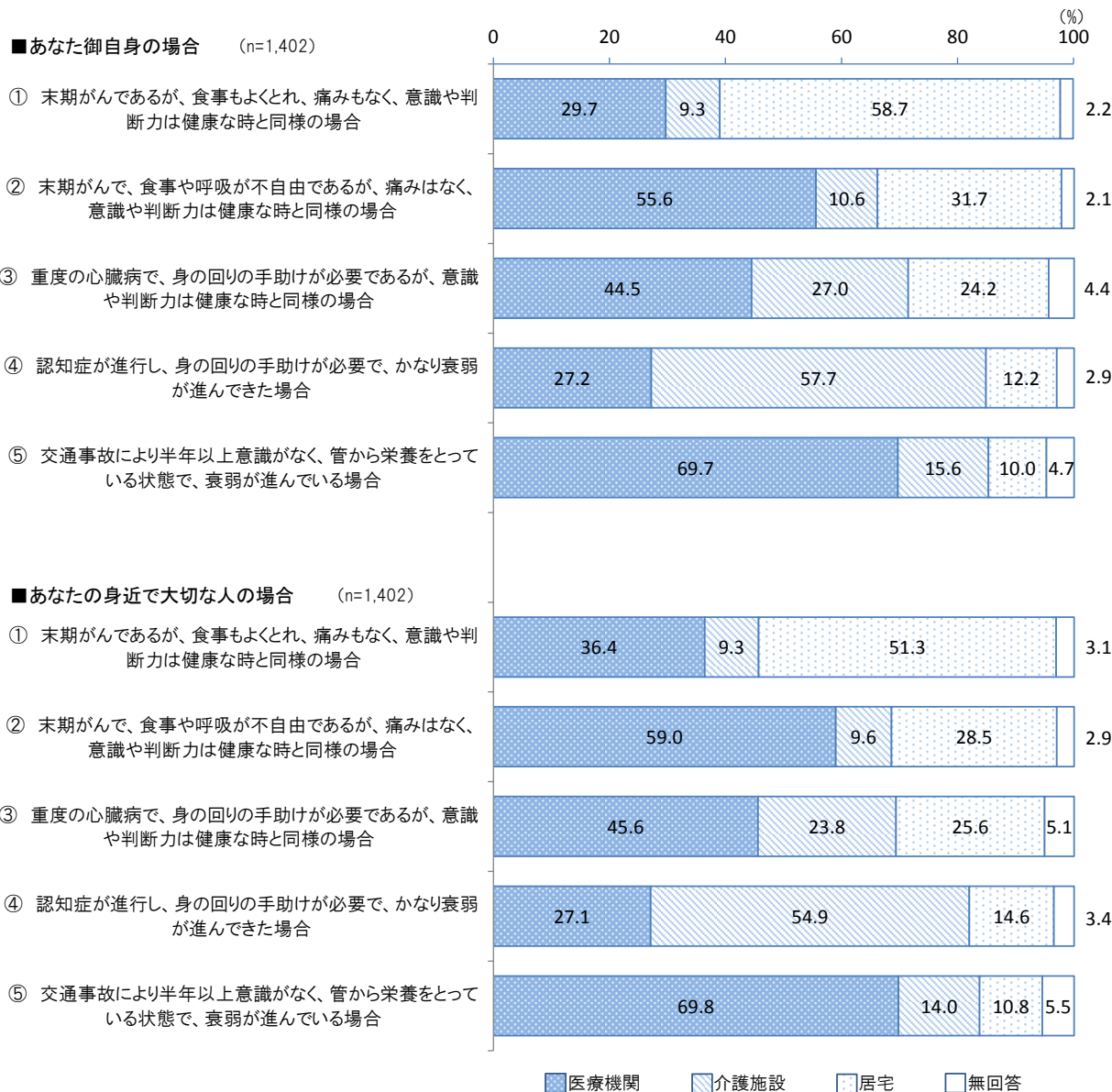
あなた御自身やあなたの身近で大切な人が回復の難しい状態になった場合の、医療に関する御希望を伺います。いくつかの異なる状態を示しますので、あなた御自身の場合と、あなたの身近で大切な人の場合のそれぞれについてお答えください。

—今回調査で例示した、人生の最終段階の状況—

- ① 末期がんであるが、食事もよくとれ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合 (問 10)
- ② 末期がんで、食事や呼吸が不自由であるが、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合 (問 11)
- ③ 重度の心臓病で、身の回りの手助けが必要であるが、意識や判断力は健康な時と同様の場合 (問 12)
- ④ 認知症が進行し、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合 (問 13)
- ⑤ 交通事故により半年以上意識がなく、管から栄養をとっている状態で、衰弱が進んでいる場合 (問 14)
- ⑥ 交通事故により心肺停止となったのち蘇生したものの、2週間が経過した時点で意識はなく、人工呼吸器と点滴を受けている場合 (問 15) ※⑥では設問していない為項は無し。

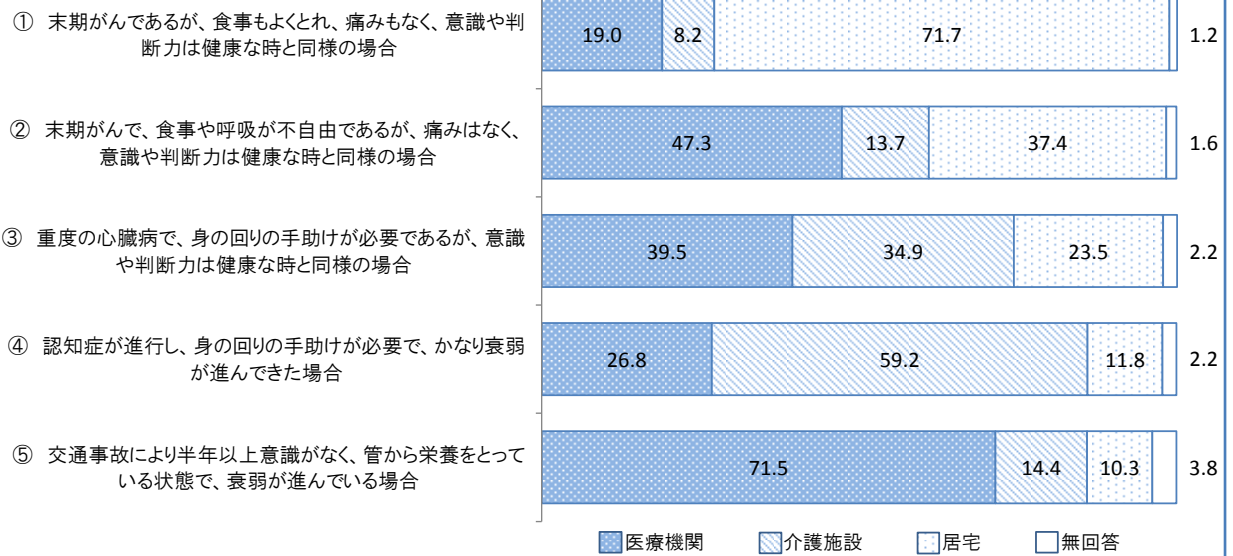
※平成 26 年 3 月 全国調査では、あなた御自身の場合のみの調査となっています。

人生の最終段階を過ごしたい場所についてのまとめ



人生の最終段階を過ごしたい場所についてのまとめ

■全国調査【平成 26.3】【御自身の場合】 (n=2,179)

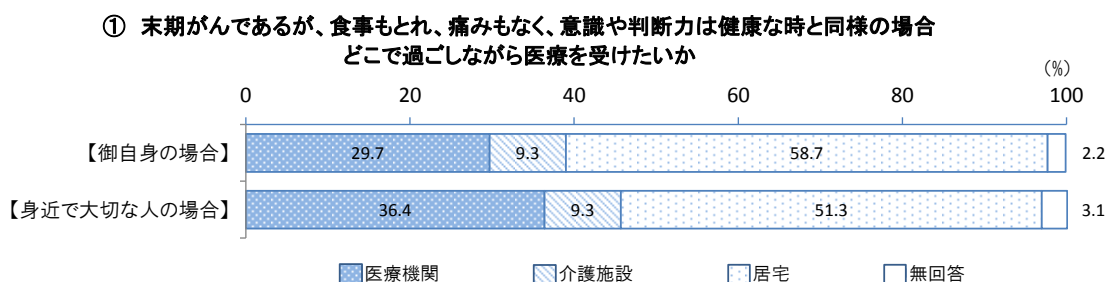


■ 人生の最終段階の状況 【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】の比較

① 末期がんであるが、食事もとれ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合

どこで過ごしながら医療を受けたいかについて、【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】で「居宅」と回答した割合がともに5割以上と高くなっている。

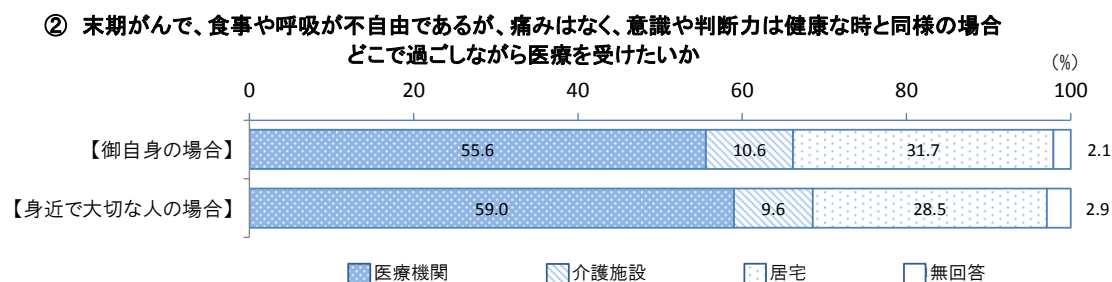
また、【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】で比較すると、【御自身の場合】では「医療機関」と回答した割合が6.7ポイント低く、「居宅」では7.4ポイント高くなっている。



② 末期がんで、食事や呼吸が不自由であるが、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合

どこで過ごしながら医療を受けたいかについて、【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】で「医療機関」と回答した割合がともに5割以上と高くなっている。

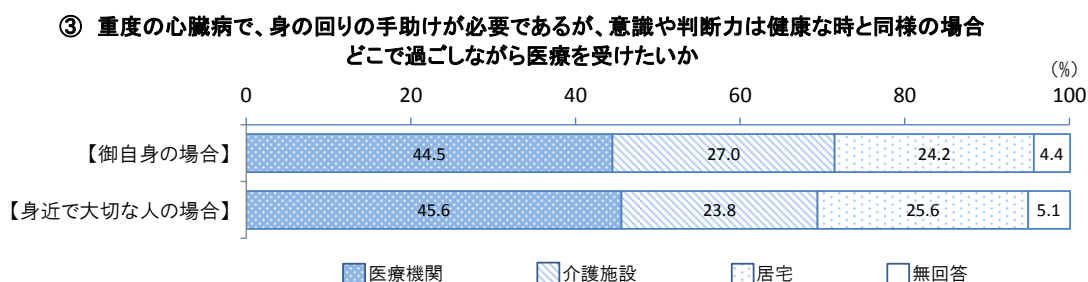
また、【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】で比較すると、【御自身の場合】では「医療機関」と回答した割合が3.4ポイント低く、「居宅」では3.2ポイント高くなっている。



③ 重度の心臓病で、身の回りの手助けが必要であるが、意識や判断力は健康な時と同様の場合

どこで過ごしながら医療を受けたいかについて、【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】で「医療機関」と回答した割合がともに4割程度と高くなっている。

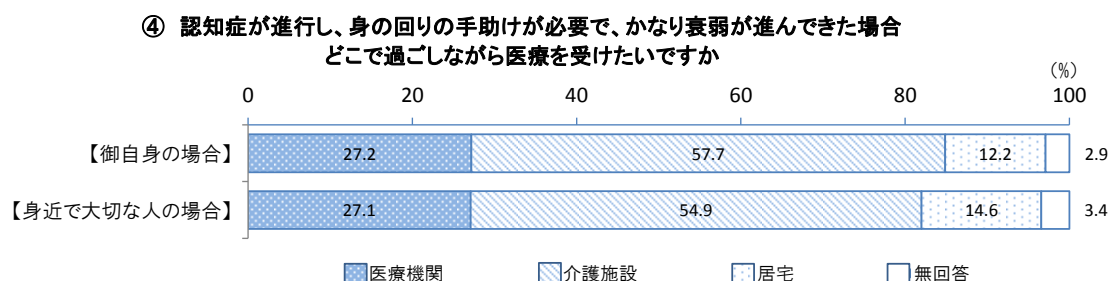
また、【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】で比較すると、【御自身の場合】では「介護施設」と回答した割合が3.2ポイント高く、「居宅」では1.4ポイント低くなっている。



④ 認知度が進行し、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合

どこで過ごしながら医療を受けたいかについて、【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】で「介護施設」と回答した割合がともに5割以上と高くなっている。

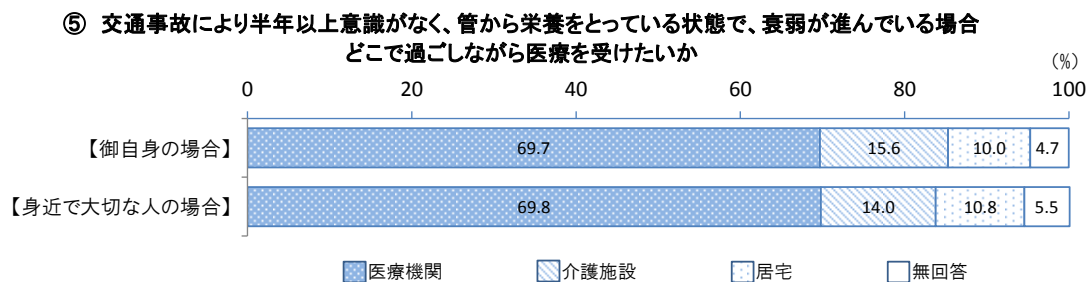
また、【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】で比較すると、「介護施設」と回答した割合が【御自身の場合】では2.8ポイント高く、「居宅」では2.4ポイント低くなっている。



⑤ 交通事故により半年以上意識がなく、管から栄養をとっている状態で、衰弱が進んでいる場合

どこで過ごしながら医療を受けたいかについて、【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】で「医療施設」と回答した割合がともに7割程度と高くなっている。

また、【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】で比較すると、あまり違いはみられない。



①末期がんであるが、食事もよくとれ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合

《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

末期がんと診断されましたが、少し疲れやすいものの、食事もよくとれ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、徐々に死に至る。」とのことです。

問10-1 (i)あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいですか。(○は1つ)

【基礎項目1】

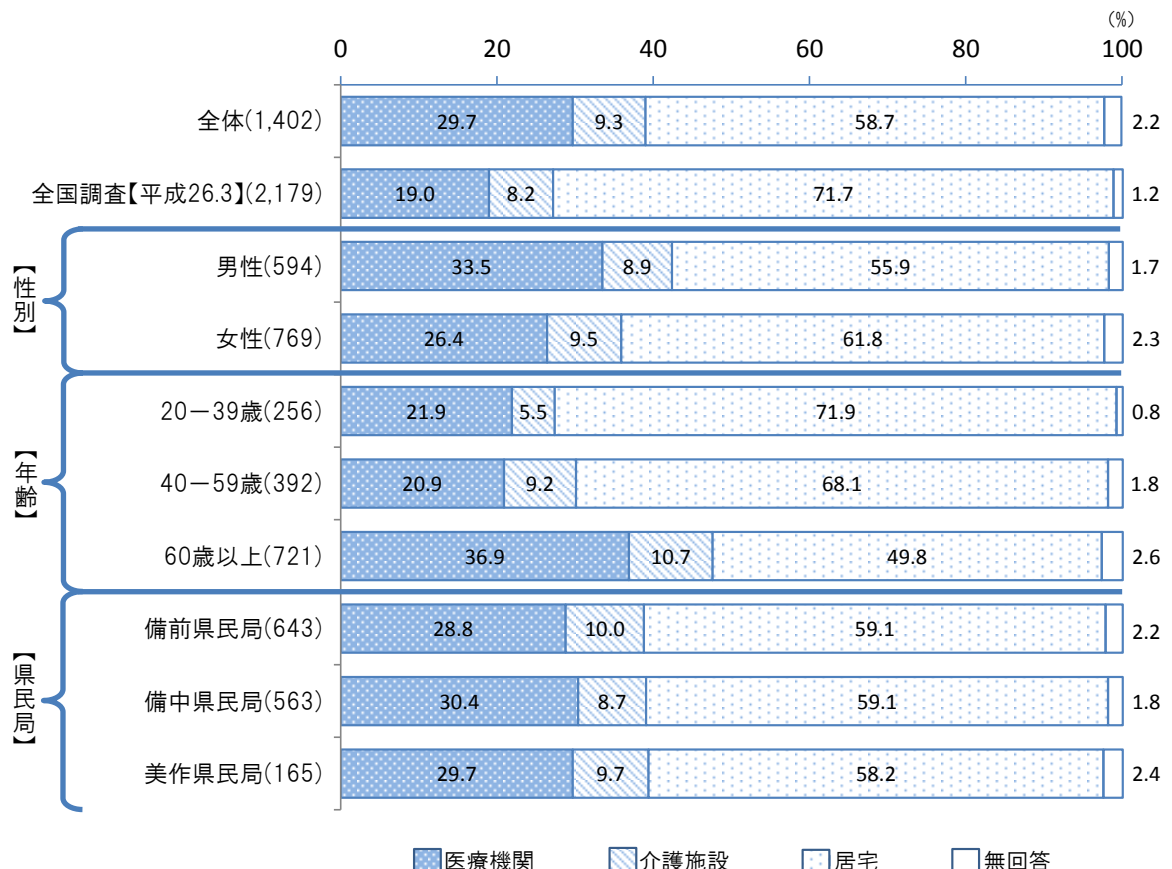
あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいかについて、「居宅」と回答した割合が58.7%と最も高く、次いで「医療機関」(29.7%)、「介護施設」(9.3%)となっている。

全国調査と比較すると、「居宅」と回答した割合が、13.0ポイント低くなっている。

【性別】「医療機関」と回答した割合が、男性で33.5%と、女性(26.4%)に比べて高くなっている。

【年齢】「居宅」と回答した割合は、20-39歳で71.9%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が低くなっている。また、「医療機関」と回答した割合は、60歳以上で36.9%と、他の年齢に比べて高くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



【基礎項目2】

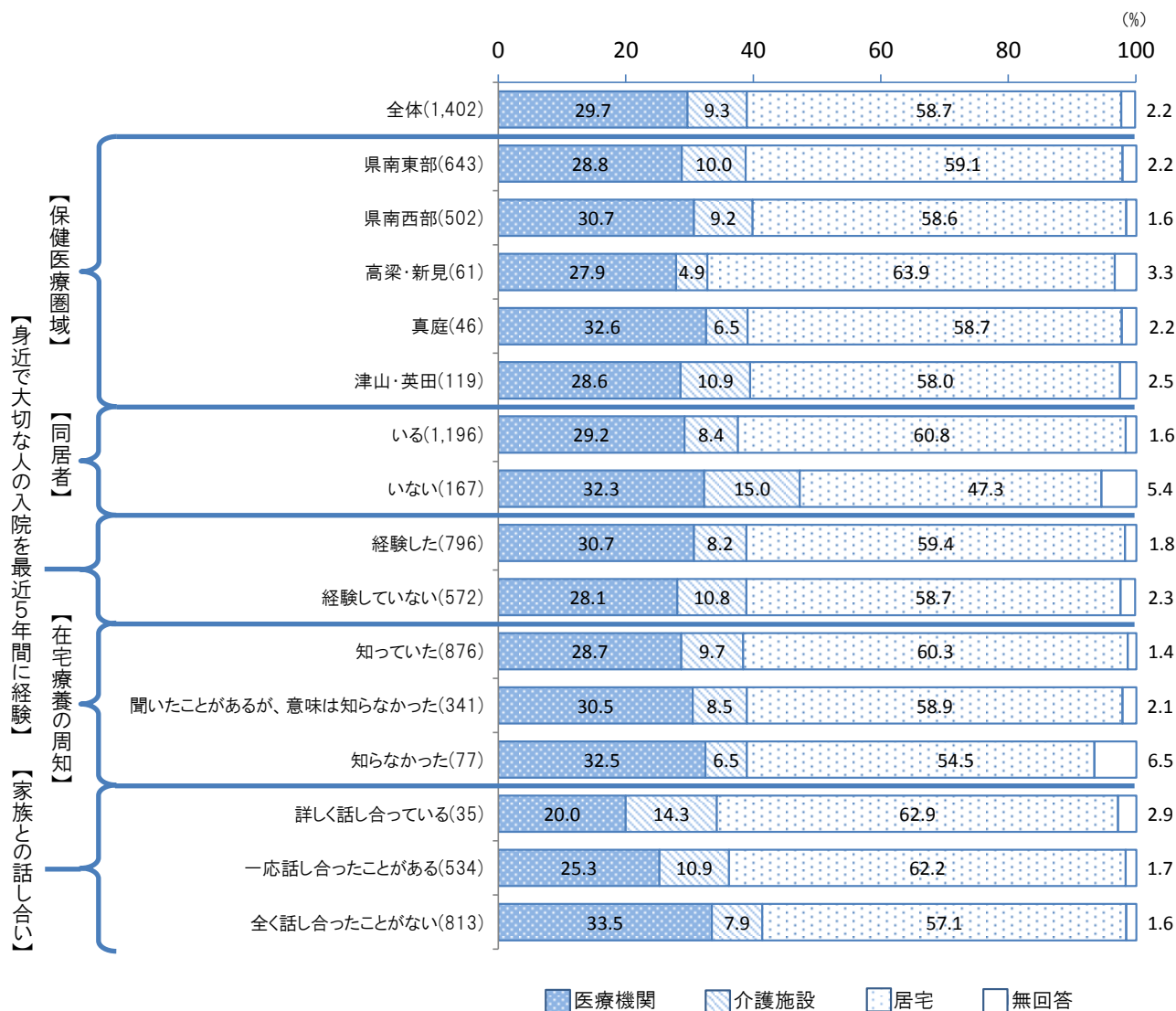
【保健医療圏域】「居宅」と回答した割合が、[高梁・新見]で63.9%と、他の保健医療圏域に比べて高くなっている。

【同居者】「居宅」と回答した割合が、同居者が[いる]で60.8%と、[いない]（47.3%）に比べて高くなっている。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【在宅療養の周知】在宅療養について知っている人は知らない人と比較して、居宅で医療を受けたいとする割合が高くなっている。

【家族との話し合い】「医療機関」と回答した割合が、[詳しく話し合っている]で20.0%で、話し合いが少なくなるにつれて回答割合が高くなっている。



問10-1 (ii)あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいですか。
(○は1つ)

【基礎項目1】

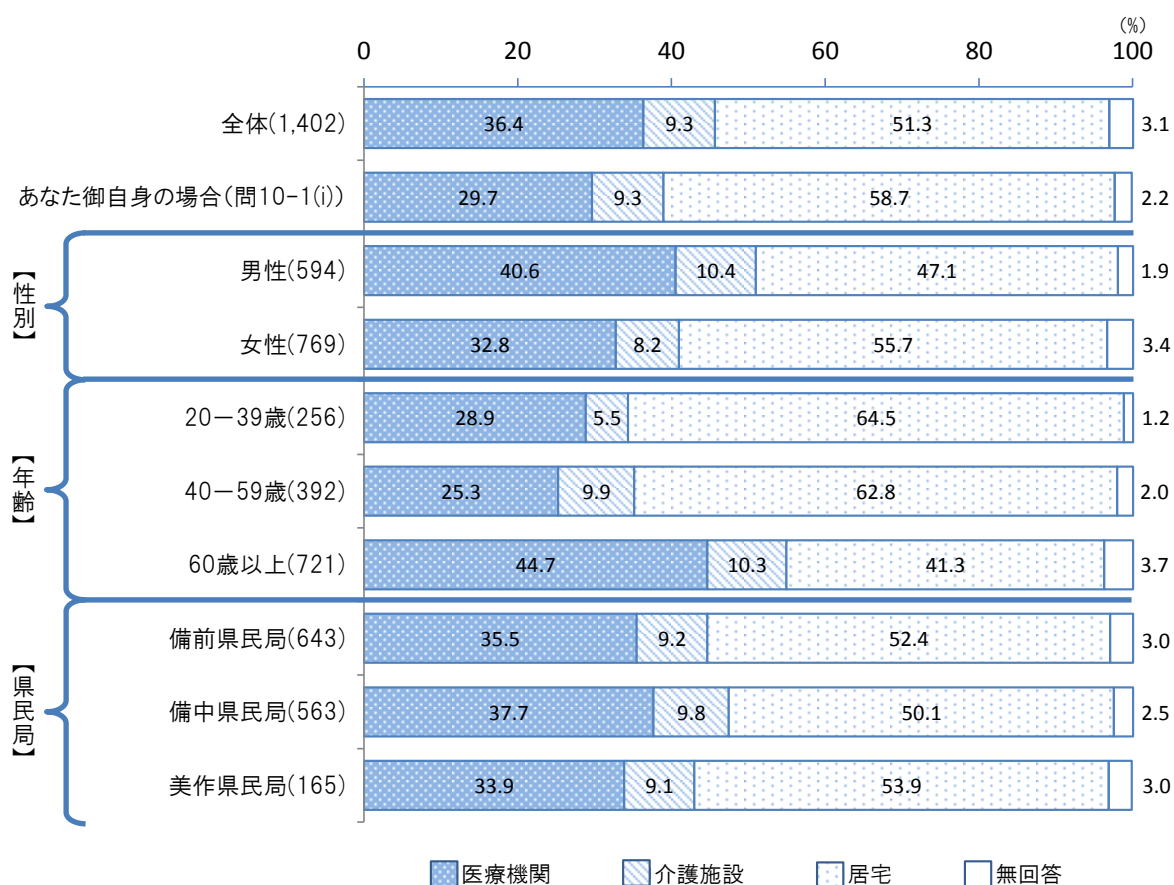
身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいかについて、「居宅」と回答した割合が51.3%と最も高く、次いで「医療機関」(36.4%)、「介護施設」(9.3%)となっている。

前問の【あなた御自身の場合】と比較すると、「居宅」と回答した割合が7.4ポイント低くなり、「医療機関」と回答した割合が6.7ポイント高くなっている。

【性別】「居宅」と回答した割合が、女性で55.7%と、男性(47.1%)に比べて高くなっている。

【年齢】「居宅」と回答した割合は、20-39歳で64.5%で、年齢が高くなるにつれて身近で大切な人に居宅で過ごしながらか医療を受けてもらいたいと思う傾向がある。また、「医療機関」と回答した割合は、60歳以上で44.7%で、他の年齢に比べて高くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



【基礎項目2】

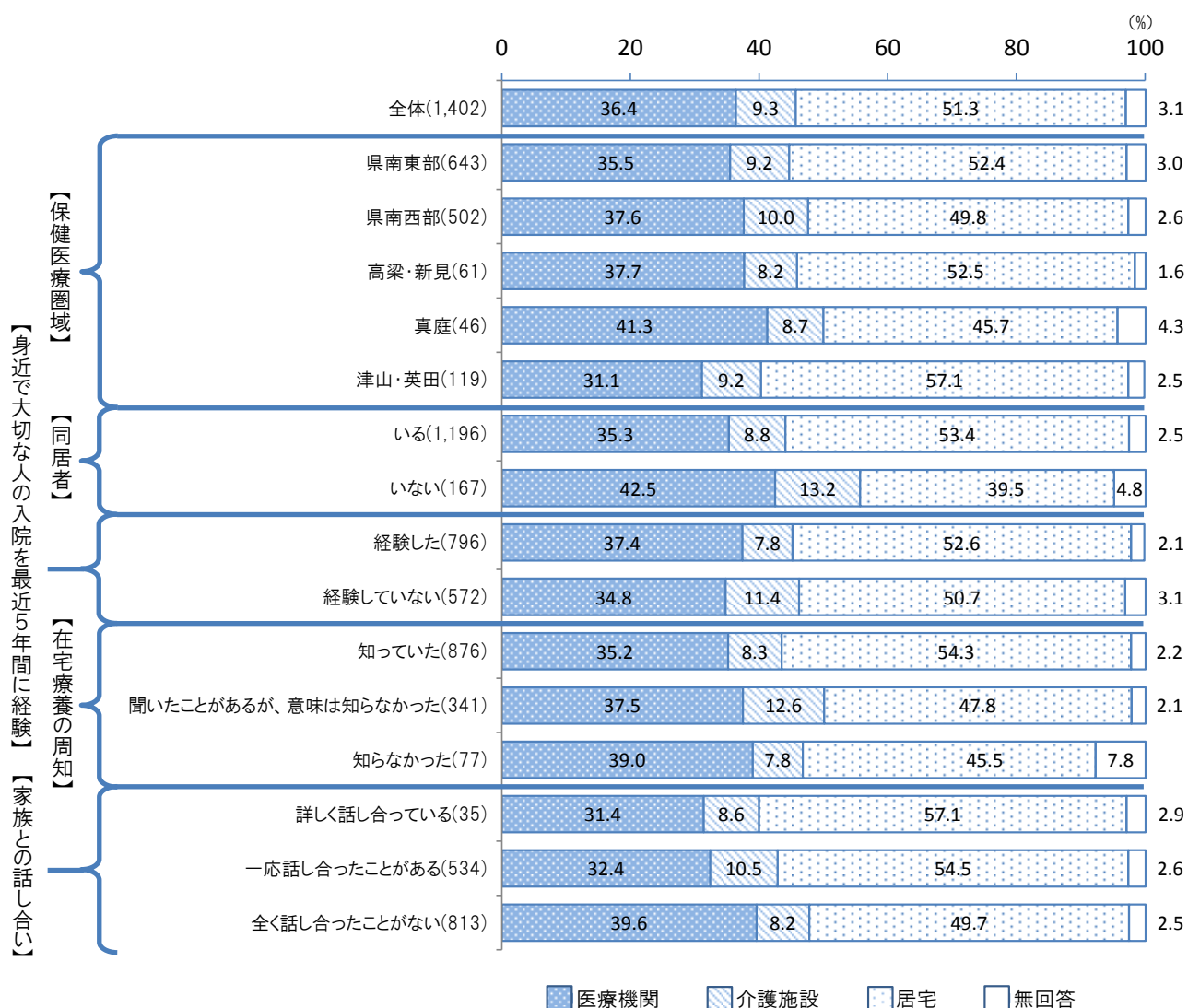
【保健医療圏域】「居宅」と回答した割合が、[津山・英田] で57.1%と、他の保健医療圏域に比べて高くなっている。

【同居者】「居宅」と回答した割合が、同居者が [いる] が53.4%と、[いない] (39.5%) に比べて高くなっている。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【在宅療養の周知】「医療機関」と回答した割合が、[知らなかった]で39.0%で、周知が低くなるにつれて回答割合が高くなっている。

【家族との話し合い】「居宅」と回答した割合が、[詳しく話し合っている]で57.1%で、話し合いが少なくなるにつれて回答割合が低くなっている。家族と詳しく話し合っている人は身近で大切な人に居宅で過ごしながらか医療を受けてもらいたいと思う傾向がある。



問10-2 (i)あなた御自身の場合、これから、どのような方針での医療を希望しますか。
 (どの方針であっても、できるだけ痛みや呼吸の苦しきなどの不快な症状を和らげる医療は行います。)(〇は1つ)

【基礎項目1】

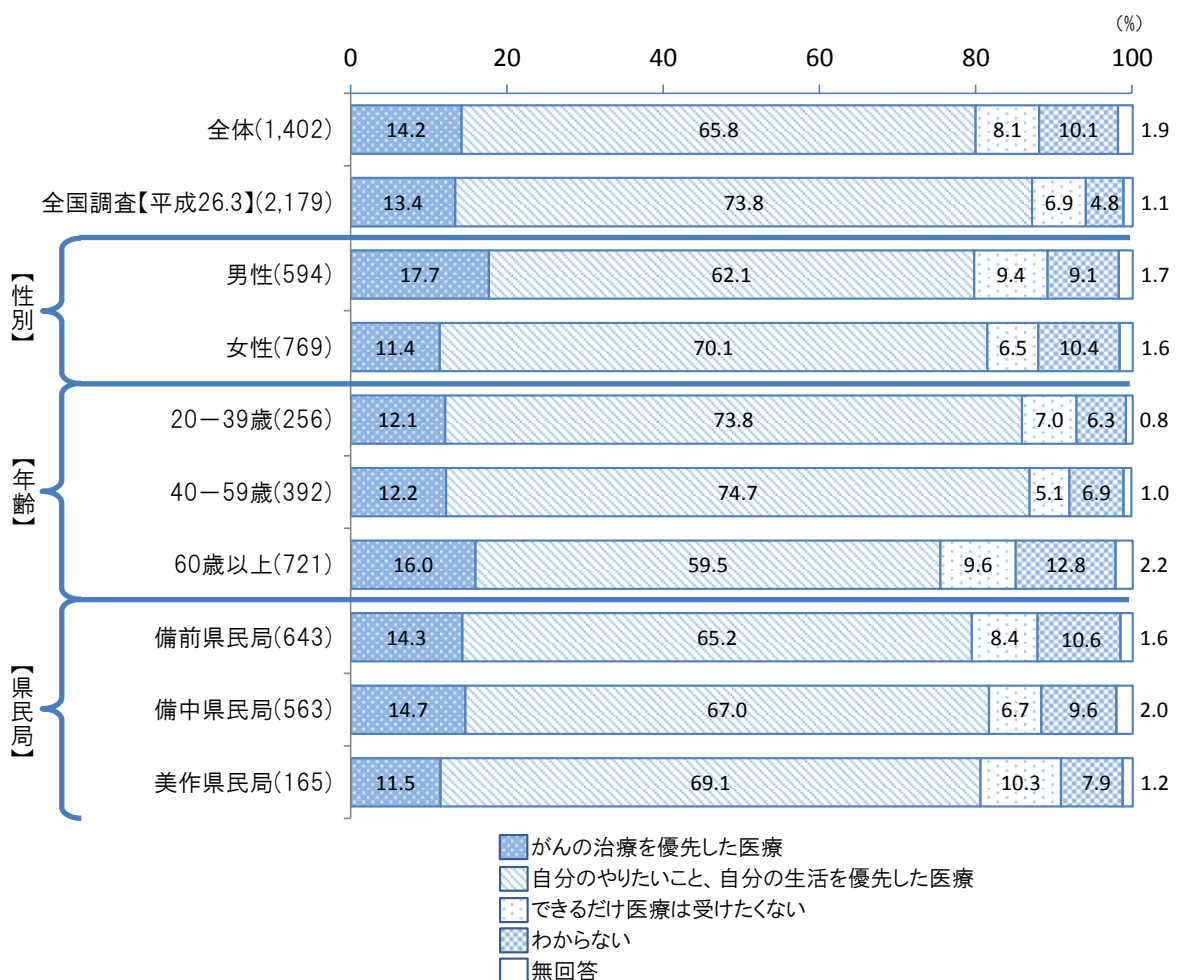
あなた御自身の場合、これから、どのような方針での医療を希望するかについて、「自分のやりたいこと、自分の生活を優先した医療」と回答した割合が65.8%と最も高く、次いで「がんの治療を優先した医療」(14.2%)、「わからない」(10.1%)となっている。

全国調査と比較すると、「自分のやりたいこと、自分の生活を優先した医療」と回答した割合が、8.0ポイント低くなっている。

【性別】「自分のやりたいこと、自分の生活を優先した医療」と回答した割合が、女性で70.1%と男性(62.1%)に比べて高くなっている。

【年齢】「がんの治療を優先した医療」と回答した割合は、60歳以上で16.0%で、年齢が高くなるにつれてこの回答割合が高くなっている。また、「できるだけ医療は受けたくない」と回答した割合は、60歳以上で9.6%で、他の年齢と比べて高くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



【基礎項目2】

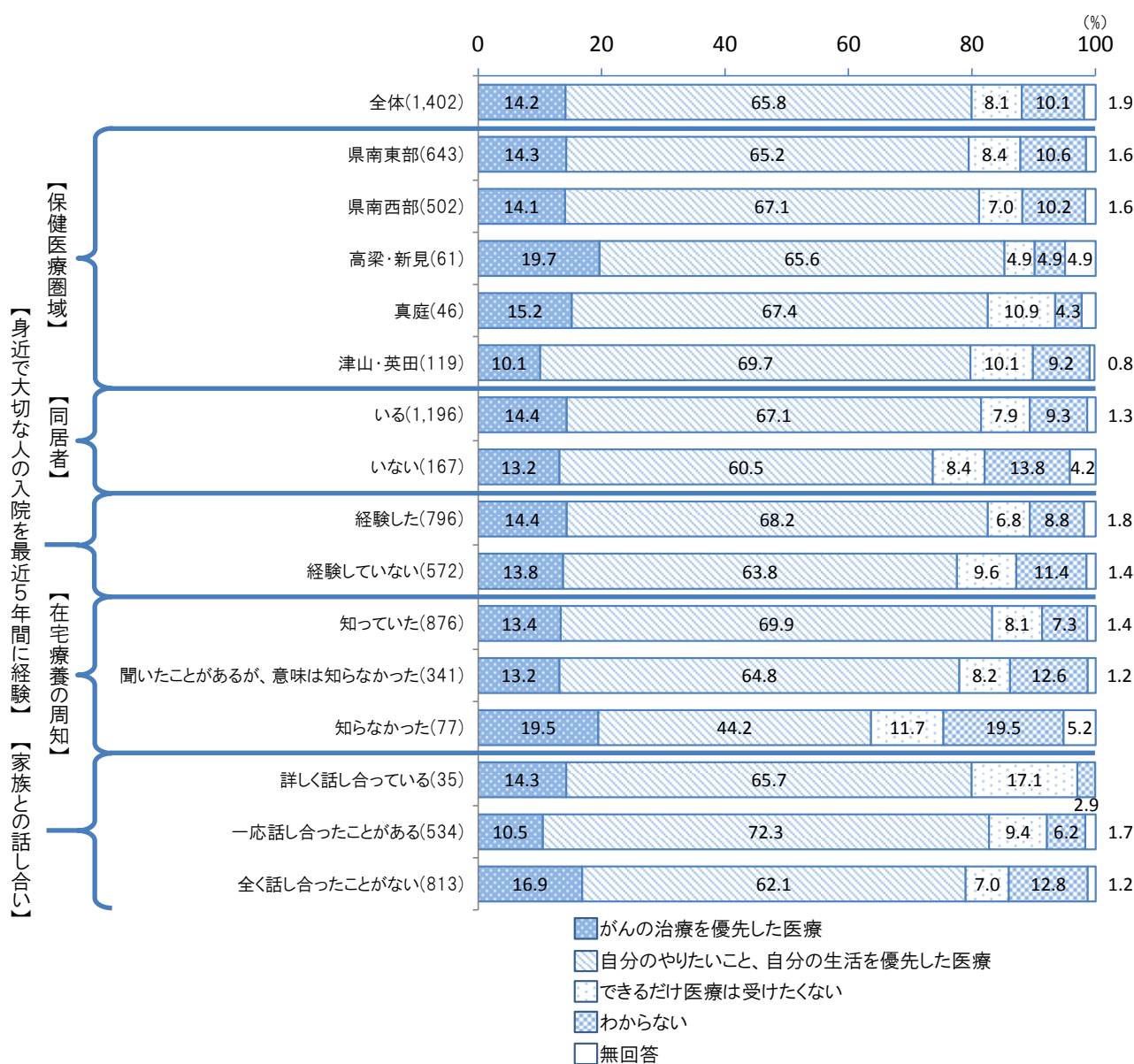
【保健医療圏域】「がんの治療を優先した医療」と回答した割合が、[高梁・新見]で19.7%と、他の保健医療圏域に比べて高くなっている。

【同居者】「自分のやりたいこと、自分の生活を優先した医療」と回答した割合が、同居者が[いる]で67.1%と、[いない]（60.5%）に比べて高くなっている。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【在宅療養の周知】「自分のやりたいこと、自分の生活を優先した医療」と回答した割合が、[知っていた]で69.9%で、周知が低くなるにつれて回答割合が低く、在宅療養について知っている人程、自分のやりたいこと、自分の生活を優先した医療を望んでいる傾向が高い。

【家族との話し合い】「できるだけ医療は受けたくない」と回答した割合が、[詳しく話し合っている]で17.1%で、話し合いが少なくなるにつれて回答割合が低く、家族と話し合っている人程、できるだけ医療は受けたくないと思う傾向が高い。



問10-2 (ii) あなたの身近で大切な人の場合、これから、どのような方針での医療を希望しますか。
 (どの方針であっても、できるだけ痛みや呼吸の苦しさなどの不快な症状を和らげる医療は行います。)(〇は1つ)

【基礎項目1】

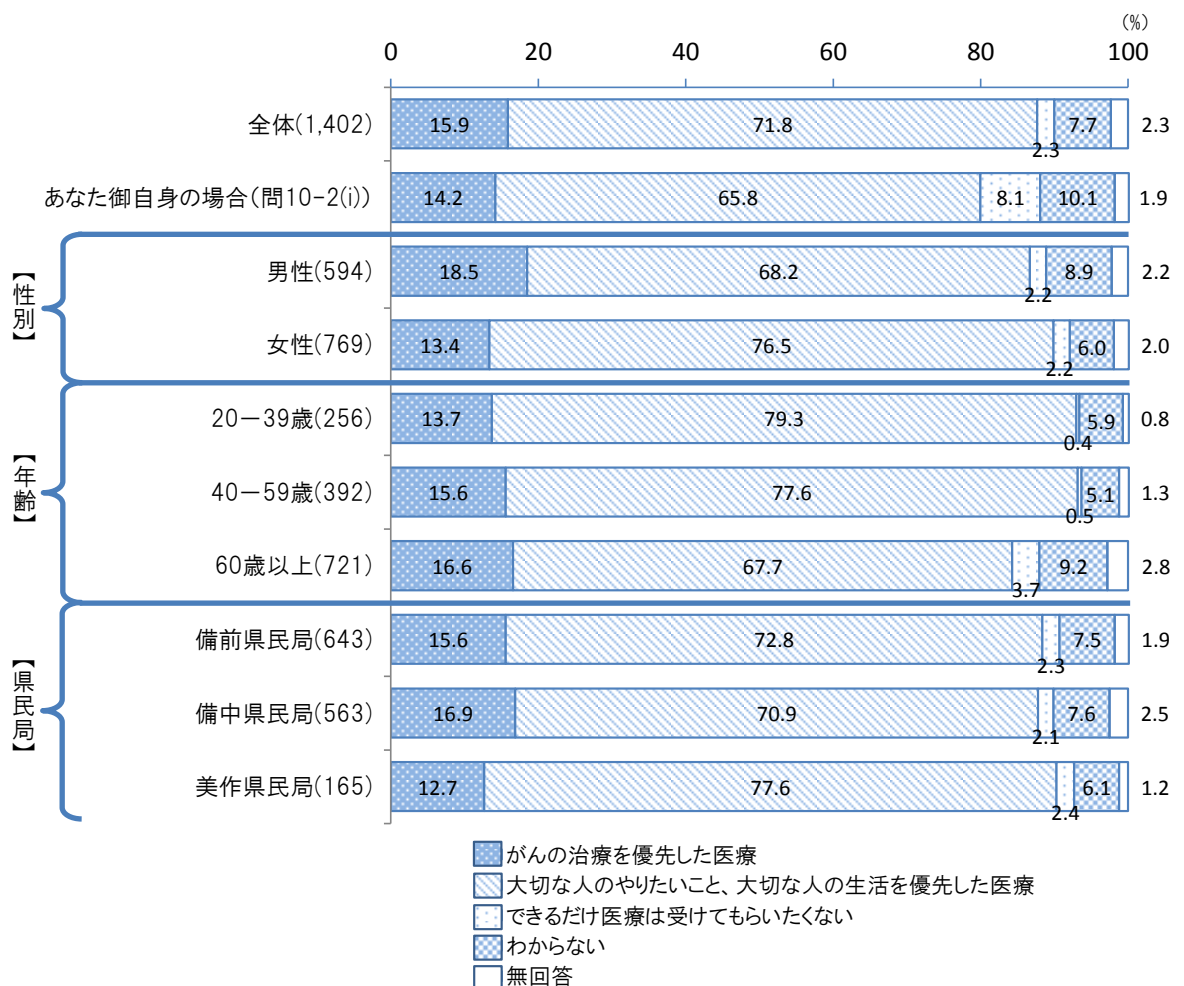
身近で大切な人の場合、これから、どのような方針での医療を希望するかについて、「大切な人のやりたいこと、大切な人の生活を優先した医療」と回答した割合が71.8%と最も高く、次いで「がんの治療を優先した医療」(15.9%)、「わからない」(7.7%)となっている。

前問の【あなた御自身の場合】と比較すると、「できるだけ医療は受けてもらいたくない」と回答した割合が5.8ポイント低くなり、「大切な人のやりたいこと、大切な人の生活を優先した医療」と回答した割合が6.0ポイント高くなっている。

【性別】「大切な人のやりたいこと、大切な人の生活を優先した医療」と回答した割合が、女性で76.5%と男性(68.2%)に比べて低くなっている。

【年齢】「大切な人のやりたいこと、大切な人の生活を優先した医療」と回答した割合は、20-39歳で79.3%で、年齢が高くなるにつれてこの回答割合が低くなっている。また、「できるだけ医療は受けてもらいたくない」と回答した割合は、60歳以上で3.7%で、他の年齢に比べて高くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



【基礎項目2】

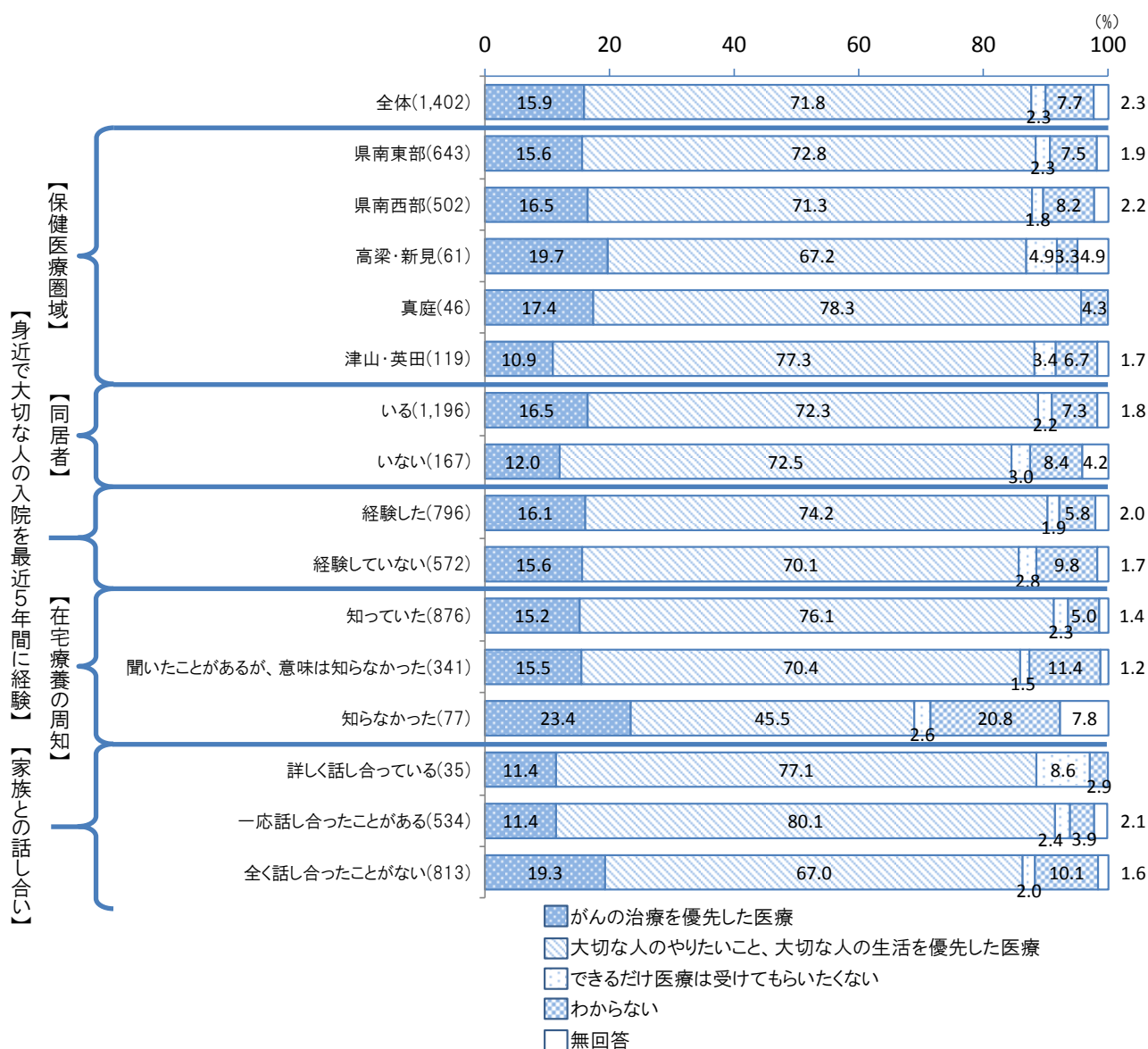
【保健医療圏域】「大切な人のやりたいこと、大切な人の生活を優先した医療」と回答した割合が、[真庭]で78.3%と、他の保健医療圏域に比べて高くなっている。

【同居者】同居者の有無で、あまり違いはみられない。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】「大切な人のやりたいこと、大切な人の生活を優先した医療」と回答した割合が、身近で大切な人の入院を[経験した]で74.2%と高くなっている。

【在宅療養の周知】「大切な人のやりたいこと、大切な人の生活を優先した医療」と回答した割合が、在宅療養を[知っていた]で76.1%で、周知が低くなるにつれてこの回答割合が低くなっており、在宅療養について知っている人程、大切な人のやりたいこと、大切な人の生活を優先した医療を望んでいる。

【家族との話し合い】「できるだけ医療は受けてもらいたくない」と回答した割合が、[詳しく話し合っている]で8.6%で、話し合いが少なくなるにつれてこの回答割合が低くなっており、家族と話し合っている人は、そうでない人と比較して、できるだけ医療は受けてもらいたくないと思っている傾向がある。



②末期がんで、食事や呼吸が不自由であるが、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合
《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくく、呼吸が苦しい状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、徐々にあるいは急に死に至る。」とのことです。

問11-1 (i)あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいですか。(○は1つ)

【基礎項目1】

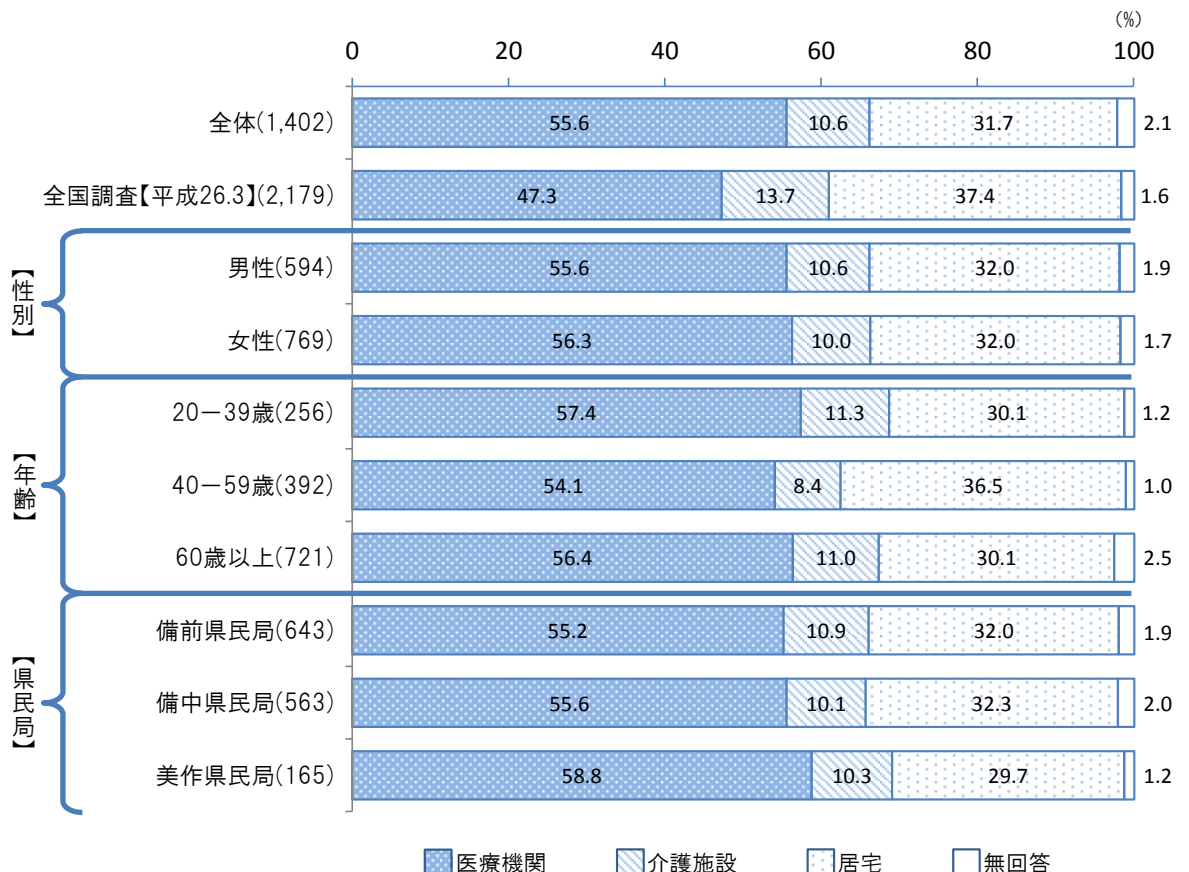
あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいかについて、「医療機関」と回答した割合が55.6%と最も高く、次いで「居宅」(31.7%)、「介護施設」(10.6%)となっている。

全国調査と比較すると、「医療機関」と回答した割合が8.3ポイント高くなっている。

【性別】「医療機関」と回答した割合が、女性で56.3%と男性(55.6%)に比べて高くなっている。

【年齢】「医療機関」と回答した割合は、20-39歳で57.4%で、他の年齢に比べて高くなっている。また、「居宅」と回答した割合は、40-59歳で36.5%で、他の年齢に比べて高くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



【基礎項目2】

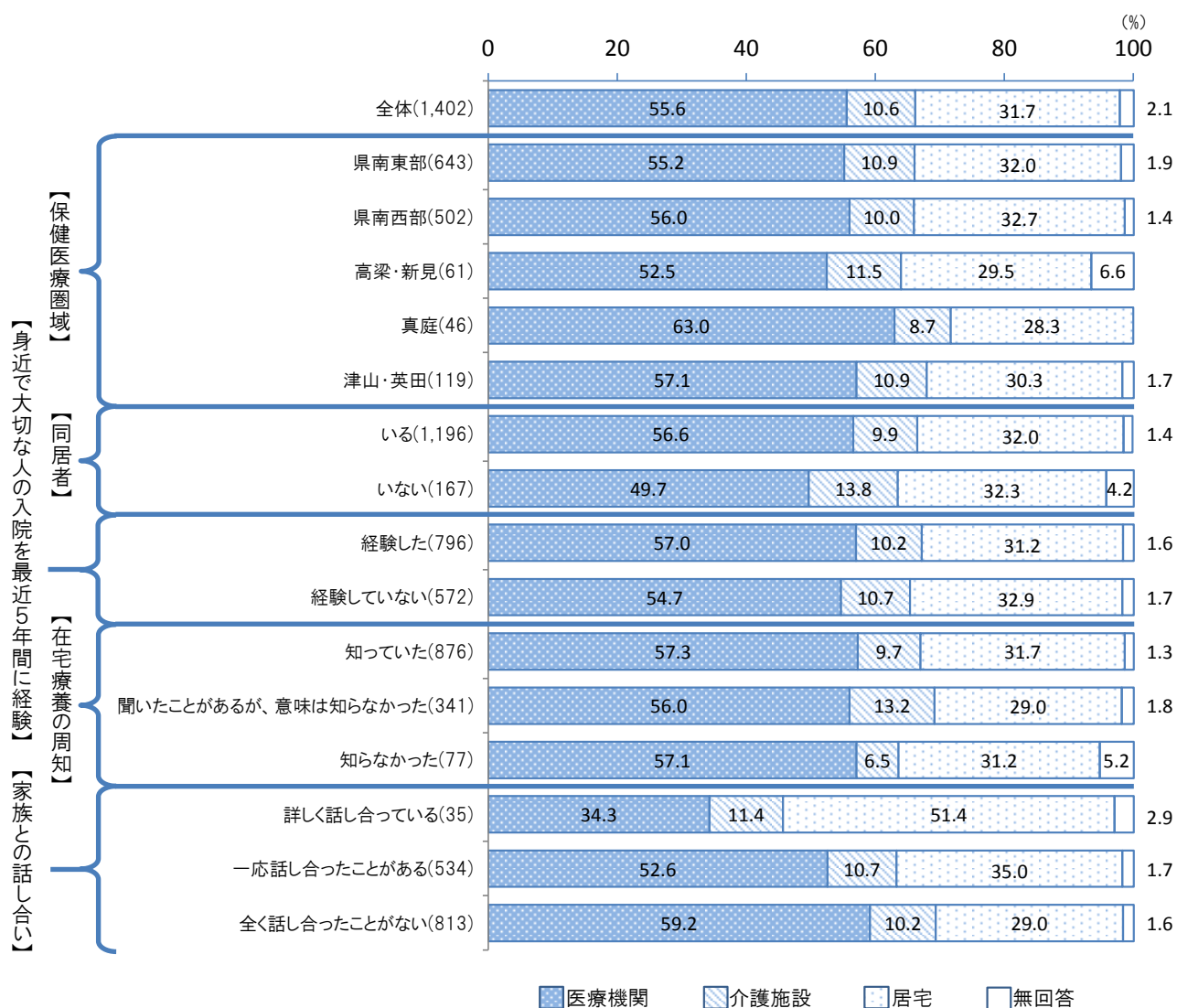
【保健医療圏域】「医療機関」と回答した割合が、[真庭]で63.0%と、他の保健医療圏域に比べて高くなっている。

【同居者】「医療機関」と回答した割合が、同居者が[いる]で56.6%と、[いない]（49.7%）に比べて高くなっている。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【在宅療養の周知】「介護施設」と回答した割合が、在宅療養について[聞いたことがあるが、意味は知らなかった]で13.2%と、他に比べて高く、在宅療養について聞いたことがあるが意味は知らなかったと回答した人は、知らなかった人と比較して、介護施設と回答した人が多い。

【家族との話し合い】「居宅」と回答した割合が、[詳しく話し合っている]で51.4%で、話し合いが少なくなるにつれて回答割合が低く、家族と詳しく話し合っている人は、居宅で過ごしたいと回答した割合が高い。



問11-1 (ii)あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいですか。
(〇は1つ)

【基礎項目1】

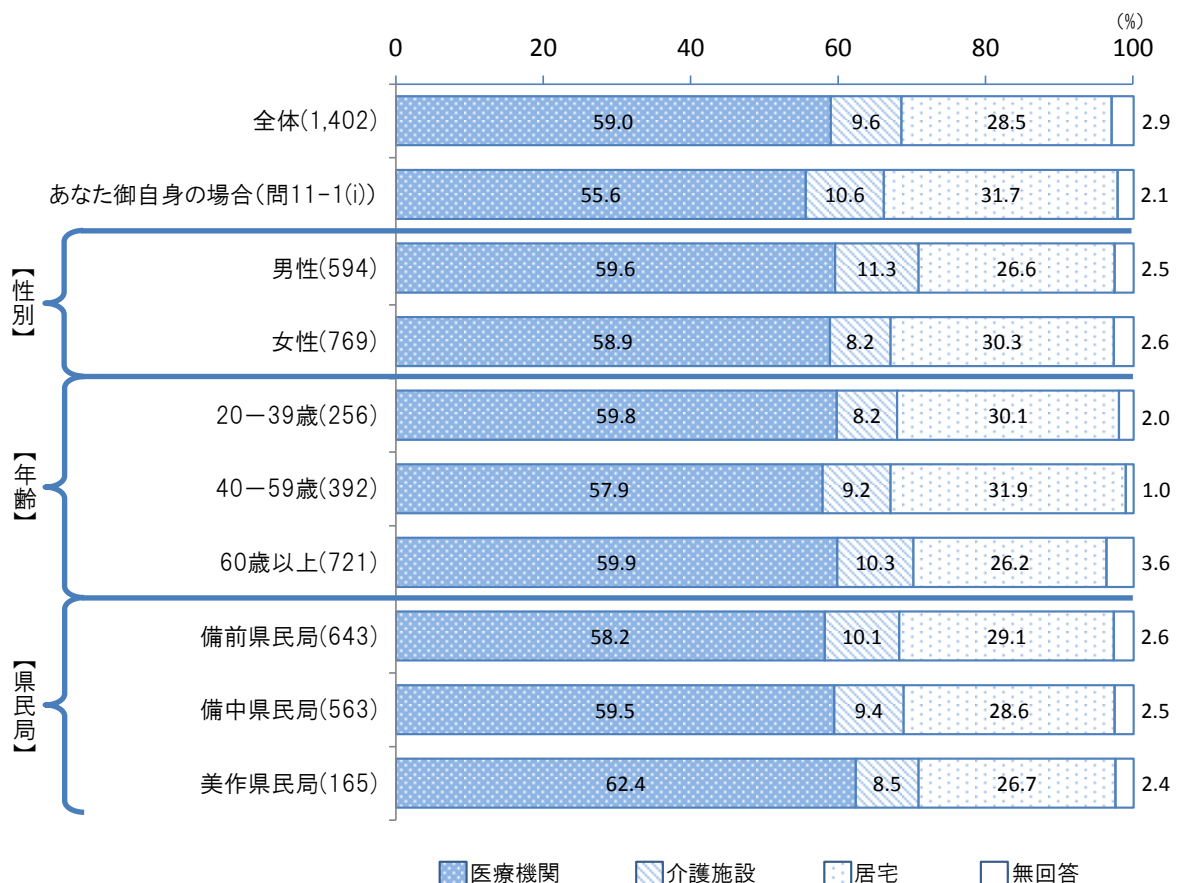
身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいかについて、「医療機関」と回答した割合が59.0%と最も高く、次いで「居宅」(28.5%)、「介護施設」(9.6%)となっている。

前問の【あなた御自身の場合】と比較すると、「居宅」と回答した割合が3.2ポイント、「介護施設」と回答した割合が1.0ポイント低くなり、「医療機関」と回答した割合が3.4ポイント高くなっている。

【性別】「医療機関」と回答した割合が、男性で59.6%と、女性(58.9%)に比べて高くなっている。

【年齢】「居宅」と回答した割合は、40-59歳で31.9%で、他の年齢と比べて高くなっている。また、「介護施設」と回答した割合は、60歳以上で10.3%で、年齢が高くなるにつれてこの回答割合が高くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



【基礎項目2】

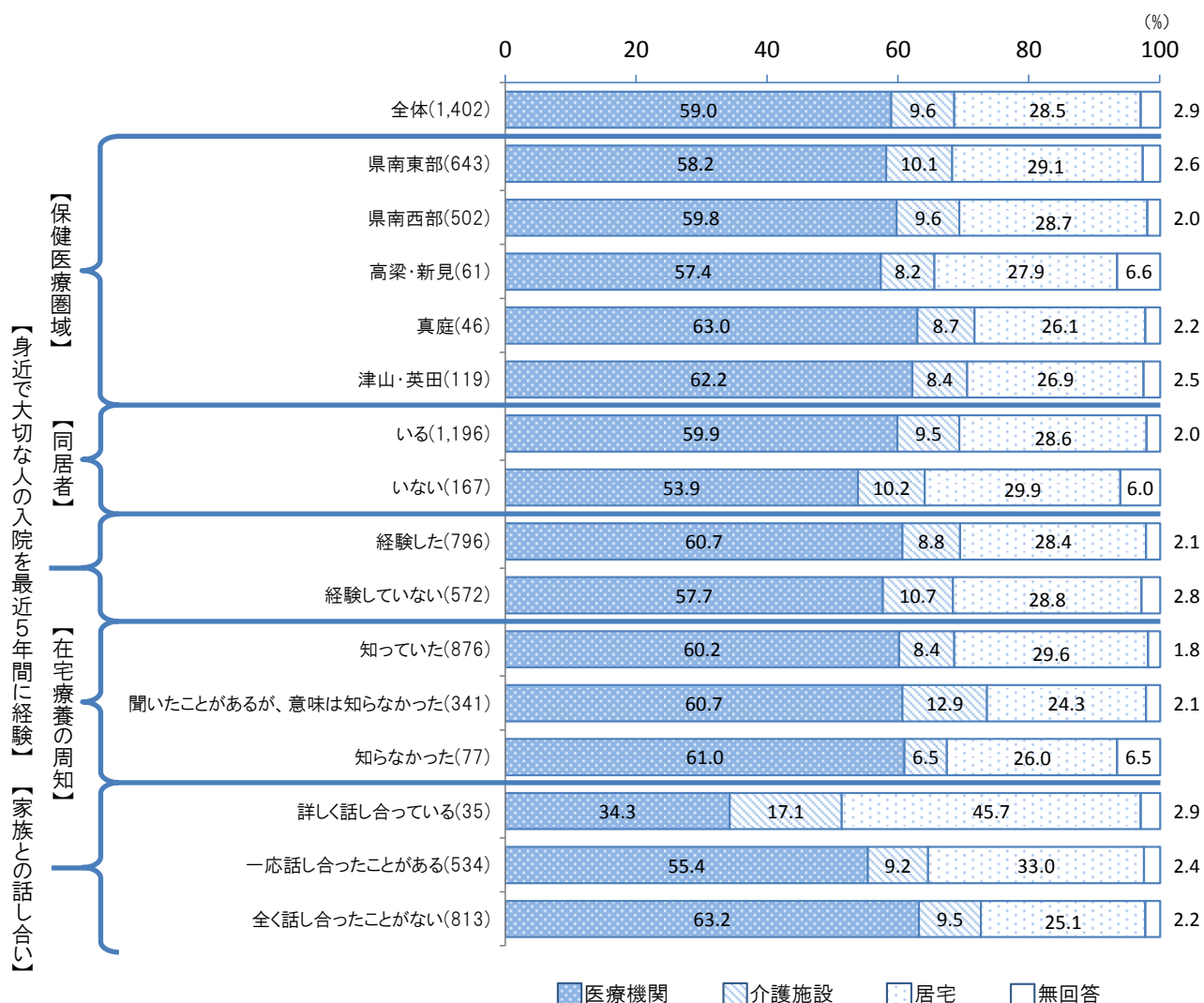
【保健医療圏域】「居宅」と回答した割合が、[県南東部] で29.1%と、他の保健医療圏域に比べて高くなっている。

【同居者】「医療機関」と回答した割合が、同居者が[いる]で59.9%と、[いない] (53.9%) に比べて高くなっている。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【在宅療養の周知】「介護施設」と回答した割合が、[聞いたことがあるが、意味は知らなかった]で12.9%と、他に比べて高くなっている。

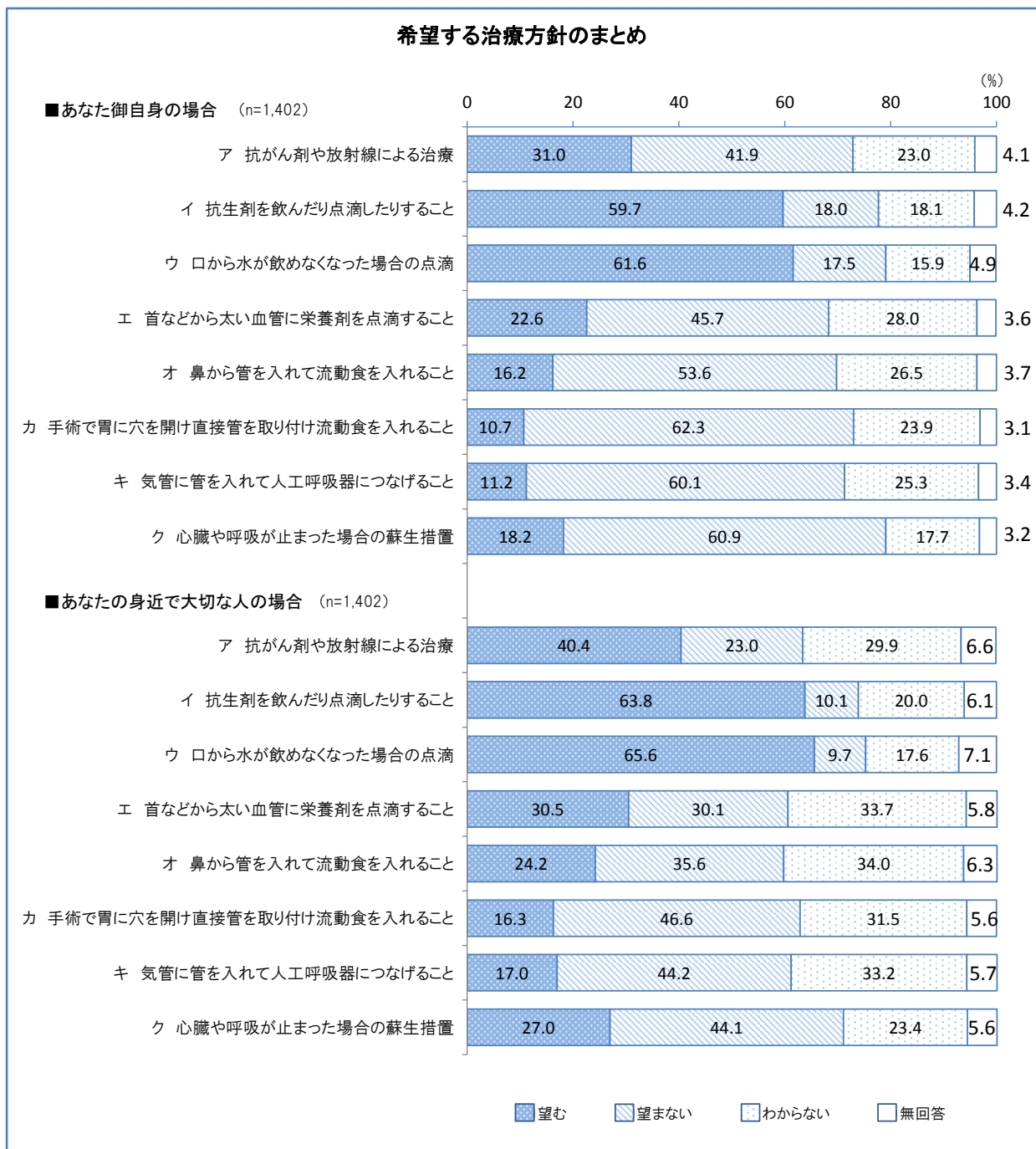
【家族との話し合い】「医療機関」と回答した割合が、[全く話し合ったことがない]で63.2%で、話し合いが少なくなるにつれて回答割合が高く、家族と詳しく話し合っている人は、身近で大切な人には居宅で過ごしてもらいたいと回答した割合が高い。また、話し合ったことがない人は、身近で大切な人には病院で過ごしながら医療を受けてもらいたいと思う傾向がある。

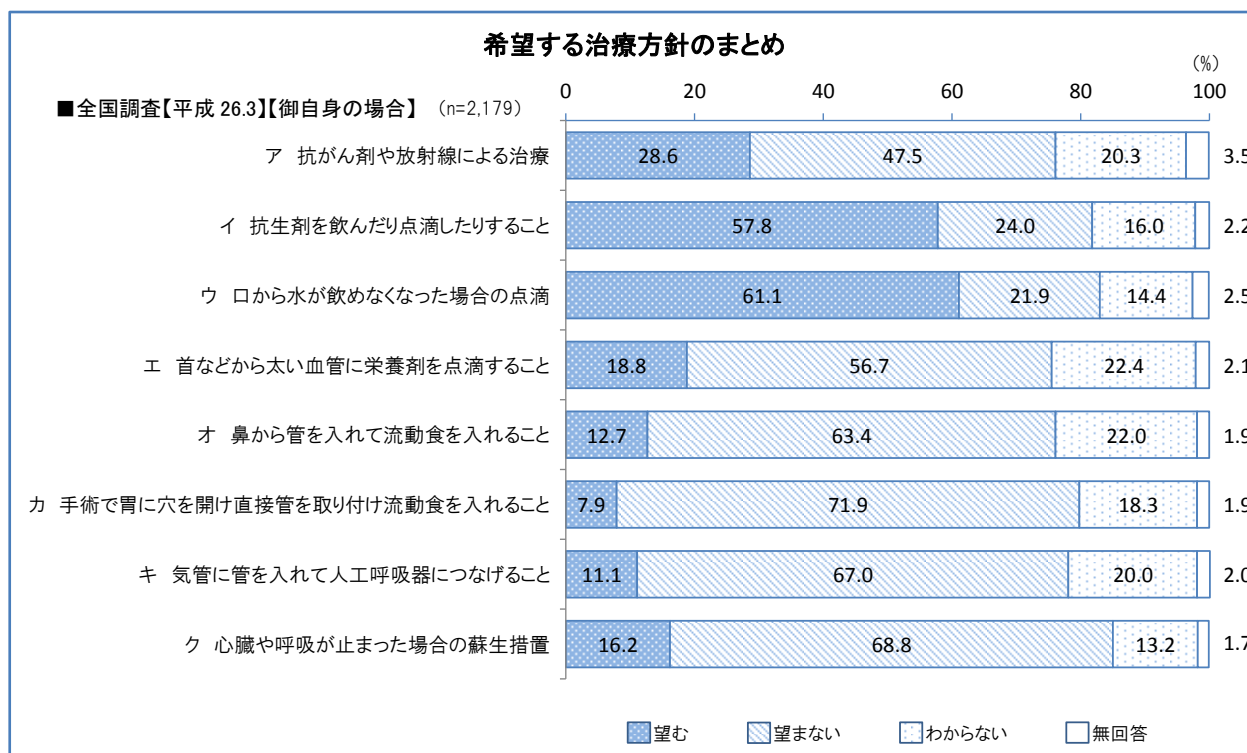


問11-2 (i)あなた御自身の場合、(ii)あなたの身近で大切な人の場合、下記のア〜クの治療を望みますか。(○は(i)(ii)について、それぞれ1つ)

②末期がんで、食事や呼吸が不自由であるが、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様の場合

- あなた御自身の場合—
- あなたの身近で大切な人の場合—
- 全国調査【平成 26.3】【御自身の場合】—





■②末期がんで、食事や呼吸が不自由であるが、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様の
場合希望する治療方針【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】の比較

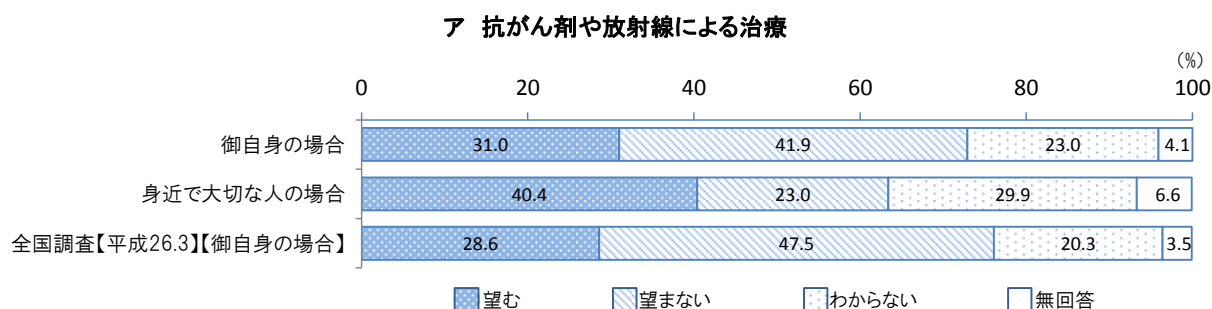
(ア)副作用はあるが、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療

副作用はあるが、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療を望むかについて、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が 41.9%と最も高く、次いで「望む」(31.0%)、「わからない」(23.0%) となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望む」と回答した割合が 40.4%と最も高く、次いで「わからない」(29.9%)、「望まない」(23.0%) となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が 18.9 ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が 9.4 ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で 5.6 ポイント、【身近で大切な人の場合】で 24.5 ポイント低くなっている。



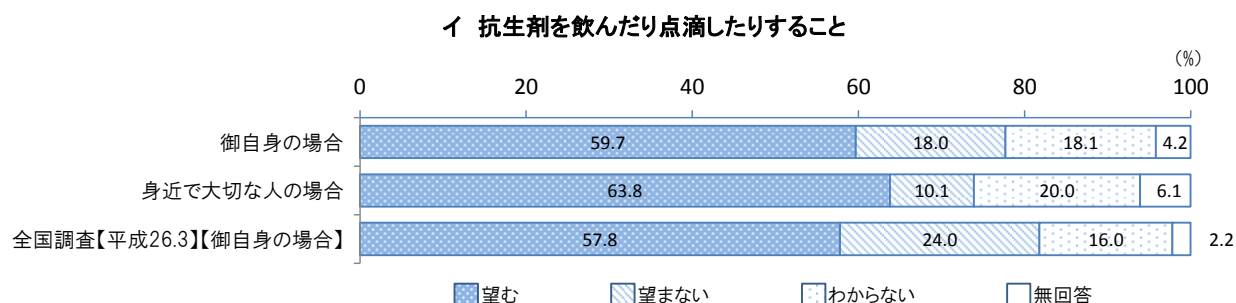
(イ)肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること

肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすることについて、【御自身の場合】で「望む」と回答した割合が59.7%と最も高く、次いで「わからない」(18.1%)、「望まない」(18.0%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望む」と回答した割合が63.8%と最も高く、次いで「わからない」(20.0%)、「望まない」(10.1%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が7.9ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が4.1ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で6.0ポイント、【身近で大切な人の場合】で13.9ポイント低くなっている。



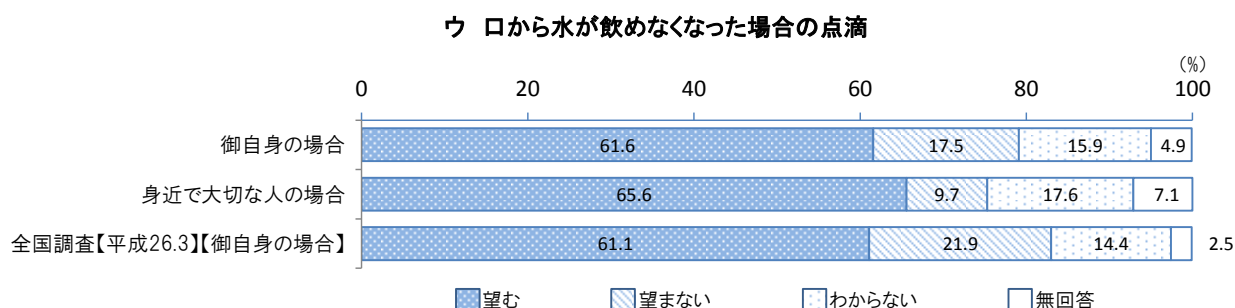
(ウ)口から水が飲めなくなった場合の点滴

口から水が飲めなくなった場合の点滴について、【御自身の場合】で「望む」と回答した割合が61.6%と最も高く、次いで「望まない」(17.5%)、「わからない」(15.9%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望む」と回答した割合が65.6%と最も高く、次いで「わからない」(17.6%)、「望まない」(9.7%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が7.8ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が4.0ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で4.4ポイント、【身近で大切な人の場合】で12.2ポイント低くなっている。



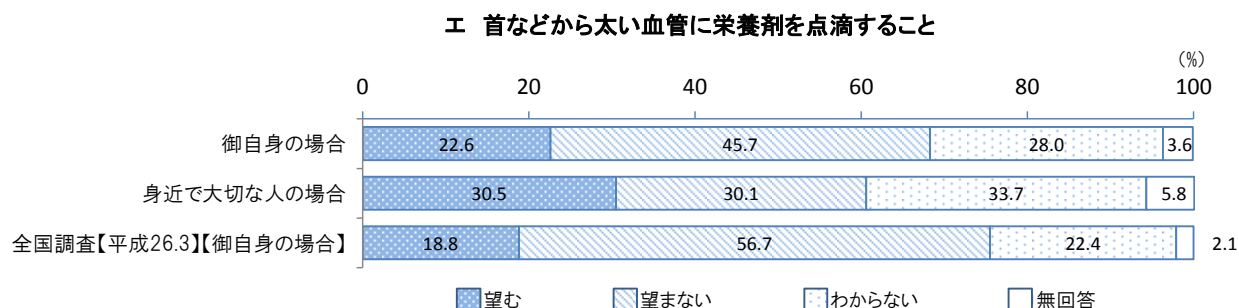
(エ)口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)

口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が45.7%と最も高く、次いで「わからない」(28.0%)、「望む」(22.6%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「わからない」と回答した割合が33.7%と最も高く、次いで「望む」(30.5%)、「望まない」(30.1%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が15.6ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が7.9ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で11.0ポイント、【身近で大切な人の場合】で26.6ポイント低くなっている。



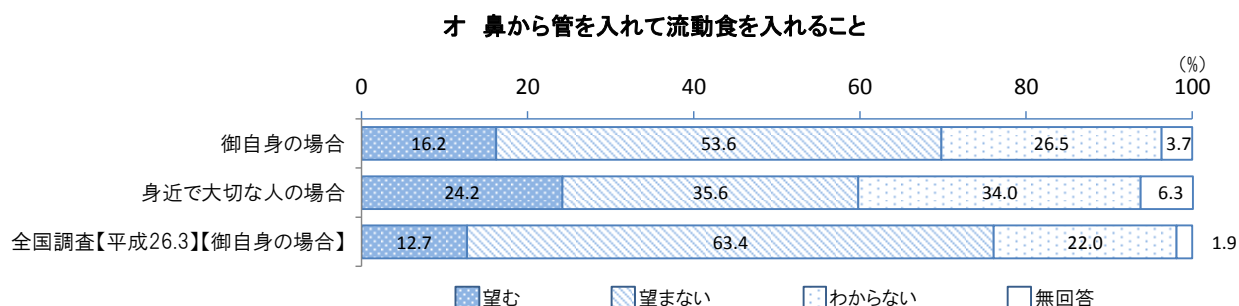
(オ)口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)

口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が53.6%と最も高く、次いで「わからない」(26.5%)、「望む」(16.2%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が35.6%と最も高く、次いで「わからない」(34.0%)、「望む」(24.2%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が20.0ポイント低くなり、「望む」と回答した割合8.0ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で9.8ポイント、【身近で大切な人の場合】で27.8ポイント低くなっている。



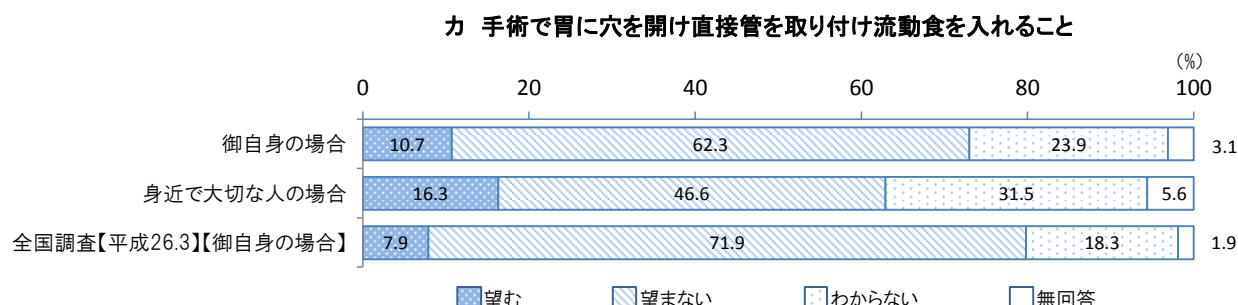
(カ)口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)

口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が62.3%と最も高く、次いで「わからない」(23.9%)、「望む」(10.7%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が46.6%と最も高く、次いで「わからない」(31.5%)、「望む」(16.3%)となっている。

御自身の場合と比較すると、「望まない」と回答した割合が15.7ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が5.6ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で9.6ポイント、【身近で大切な人の場合】で25.3ポイント低くなっている。



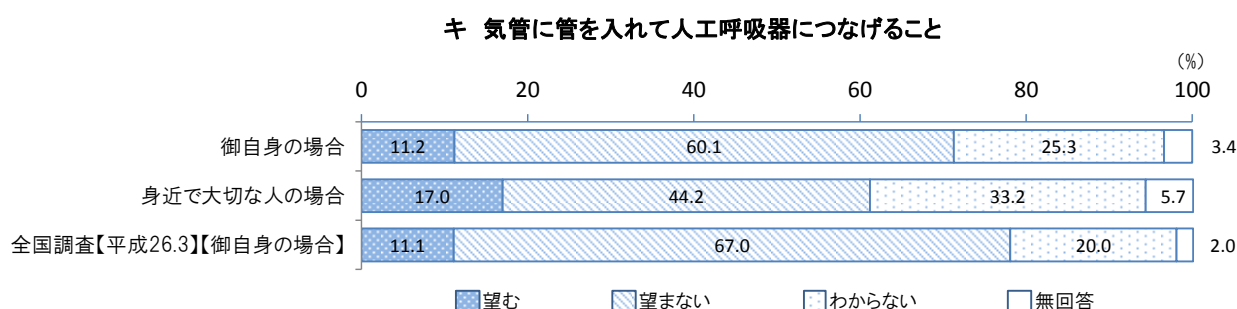
(キ)呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)

呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が60.1%と最も高く、次いで「わからない」(25.3%)、「望む」(11.2%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が44.2%と最も高く、次いで「わからない」(33.2%)、「望む」(17.0%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が15.9ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が5.8ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で6.9ポイント、【身近で大切な人の場合】で22.8ポイント低くなっている。



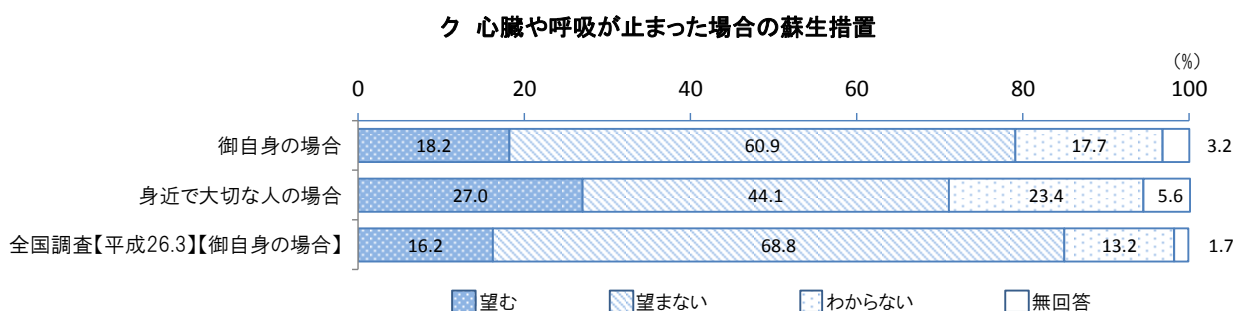
(ク)心臓や呼吸が止まった場合の蘇生措置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)

心臓や呼吸が止まった場合の蘇生措置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が60.9%と最も高く、次いで「望む」(18.2%)、「わからない」(17.7%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が44.1%と最も高く、次いで「望む」(27.0%)、「わからない」(23.4%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が16.8ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が8.8ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で7.9ポイント、【身近で大切な人の場合】で24.7ポイント低くなっている。



③重度の心臓病で、身の回りの手助けが必要であるが、意識や判断力は健康な時と同様の場合

《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

－あなた又はあなたの身近で大切な人の病状－

慢性の重い心臓病が進行して悪化し、今は食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態です。しかし、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

－医療上の判断－

「回復の見込みはなく、徐々に死に至る。」とのことです。

問12-1 (i)あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいですか。(○は1つ)

【基礎項目1】

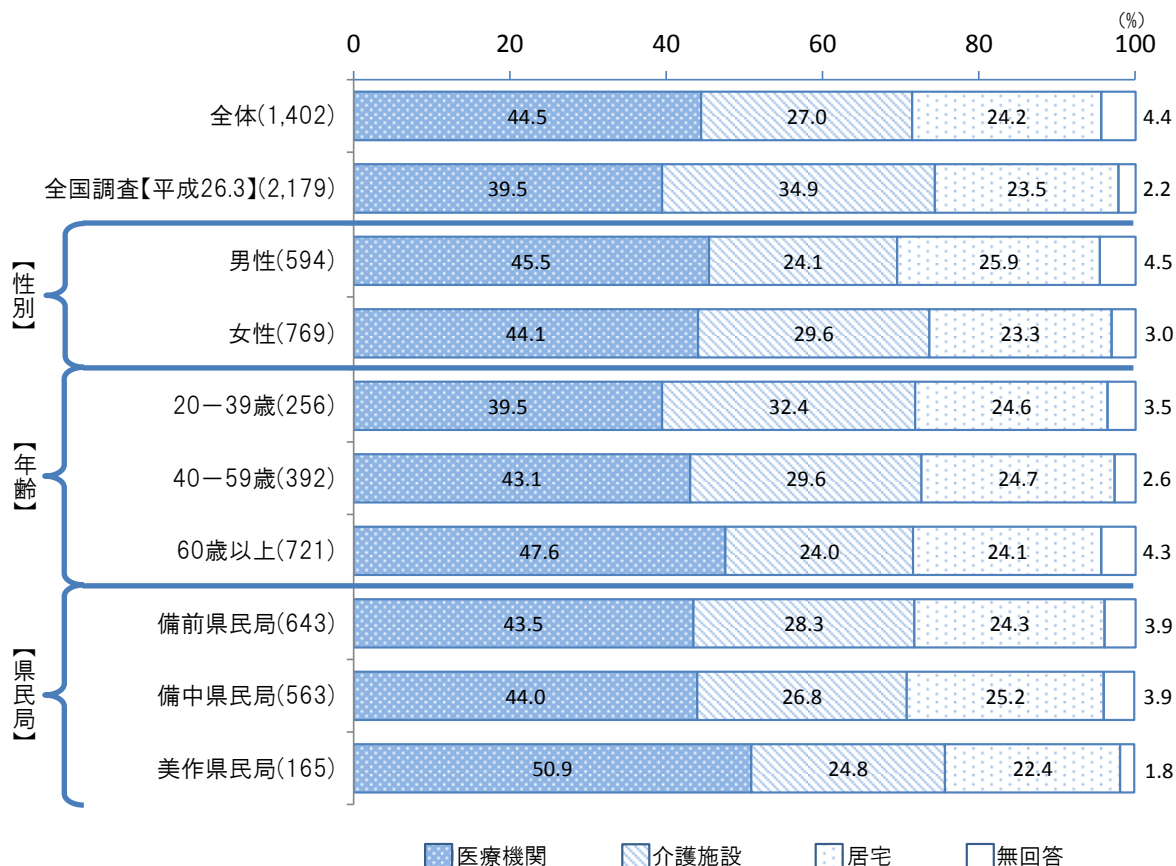
あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいかについて、「医療機関」と回答した割合が44.5%と最も高く、次いで「介護施設」(27.0%)、「居宅」(24.2%)となっている。

全国調査と比較すると、「医療機関」と回答した割合が5.0ポイント高くなっている。

【性別】「居宅」と回答した割合が、男性で25.9%と、女性(23.3%)に比べて高くなっている。

【年齢】「介護施設」と回答した割合は、20-39歳で32.4%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が低くなっている。また、「医療機関」と回答した割合は、60歳以上で47.6%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が高くなっている。

【県民局】「医療機関」と回答した割合は、美作県民局で50.9%と、他の県民局に比べて高くなっている。



[基礎項目2]

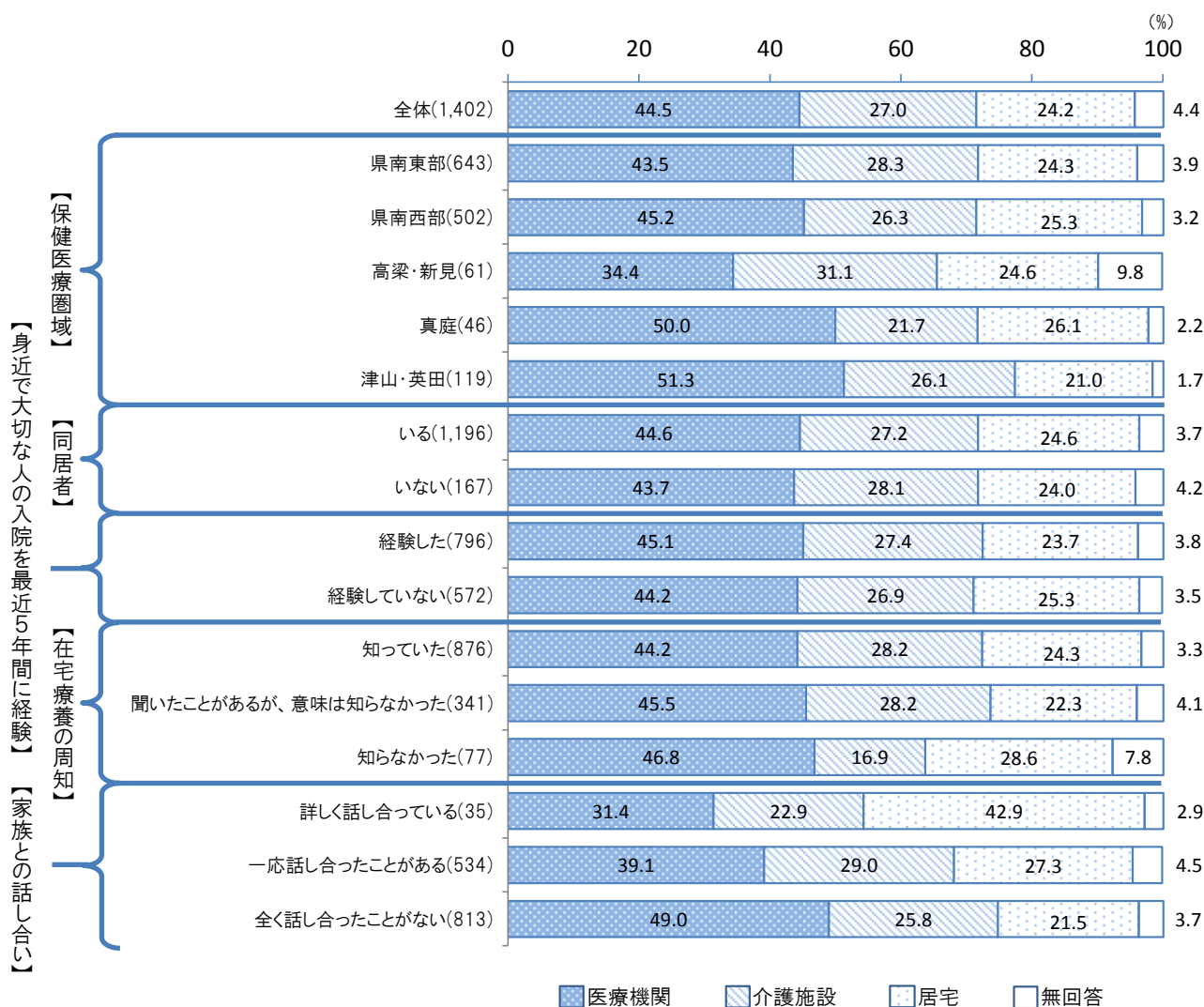
【保健医療圏域】「医療機関」と回答した割合が、[津山・英田]で51.3%と他の保健医療圏域に比べて高くなっている。

【同居者】同居者の有無で、あまり違いはみられない。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【在宅療養の周知】「医療機関」と回答した割合が、[知らなかった]で46.8%で、周知が低くなるにつれて回答割合が高く、在宅療養の周知が低い人は、医療機関、居宅で医療を受けたいと思う割合が高い。

【家族との話し合い】「医療機関」と回答した割合が、[全く話し合ったことがない]で49.0%で、話し合いが少なくなるにつれて回答割合が高く、家族と詳しく話し合っている人の方が、全く話し合ったことがない人と比べて、居宅で医療を受けたいと思う割合が高い。



問12-1 (ii)あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながら医療を受けてもらいたいですか。
(○は1つ)

【基礎項目1】

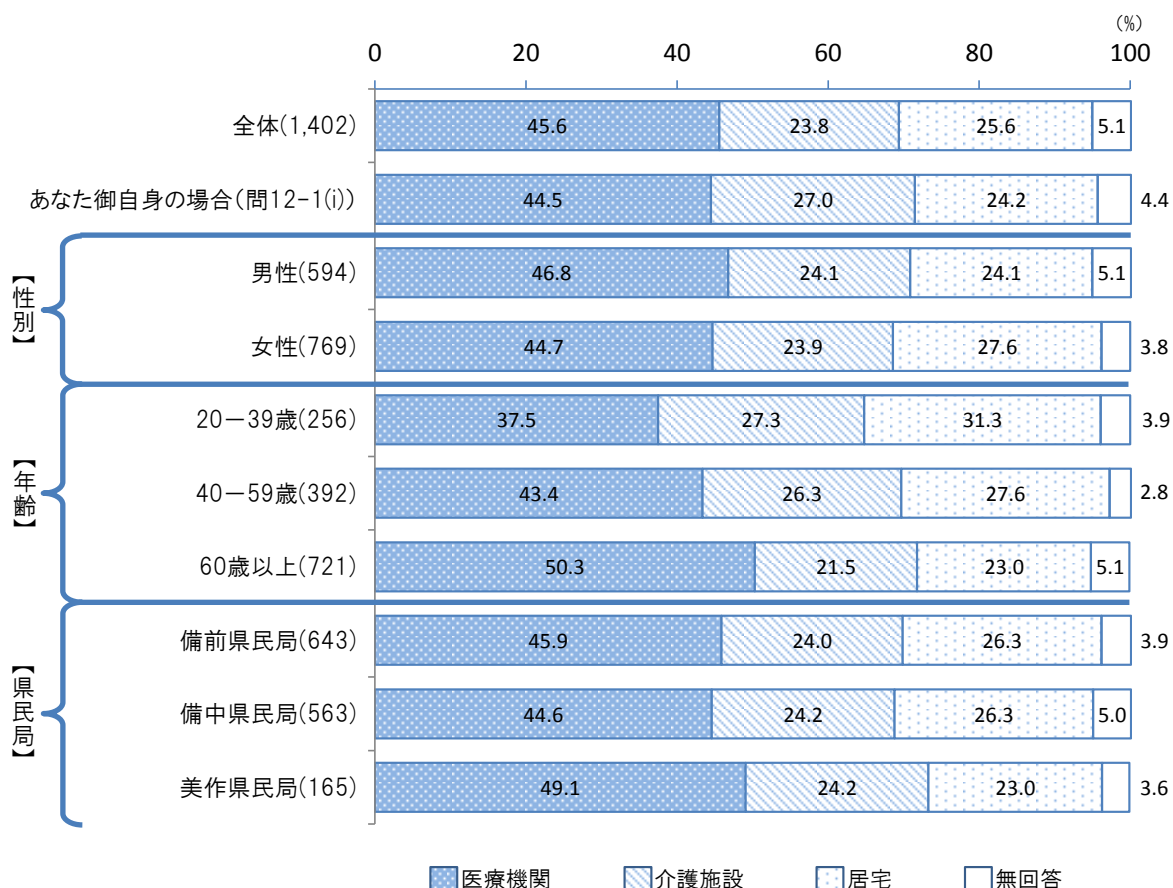
身近で大切な人の場合、どこで過ごしながら医療を受けてもらいたいかについて、「医療機関」と回答した割合が45.6%と最も高く、次いで「居宅」(25.6%)、「介護施設」(23.8%)となっている。

前問の【あなた御自身の場合】と比較すると、「医療機関」と回答した割合が1.1ポイント高くなっている。

【性別】「医療機関」と回答した割合が、男性で46.8%と、女性(44.7%)に比べて高くなっている。

【年齢】「医療機関」と回答した割合は、60歳以上で50.3%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が高くなっている。また、「介護施設」と回答した割合は、20-39歳で27.3%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が低くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



【基礎項目2】

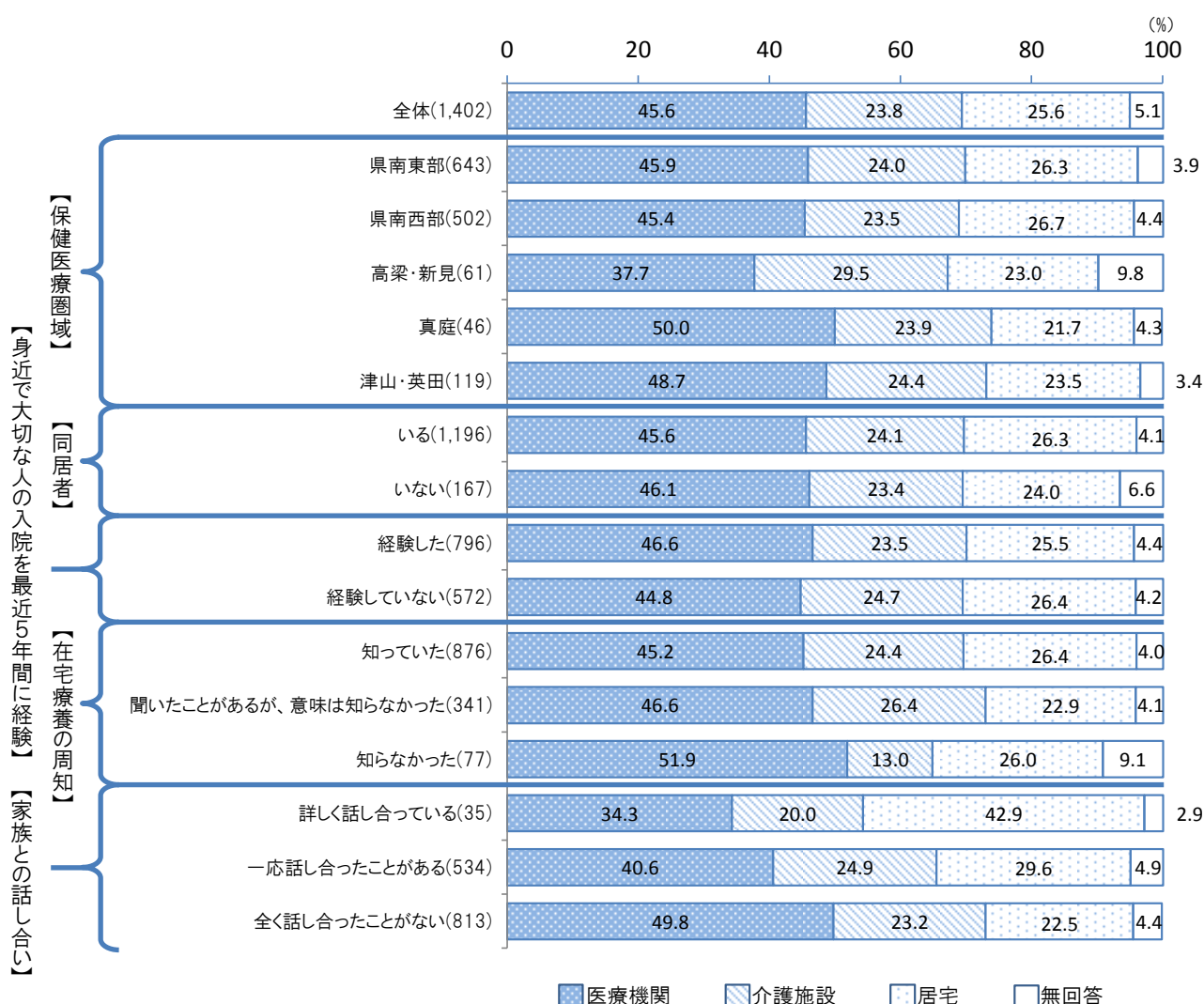
【保健医療圏域】「介護施設」と回答した割合が、[高梁・新見] で 29.5%と、他の保健医療圏域に比べて高くなっている。

【同居者】同居者の有無で、あまり違いはみられない。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【在宅療養の周知】「医療機関」と回答した割合が、[知らなかった]で 51.9%で、他に比べて高くなっている。

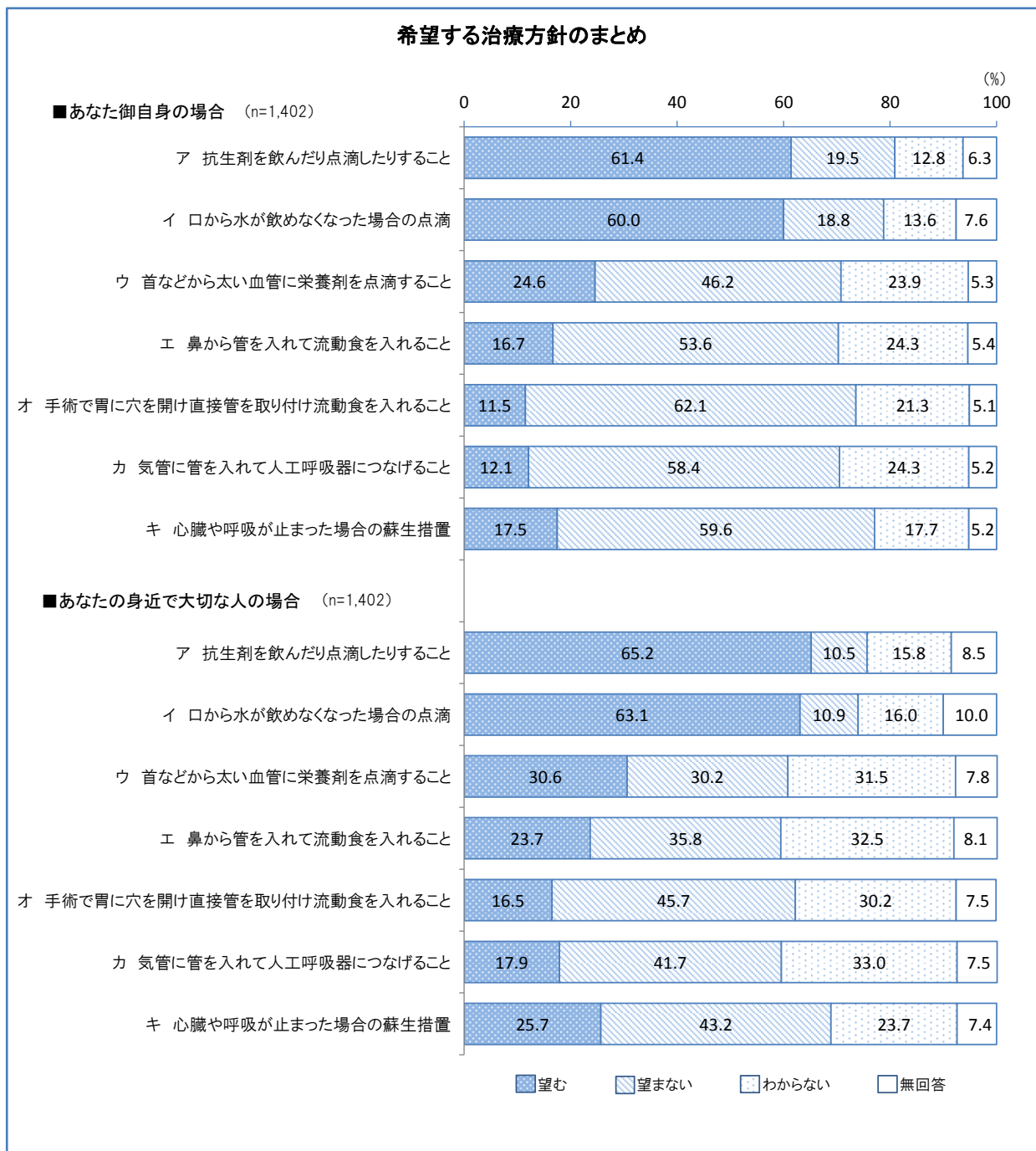
【家族との話し合い】「医療機関」と回答した割合が、[全く話し合ったことがない]で 49.8%で、話し合いが少なくなるにつれて回答割合が高くなっている。



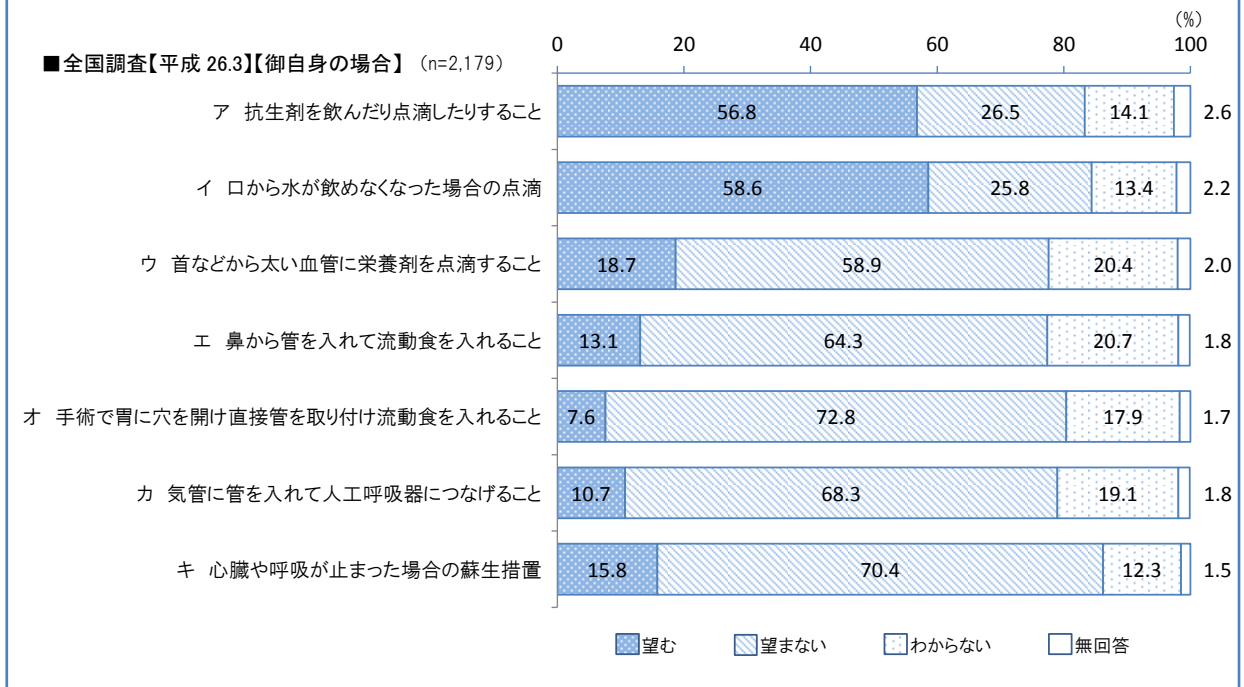
問12-2 (i)あなた御自身の場合、(ii)あなたの身近で大切な人の場合、下記のア～キの治療を望みますか。(○は(i)(ii)について、それぞれ1つ)

③重度の心臓病で、身の回りの手助けが必要であるが、意識や判断力は健康な時と同様の場合

- あなた御自身の場合—
- あなたの身近で大切な人の場合—
- 全国調査【平成 26.3】【御自身の場合】—



希望する治療方針のまとめ



■③重度の心臓病で、身の回りの手助けが必要であるが、意識や判断力は健康な時と同様の場合
希望する治療方針 【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】の比較

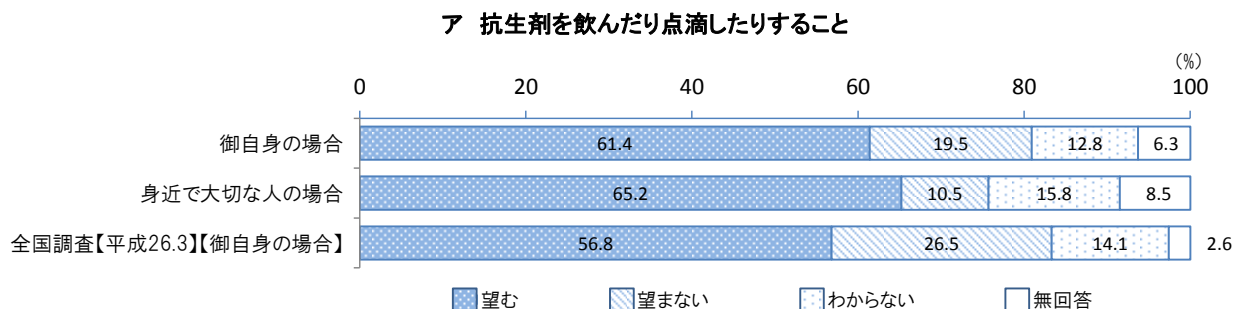
(ア)肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること

肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすることについて、【御自身の場合】で「望む」と回答した割合が61.4%と最も高く、次いで「望まない」(19.5%)、「わからない」(12.8%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望む」と回答した割合が65.2%と最も高く、次いで「わからない」(15.8%)、「望まない」(10.5%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が9.0ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が3.8ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で7.0ポイント、【身近で大切な人の場合】で16.0ポイント低くなっている。



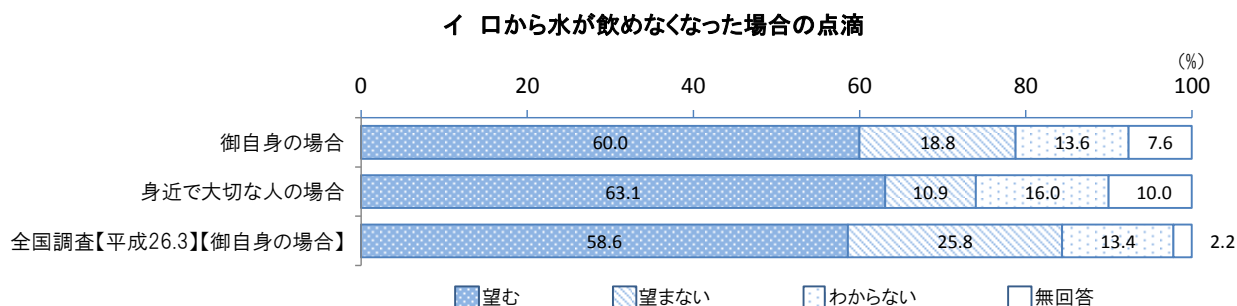
(イ)口から水が飲めなくなった場合の点滴

口から水が飲めなくなった場合の点滴について、【御自身の場合】で「望む」と回答した割合が60.0%と最も高く、次いで「望まない」(18.8%)、「わからない」(13.6%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望む」と回答した割合が63.1%と最も高く、次いで「わからない」(16.0%)、「望まない」(10.9%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が7.9ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が3.1ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で7.0ポイント、【身近で大切な人の場合】で14.9ポイント低くなっている。



(ウ)口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)

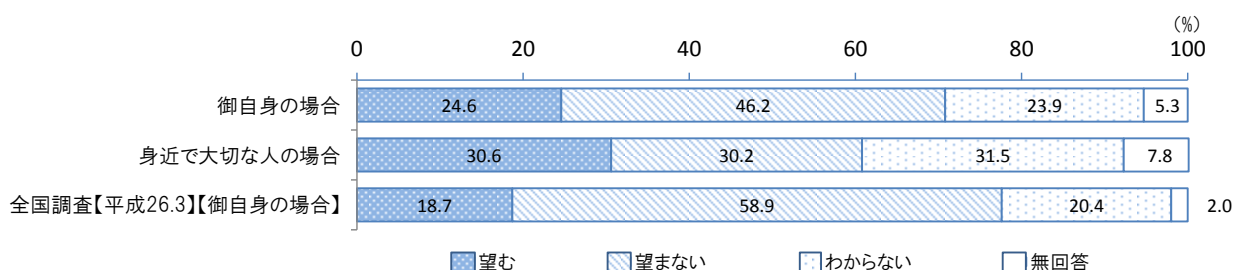
口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が46.2%と最も高く、次いで「望む」(24.6%)、「わからない」(23.9%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「わからない」と回答した割合が31.5%と最も高く、次いで「望む」(30.6%)、「望まない」(30.2%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が16.0ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が6.0ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で12.7ポイント、【身近で大切な人の場合】で28.7ポイント低くなっている。

ウ 首などから太い血管に栄養剤を点滴すること



(エ)口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)

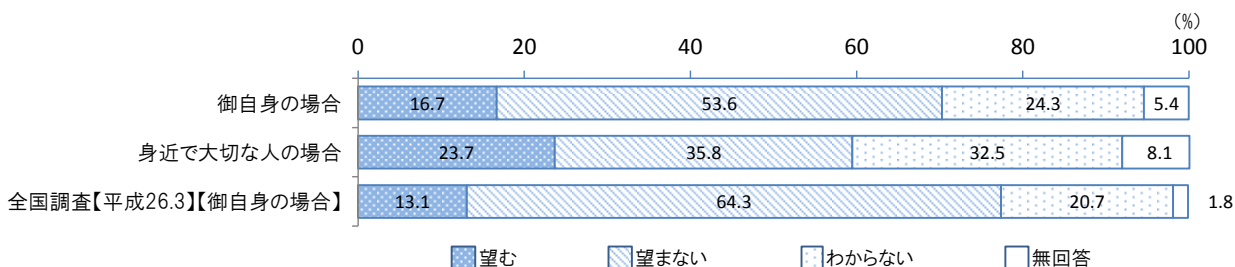
口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が53.6%と最も高く、次いで「わからない」(24.3%)、「望む」(16.7%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が35.8%と最も高く、次いで「わからない」(32.5%)、「望む」(23.7%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が17.8ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が7.0ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で10.7ポイント、【身近で大切な人の場合】で28.5ポイント低くなっている。

エ 鼻から管を入れて流動食を入れること



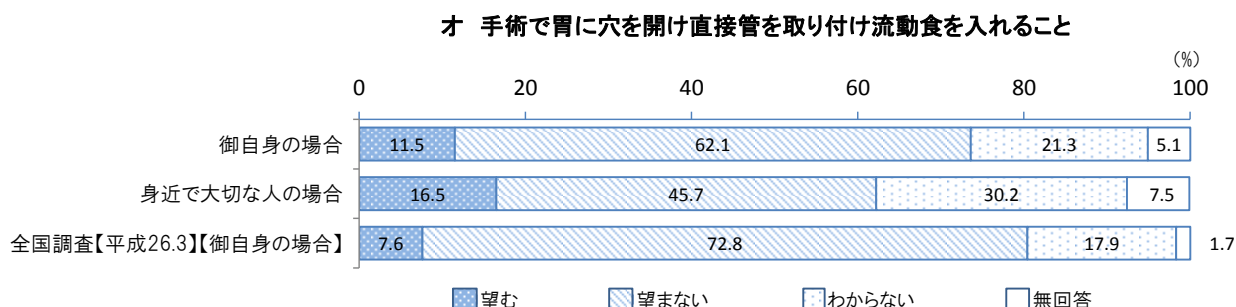
(オ)口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)

口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が62.1%と最も高く、次いで「わからない」(21.3%)、「望む」(11.5%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が45.7%と最も高く、次いで「わからない」(30.2%)、「望む」(16.5%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が16.4ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が5.0ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で10.7ポイント、【身近で大切な人の場合】で27.1ポイント低くなっている。



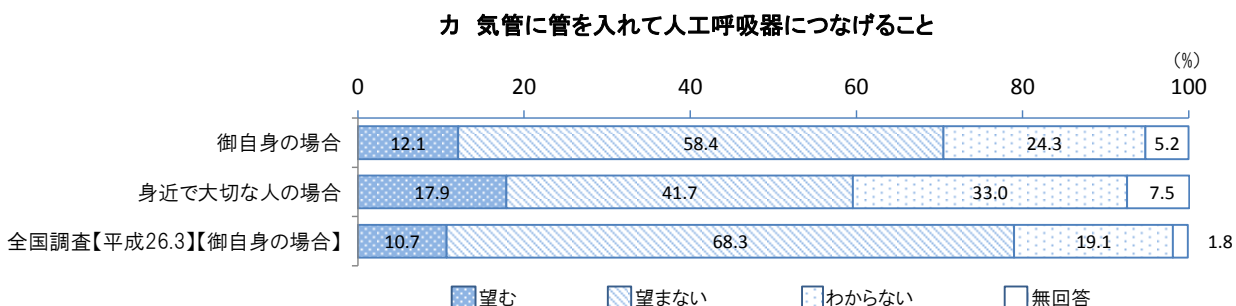
(カ)呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)

呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が58.4%と最も高く、次いで「わからない」(24.3%)、「望む」(12.1%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が41.7%と最も高く、次いで「わからない」(33.0%)、「望む」(17.9%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が16.7ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が5.8ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で9.9ポイント、【身近で大切な人の場合】で26.6ポイント低くなっている。



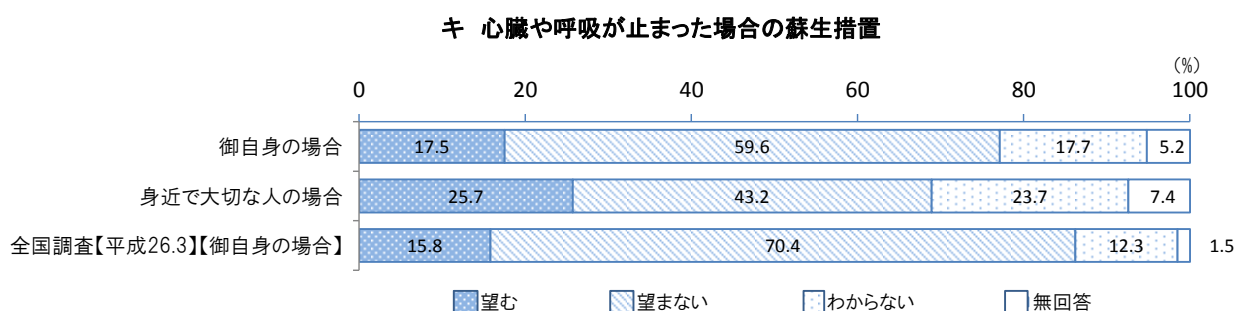
(キ)心臓や呼吸が止まった場合の蘇生措置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)

心臓や呼吸が止まった場合の蘇生措置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が59.6%と最も高く、次いで「わからない」(17.7%)、「望む」(17.5%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が43.2%と最も高く、次いで「望む」(25.7%)、「わからない」(23.7%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が16.4ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が8.2ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で10.8ポイント、【身近で大切な人の場合】で27.2ポイント低くなっている。



④認知症が進行し、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合

《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

認知症が進行し、自分の居場所や家族の顔が分からず、食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態で、かなり衰弱が進んできました。

—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、徐々にあるいは急に肺炎などで死に至る。」とのこと。

問13-1 (i)あなた御自身の場合、どこで過ごしながら医療を受けたいですか。(○は1つ)

【基礎項目1】

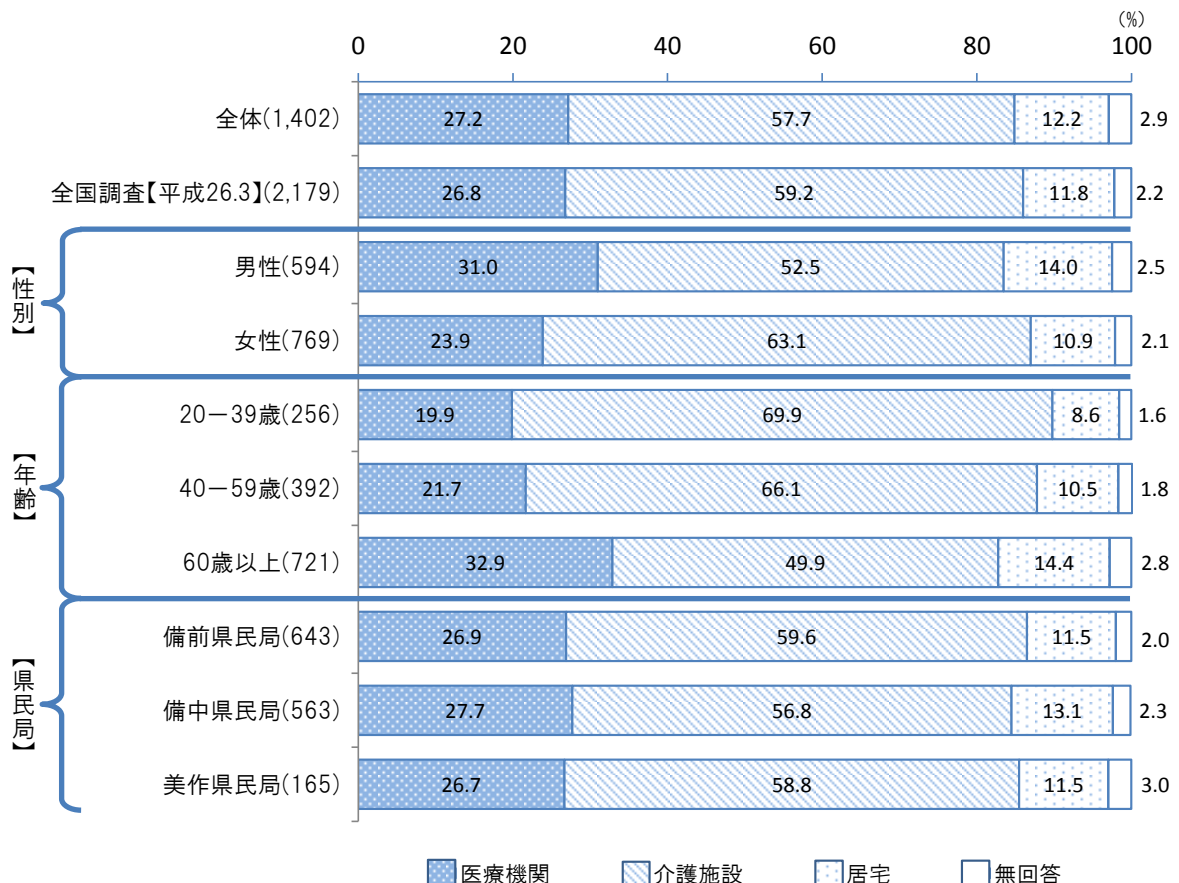
御自身の場合、どこで過ごしながら医療を受けたいかについて、「介護施設」と回答した割合が57.7%と最も高く、次いで「医療機関」(27.2%)、「居宅」(12.2%)となっている。

全国調査と比較すると、「介護施設」と回答した割合が1.5ポイント低くなっている。

【性別】「介護施設」と回答した割合が、女性で63.1%と男性(52.5%)に比べて高くなっている。

【年齢】「介護施設」と回答した割合は、20-39歳で69.9%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が低くなっている。また、「医療機関」と回答した割合は、60歳以上で32.9%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が高くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



【基礎項目2】

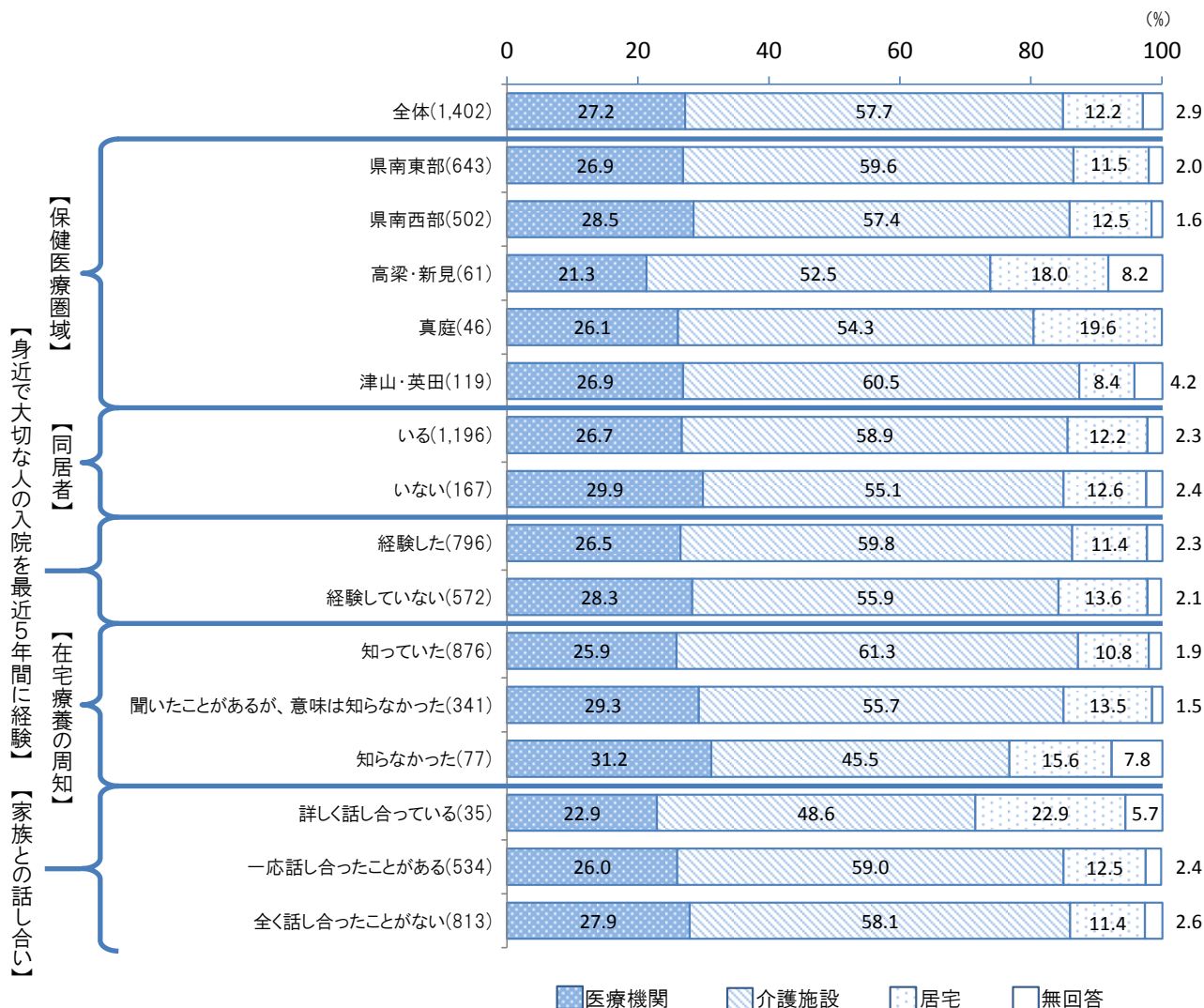
【保健医療圏域】「医療機関」と回答した割合が、[県南西部]で28.5%と、他の保健医療圏域に比べて高くなっている。

【同居者】同居者の有無で、あまり違いはみられない。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【在宅療養の周知】「介護施設」と回答した割合が、[知っていた]で61.3%で、周知が高くなるにつれて回答割合が高くなっている。

【家族との話し合い】「医療機関」と回答した割合が、[全く話し合ったことがない]で27.9%で、話し合いが少なくなるにつれて回答割合が高くなっている。



問13-1 (ii)あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながら医療を受けてもらいたいですか。
(○は1つ)

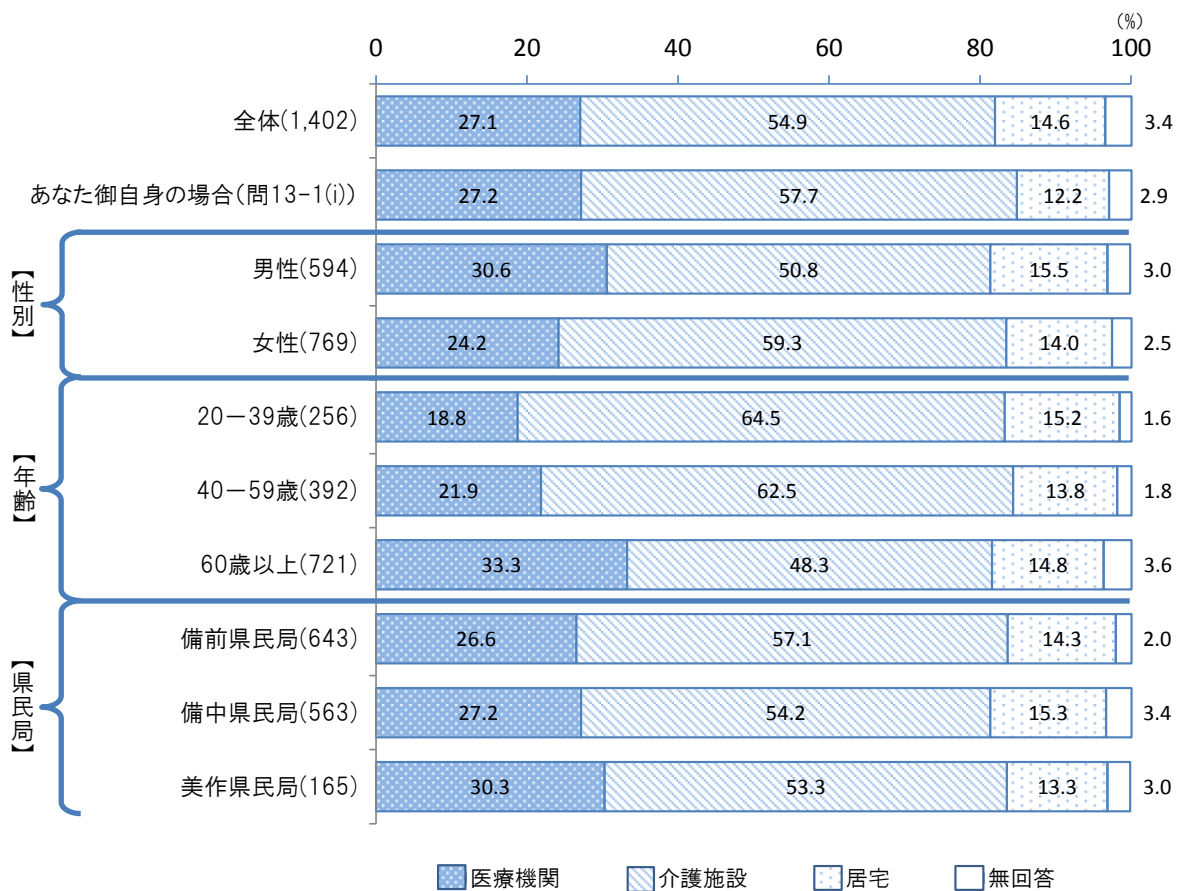
【基礎項目1】

身近で大切な人の場合、どこで過ごしながら医療を受けてもらいたいかについて、「介護施設」と回答した割合が54.9%と最も高く、次いで「医療機関」(27.1%)、「居宅」(14.6%)となっている。

前問の【あなた御自身の場合】と比較すると、「介護施設」と回答した割合が2.8ポイント低くなっている。

【性別】「介護施設」と回答した割合が、女性で59.3%と、男性(50.8%)に比べて高くなっている。
【年齢】「医療機関」と回答した割合は、60歳以上で33.3%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が高くなっている。また、「介護施設」と回答した割合は、20-39歳で64.5%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が低くなっている。

【県民局】県民局で、あまり違いはみられない。



[基礎項目2]

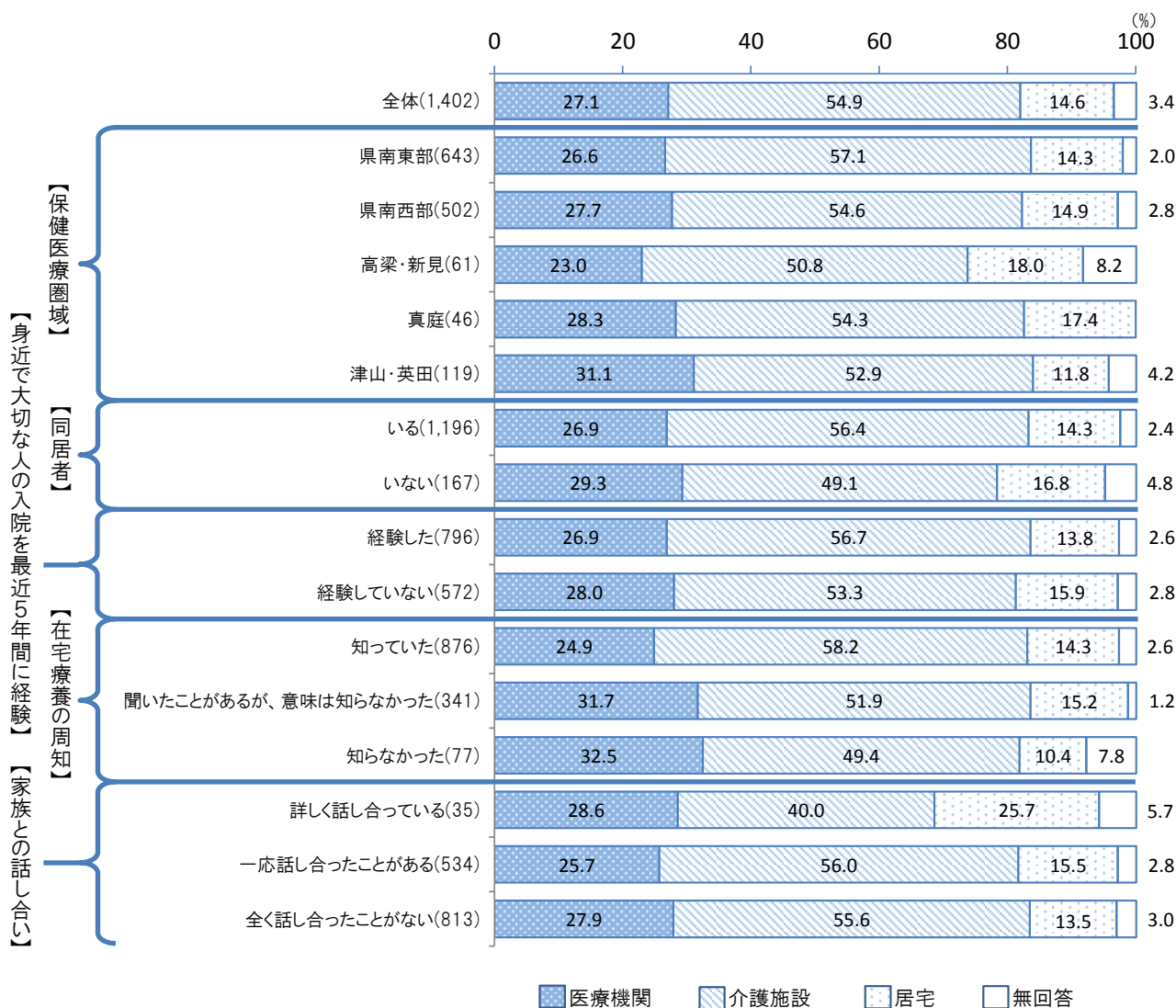
【保健医療圏域】「医療機関」と回答した割合が、[津山・英田]で31.1%と、他の保健医療圏域に比べて高くなっている。

【同居者】「介護施設」と回答した割合が、同居者が[いる]で56.4%と高くなっている。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【在宅療養の周知】「介護施設」と回答した割合が、[知っていた]で58.2%で、周知が高くなるにつれて回答割合が高くなっている。

【家族との話し合い】「居宅」と回答した割合が、[詳しく話し合っている]で25.7%で、話し合いが詳しくなるにつれて回答割合が高くなっている。

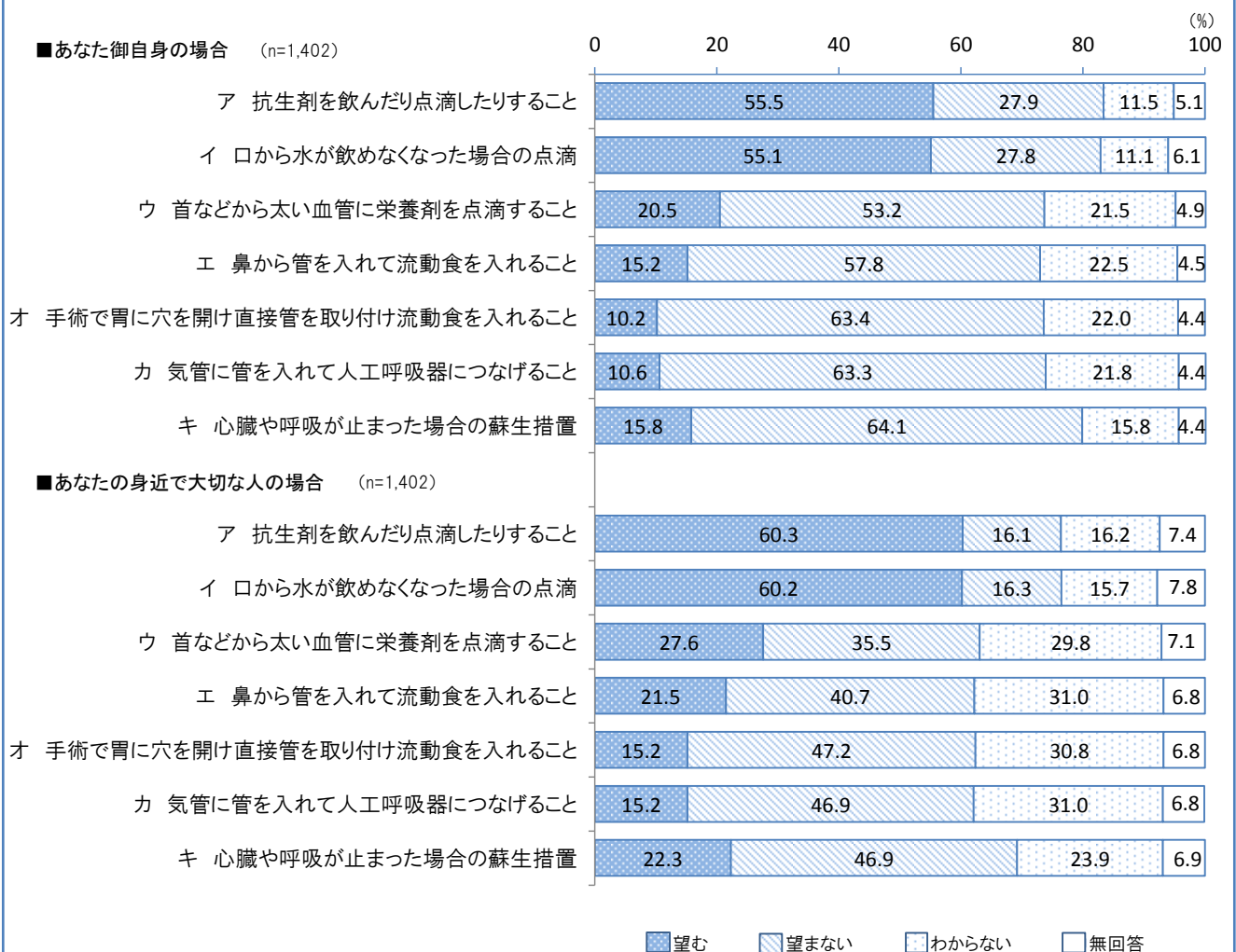


問13-2 (i)あなた御自身の場合、(ii)あなたの身近で大切な人の場合、下記のア～キの治療を望みますか。(○は(i)(ii)について、それぞれ1つ)

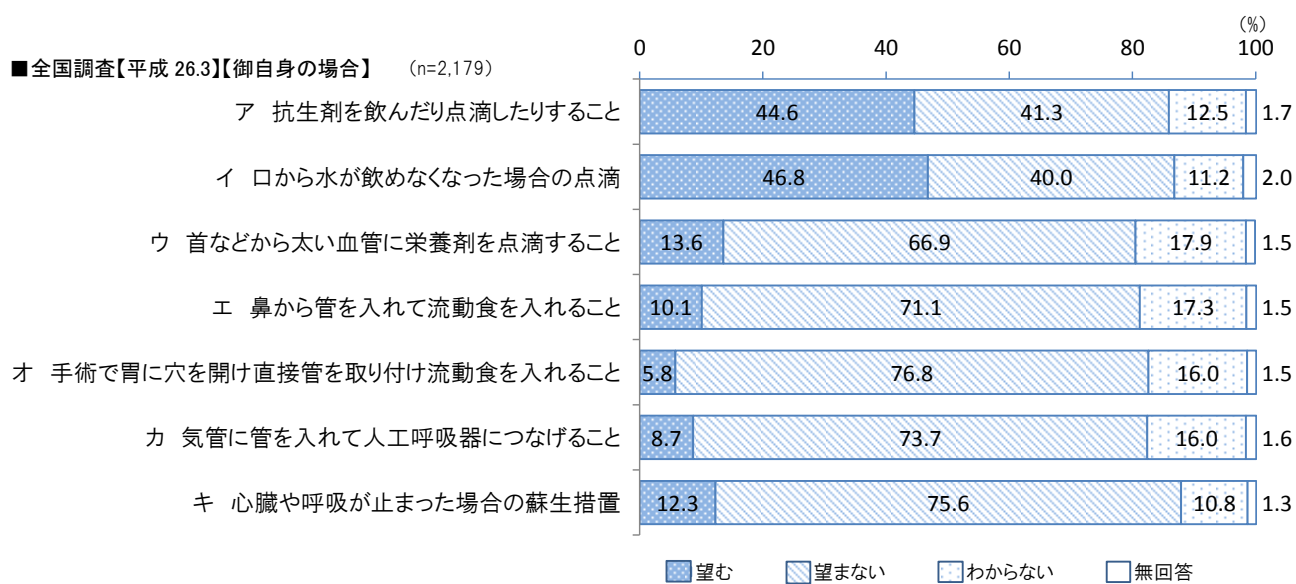
④認知症が進行し、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合

- あなた御自身の場合—
- あなたの身近で大切な人の場合—
- 全国調査【平成 26.3】【御自身の場合】—

希望する治療方針のまとめ



希望する治療方針のまとめ



■④認知症が進行し、身の回りの手助けが必要で、かなり衰弱が進んできた場合
希望する治療方針【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】の比較

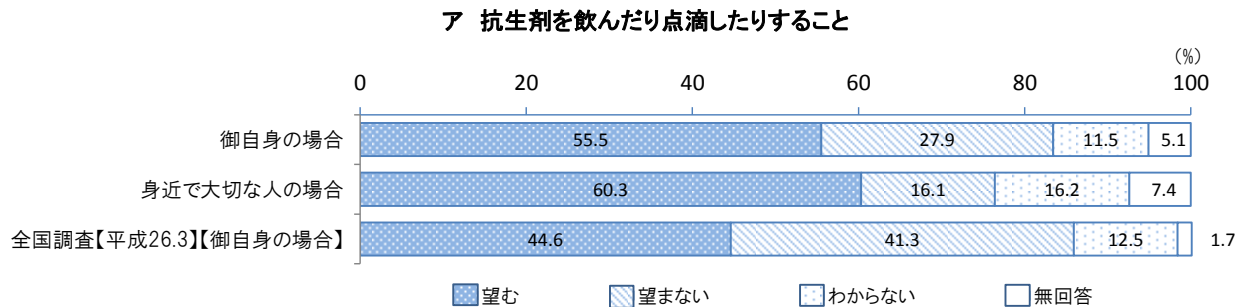
(ア)肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること

肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすることについて、【御自身の場合】で「望む」と回答した割合が55.5%と最も高く、次いで「望まない」(27.9%)、「わからない」(11.5%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望む」と回答した割合が60.3%と最も高く、次いで「わからない」(16.2%)、「望まない」(16.1%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が11.8ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が4.8ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で13.4ポイント、【身近で大切な人の場合】で25.2ポイント低くなっている。



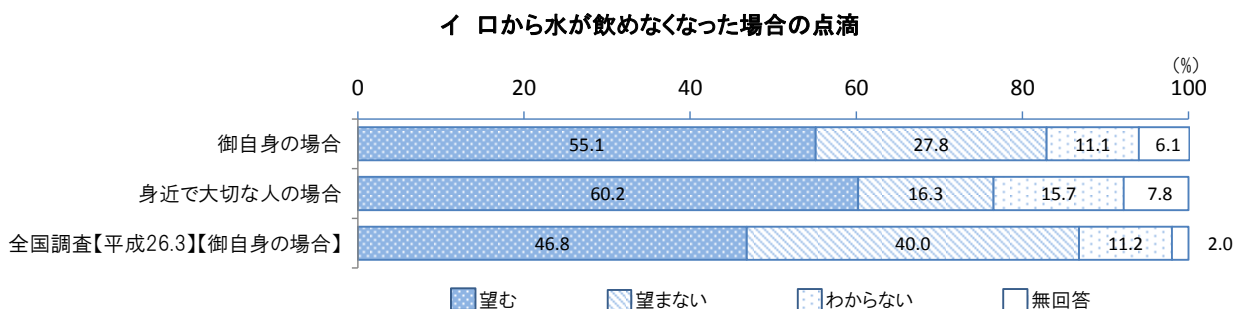
(イ)口から水が飲めなくなった場合の点滴

口から水が飲めなくなった場合の点滴について、【御自身の場合】で「望む」と回答した割合が55.1%と最も高く、次いで「望まない」(27.8%)、「わからない」(11.1%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望む」と回答した割合が60.2%と最も高く、次いで「望まない」(16.3%)、「わからない」(15.7%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が11.5ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が5.1ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で12.2ポイント、【身近で大切な人の場合】で23.7ポイント低くなっている。



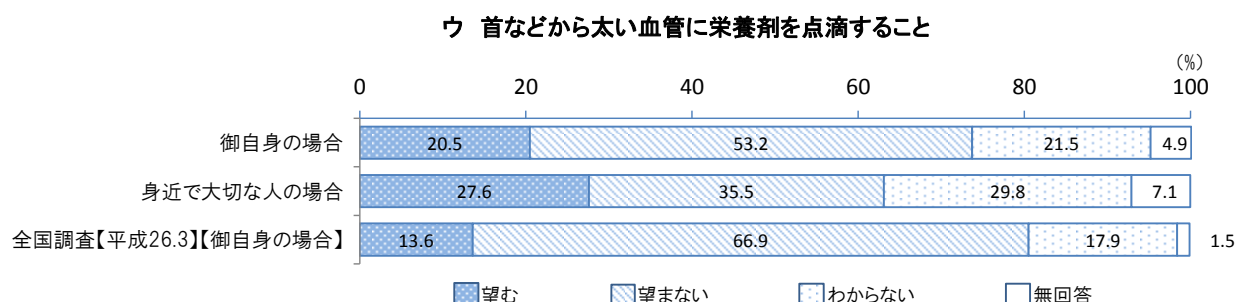
(ウ)口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)

口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が53.2%と最も高く、次いで「わからない」(21.5%)、「望む」(20.5%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が35.5%と最も高く、次いで「わからない」(29.8%)、「望む」(27.6%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が17.7ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が7.1ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で13.7ポイント、【身近で大切な人の場合】で31.4ポイント低くなっている。



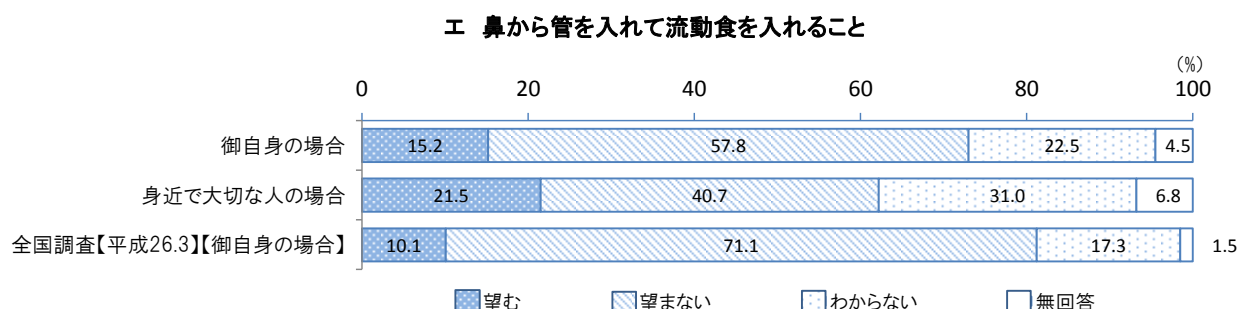
(エ)口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)

口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が57.8%と最も高く、次いで「わからない」(22.5%)、「望む」(15.2%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が40.7%と最も高く、次いで「わからない」(31.0%)、「望む」(21.5%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が17.1ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が6.3ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で13.3ポイント、【身近で大切な人の場合】で30.4ポイント低くなっている。



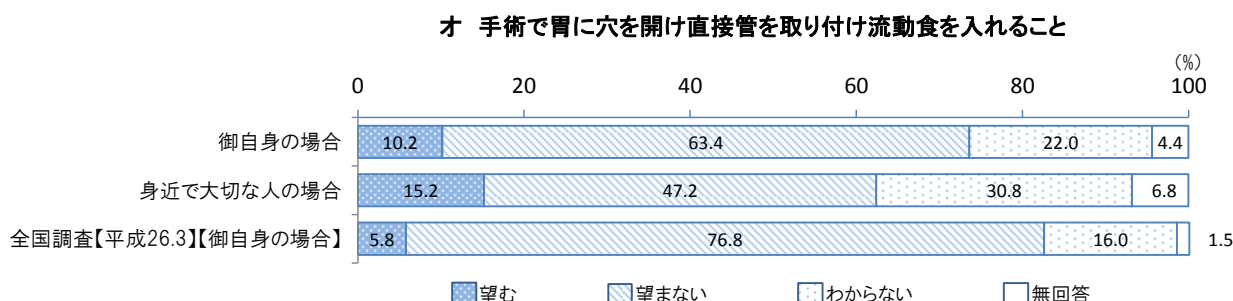
(オ)口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)

口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が63.4%と最も高く、次いで「わからない」(22.0%)、「望む」(10.2%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が47.2%と最も高く、次いで「わからない」(30.8%)、「望む」(15.2%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が16.2ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が5.0ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で13.4ポイント、【身近で大切な人の場合】で29.6ポイント低くなっている。



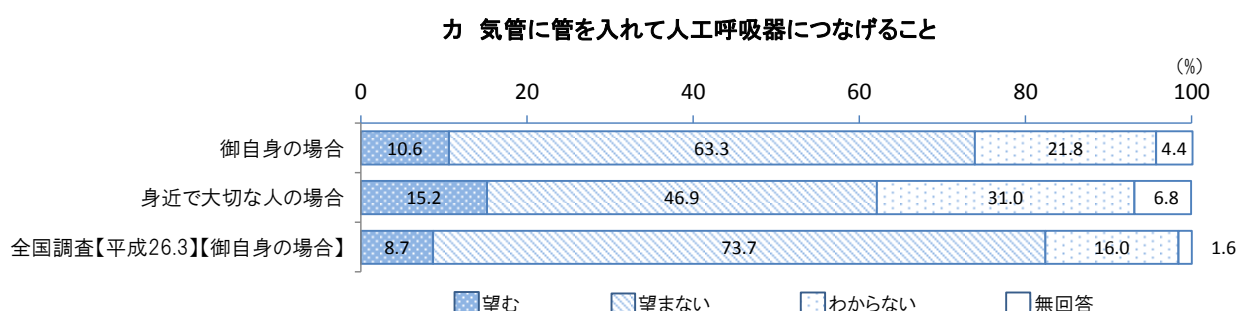
(カ)呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合があります)

呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合があります)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が63.3%と最も高く、次いで「わからない」(21.8%)、「望む」(10.6%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が46.9%と最も高く、次いで「わからない」(31.0%)、「望む」(15.2%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が16.4ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が4.6ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で10.4ポイント、【身近で大切な人の場合】で26.8ポイント低くなっている。



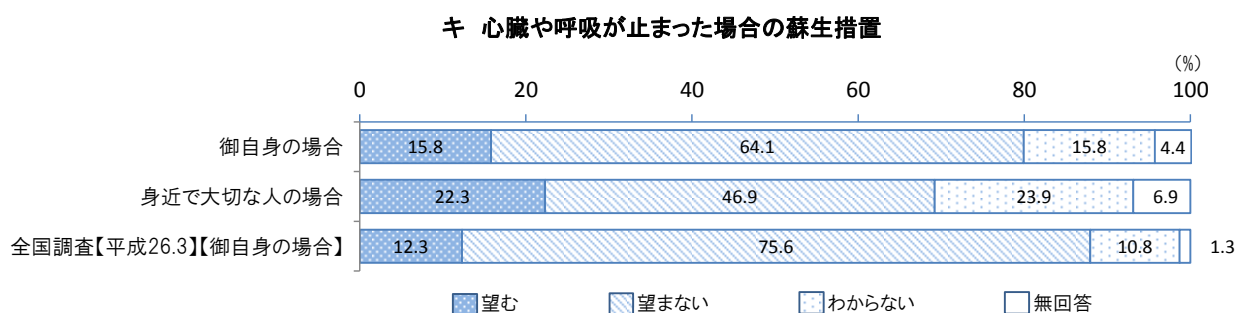
(キ)心臓や呼吸が止まった場合の蘇生措置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)

心臓や呼吸が止まった場合の蘇生措置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が64.1%と最も高く、次いで「望む」、「わからない」(ともに15.8%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が46.9%と最も高く、次いで「わからない」(23.9%)、「望む」(22.3%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が17.2ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が6.5ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で11.5ポイント、【身近で大切な人の場合】で28.7ポイント低くなっている。



⑤交通事故により半年以上意識がなく、管から栄養をとっている状態で、衰弱が進んでいる場合

《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

交通事故で強く頭を打ち、既に半年以上意識がなく、管から栄養をとっている状態ですが、衰弱が進んでいます。

—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、いずれ肺炎などで死に至る。」とのことです。

問14-1 (i)あなた御自身の場合、どこで過ごしながら医療を受けたいですか。(○は1つ)

【基礎項目1】

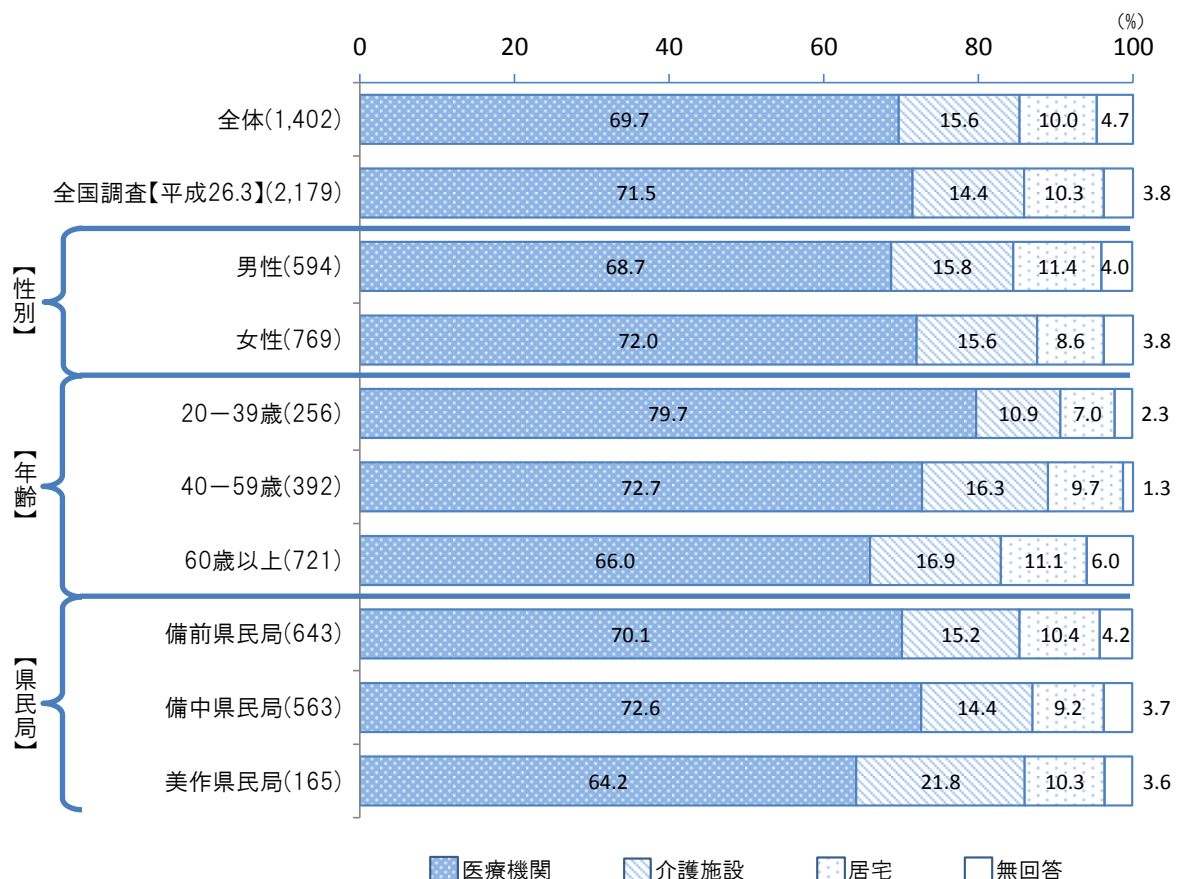
御自身の場合、どこで過ごしながら医療を受けたいかについて、「医療機関」と回答した割合が69.7%と最も高く、次いで「介護施設」(15.6%)、「居宅」(10.0%)となっている。

全国調査と比較すると、「医療機関」と回答した割合が1.8ポイント低くなっている。

【性別】「医療機関」と回答した割合が、女性で72.0%と男性(68.7%)に比べて高くなっている。

【年齢】「医療機関」と回答した割合は、20-39歳で79.7%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が低くなっている。また、「介護施設」と回答した割合は、60歳以上で16.9%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が高くなっている。

【県民局】「介護施設」と回答した割合は、美作県民局で21.8%で、他の県民局に比べて高くなっている。



【基礎項目2】

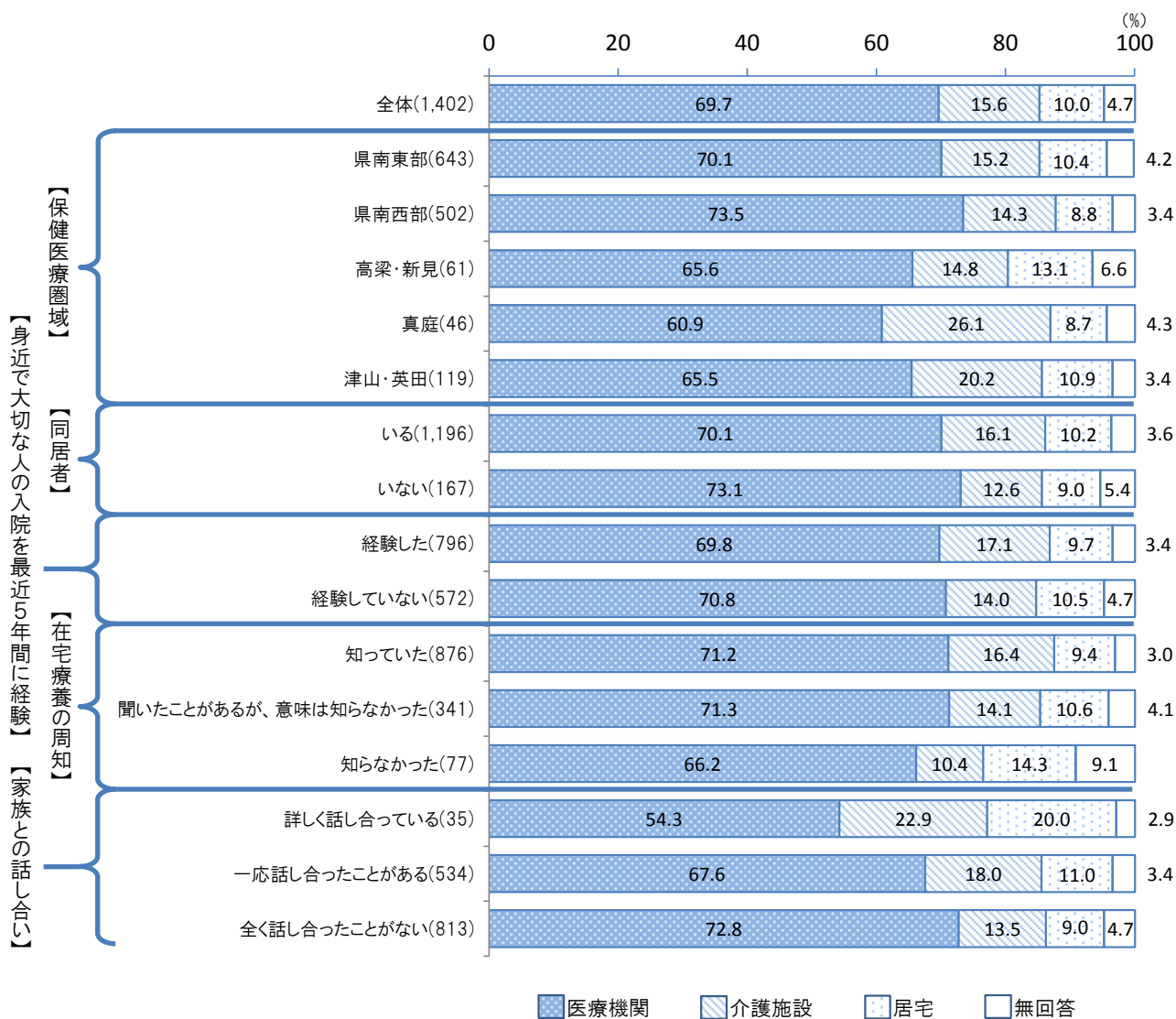
【保健医療圏域】「介護施設」と回答した割合が、[真庭]で26.1%と、他の保健医療圏域に比べて高くなっている。

【同居者】同居者の有無で、あまり違いはみられない。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【在宅療養の周知】「居宅」と回答した割合が、[知らなかった]で14.3%で、周知が低くなるにつれて回答割合が高くなっている。

【家族との話し合い】「医療機関」と回答した割合が、[全く話し合ったことがない]で72.8%で、話し合いが少なくなるにつれて回答割合が高くなっている。



問14-1 (ii)あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいですか。
(〇は1つ)

【基礎項目1】

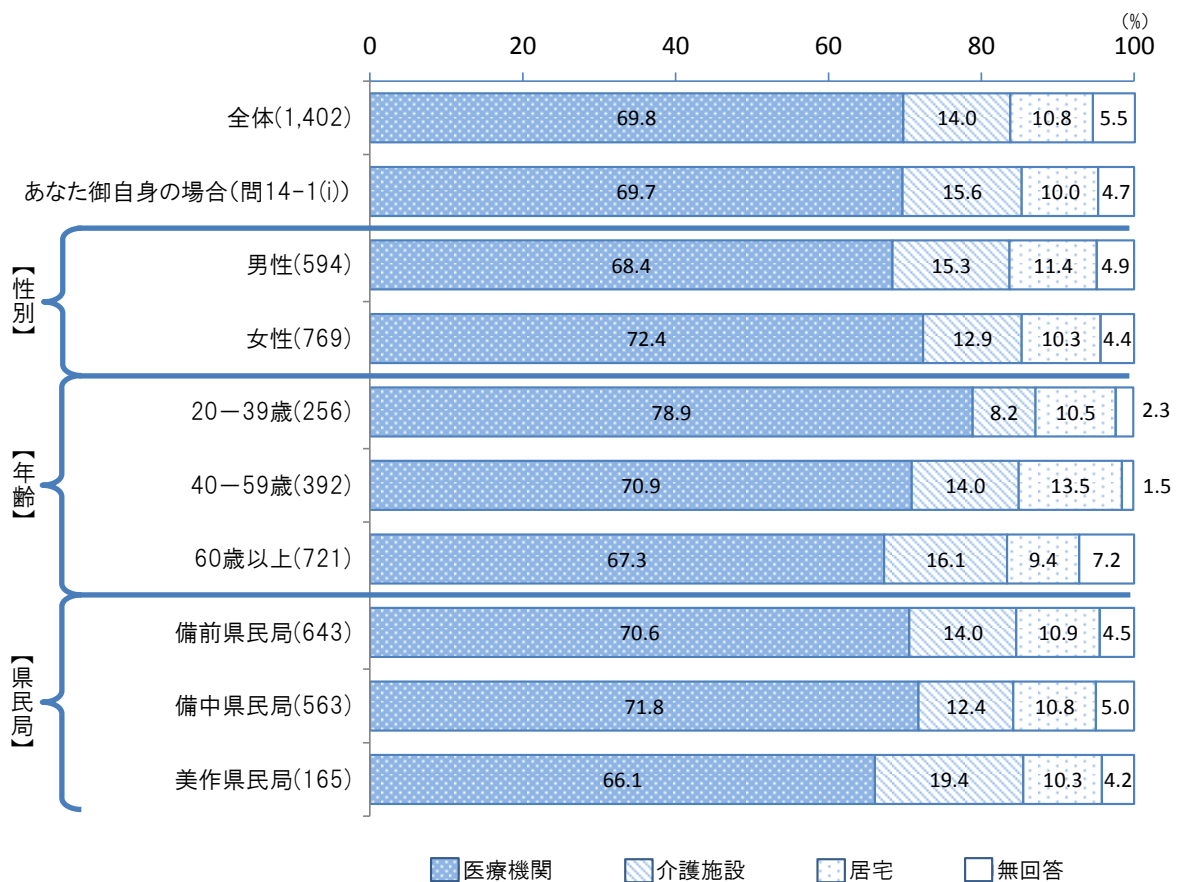
身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいかについて、「医療機関」と回答した割合が69.8%と最も高く、次いで「介護施設」(14.0%)、「居宅」(10.8%)となっている。

前問の【あなた御自身の場合】と比較すると、「居宅」と回答した割合が0.8ポイント高くなっている。

【性別】「医療機関」と回答した割合が、女性で72.4%と男性(68.4%)に比べて高くなっている。

【年齢】「医療機関」と回答した割合は、20-39歳で78.9%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が低くなっている。また、「介護施設」と回答した割合は、60歳以上で16.1%で、年齢が高くなるにつれて回答割合が高くなっている。

【県民局】「介護施設」と回答した割合が、美作県民局で19.4%と、他の県民局と比べて高くなっている。



【基礎項目2】

【保健医療圏域】「居宅」と回答した割合が、[高梁・新見]で16.4%と、他の保健医療圏域に比べて高くなっている。

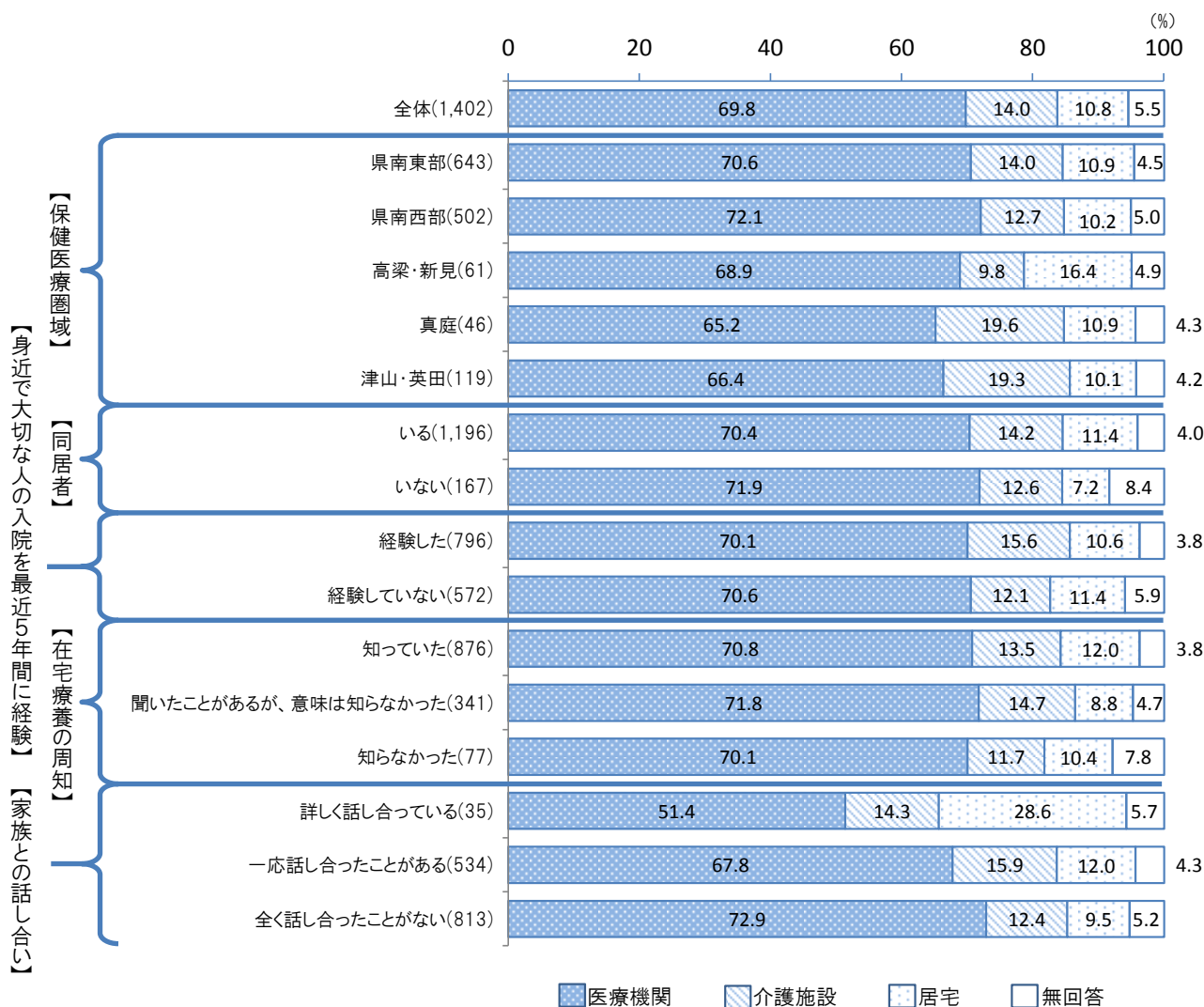
【同居者】「居宅」と回答した割合が、同居者が[いる]で11.4%と、[いない]（7.2%）に比べて高くなっている。

【身近で大切な人の入院を最近5年間に経験】身近で大切な人の入院を最近5年間に経験したかで、あまり違いはみられない。

【在宅療養の周知】在宅療養の周知の有無で、あまり違いはみられない。

【家族との話し合い】「医療機関」と回答した割合が、[全く話し合ったことがない]で72.9%で、話し合いが少なくなるにつれて回答割合が高くなっている。

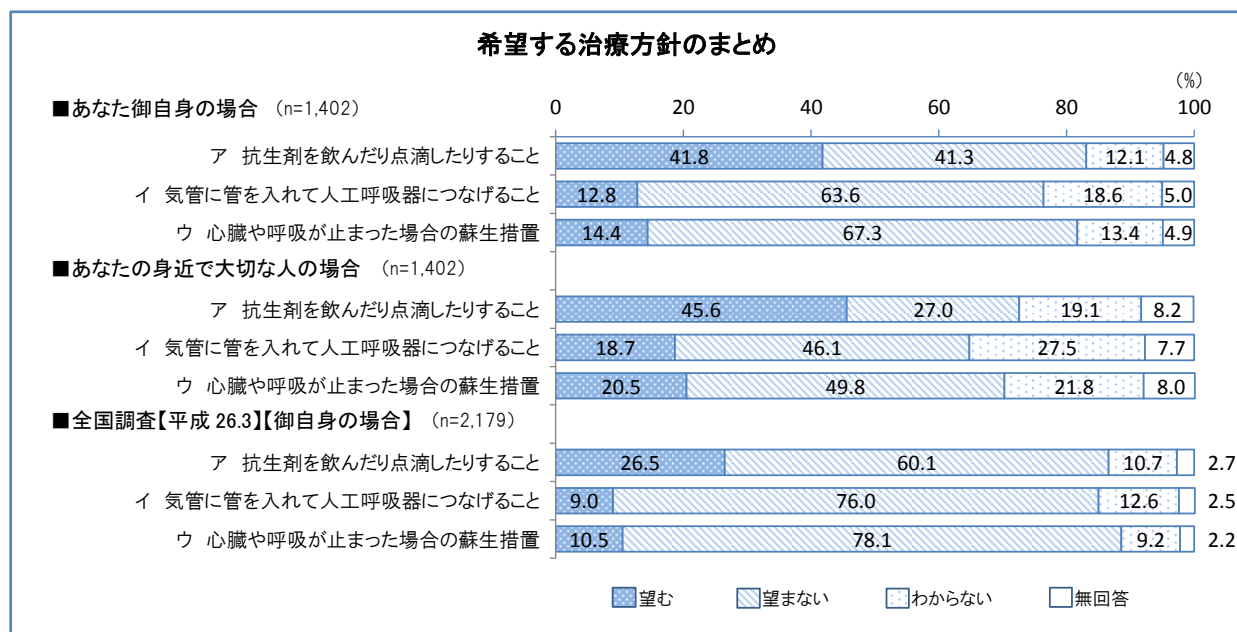
また、「居宅」と回答した割合は、[詳しく話し合っている]で28.6%で、話し合いが詳しくなるにつれて回答割合が高くなっている。



問14-2 (i)あなた御自身の場合、(ii)あなたの身近で大切な人の場合、下記のア～ウの治療を望みますか。(○は(i)(ii)について、それぞれ1つ)

⑤交通事故により半年以上意識がなく、管から栄養をとっている状態で、衰弱が進んでいる場合

- あなた御自身の場合—
- あなたの身近で大切な人の場合—
- 全国調査【平成 26.3】【御自身の場合】—



■⑤交通事故により半年以上意識がなく、管から栄養をとっている状態で、衰弱が進んでいる場合
希望する治療方針 【御自身の場合】と【身近で大切な人の場合】の比較

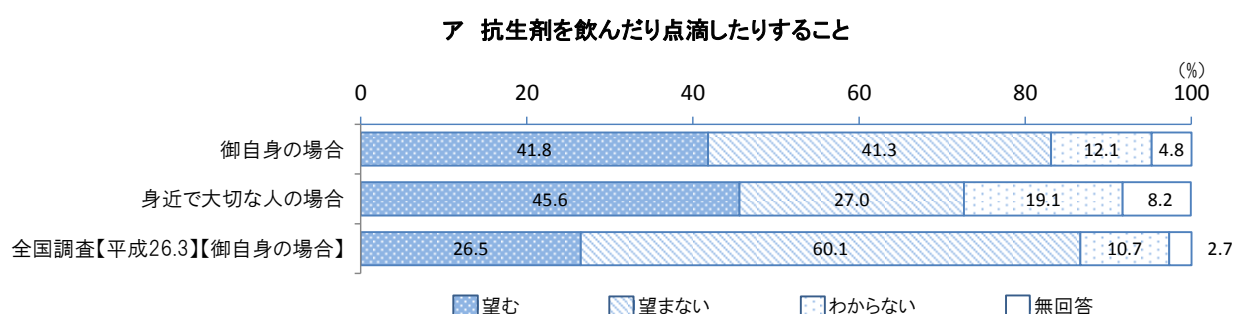
(ア)肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること

肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすることについて、【御自身の場合】で「望む」と回答した割合が41.8%と最も高く、次いで「望まない」(41.3%)、「わからない」(12.1%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望む」と回答した割合が45.6%と最も高く、次いで「望まない」(27.0%)、「わからない」(19.1%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が14.3ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が3.8ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で18.8ポイント、【身近で大切な人の場合】で33.1ポイント低くなっている。



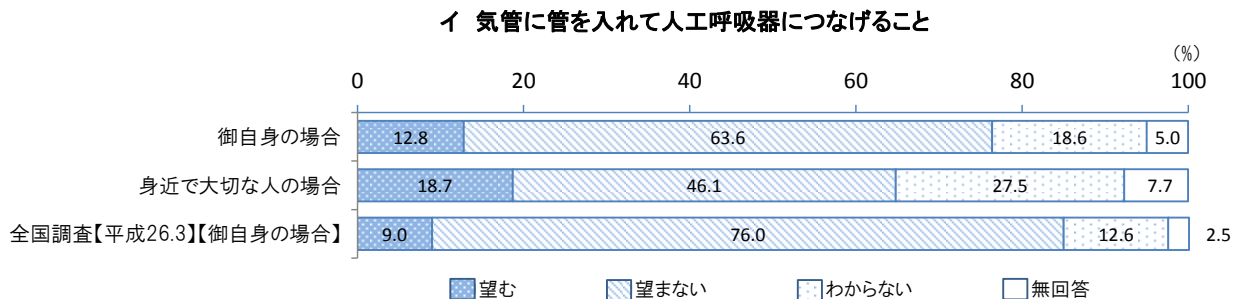
(イ)呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)

呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が63.6%と最も高く、次いで「わからない」(18.6%)、「望む」(12.8%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が46.1%と最も高く、次いで「わからない」(27.5%)、「望む」(18.7%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が17.5ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が5.9ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で12.4ポイント、【身近で大切な人の場合】で29.9ポイント低くなっている。



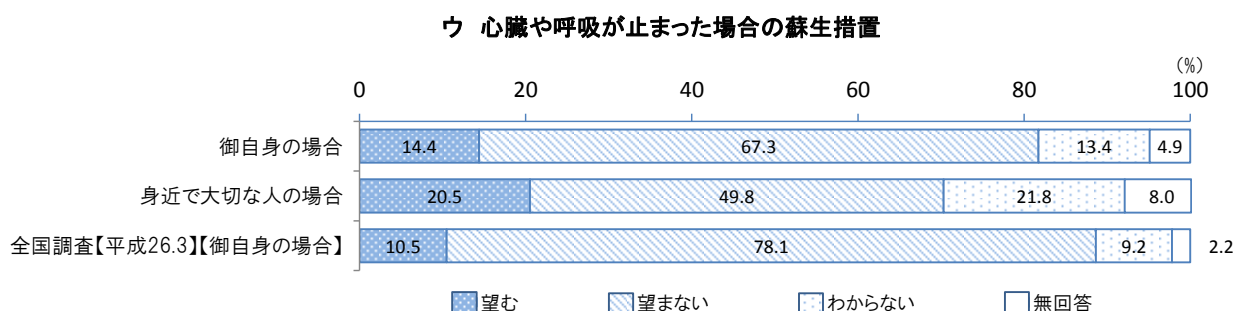
(ウ)心臓や呼吸が止まった場合の蘇生措置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)

心臓や呼吸が止まった場合の蘇生措置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が67.3%と最も高く、次いで「望む」(14.4%)、「わからない」(13.4%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が49.8%と最も高く、次いで「わからない」(21.8%)、「望む」(20.5%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が17.5ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が6.1ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で10.8ポイント、【身近で大切な人の場合】で28.3ポイント低くなっている。



⑥交通事故により心肺停止となったのち蘇生したものの、2週間が経過した時点で意識はなく、人工呼吸器と点滴を受けている場合

《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

交通事故で全身を強く打ち、一時呼吸も心臓の動きも止まった状態になりましたが、処置により心臓の動きは戻りました。集中治療室に入って2週間が経過した現在、意識はなく、気管から管を入れて付けている人工呼吸器がなければ呼吸ができません。栄養や薬などを入れるため、太い血管に点滴の管が入っています。

—医療上の判断—

「あらゆる治療を行っているが、効果がなく、このまま徐々に死に至る。」とのこと。

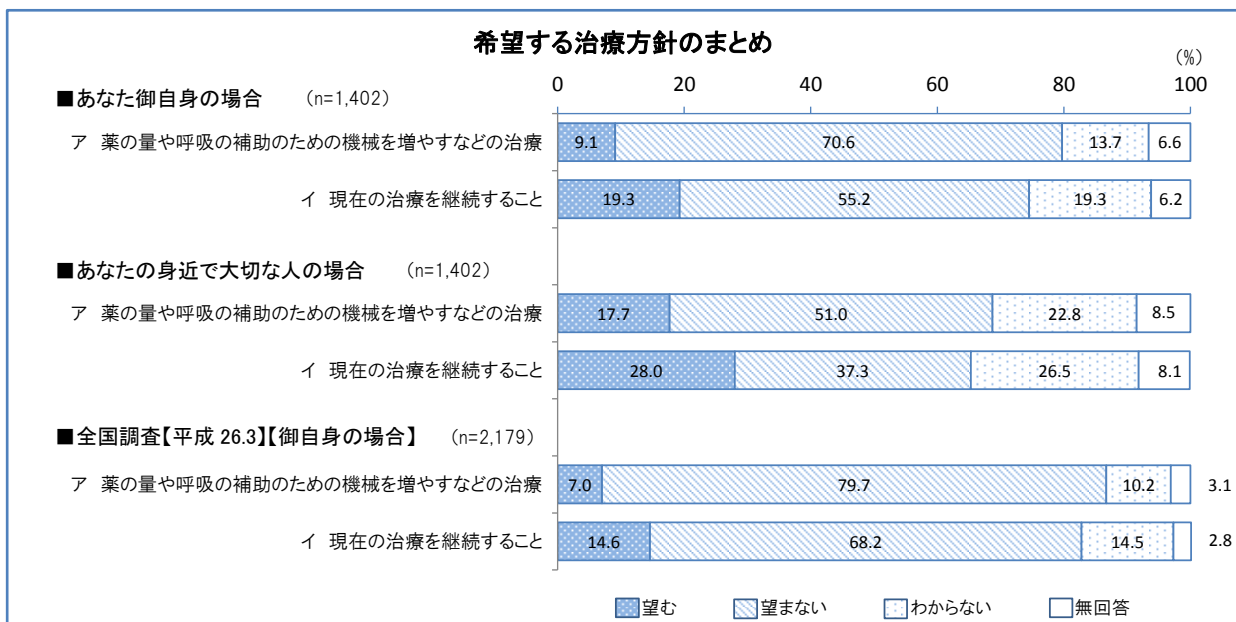
問15-1 (i)あなた御自身の場合、(ii)あなたの身近で大切な人の場合、下記のア～イの治療を望みますか。(○は(i)(ii)について、それぞれ1つ)

⑥交通事故により心肺停止となったのち蘇生したものの、2週間が経過した時点で意識はなく、人工呼吸器と点滴を受けている場合

—あなた御自身の場合—

—あなたの身近で大切な人の場合—

—全国調査【平成 26.3】【御自身の場合】—



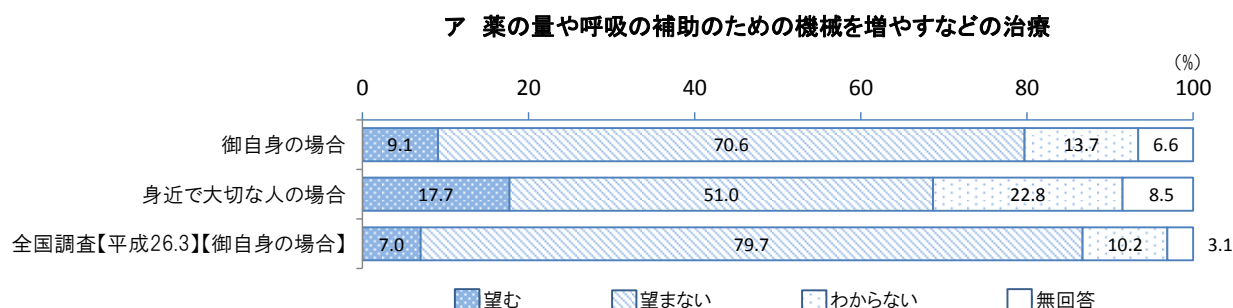
(ア) 状態が悪くなるのに対応して、薬の量や呼吸の補助のための機械の設定を増やすなどの更なる治療

状態が悪くなるのに対応して、薬の量や呼吸の補助のための機械の設定を増やすなどの更なる治療について、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が70.6%と最も高く、次いで「わからない」(13.7%)、「望む」(9.1%)となっている。

また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が51.0%と最も高く、次いで「わからない」(22.8%)、「望む」(17.7%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が19.6ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が8.6ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で9.1ポイント、【身近で大切な人の場合】で28.7ポイント低くなっている。



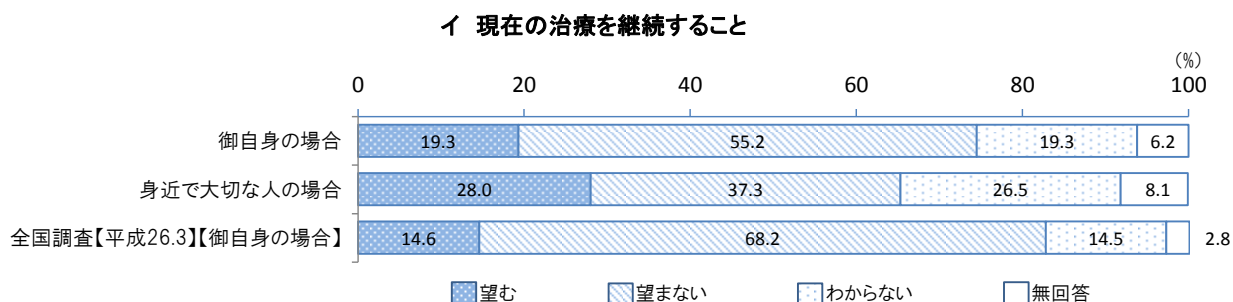
(イ) 現在の治療を継続すること

現在の治療を継続することについて、【御自身の場合】で「望まない」と回答した割合が55.2%と最も高く、次いで「望む」、「わからない」(ともに19.3%)となっている。

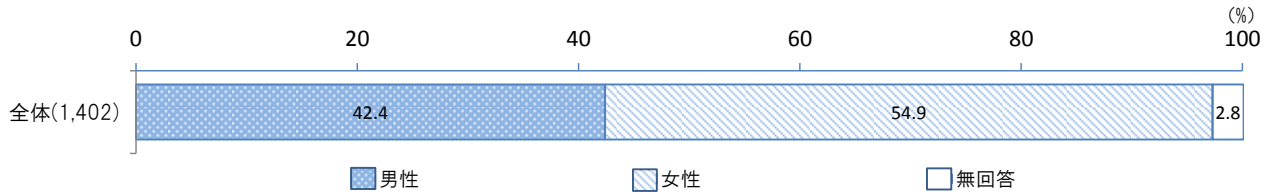
また、【身近で大切な人の場合】で「望まない」と回答した割合が37.3%と最も高く、次いで「望む」(28.0%)、「わからない」(26.5%)となっている。

【御自身の場合】と比較すると、「望まない」と回答した割合が17.9ポイント低くなり、「望む」と回答した割合が8.7ポイント高くなっている。

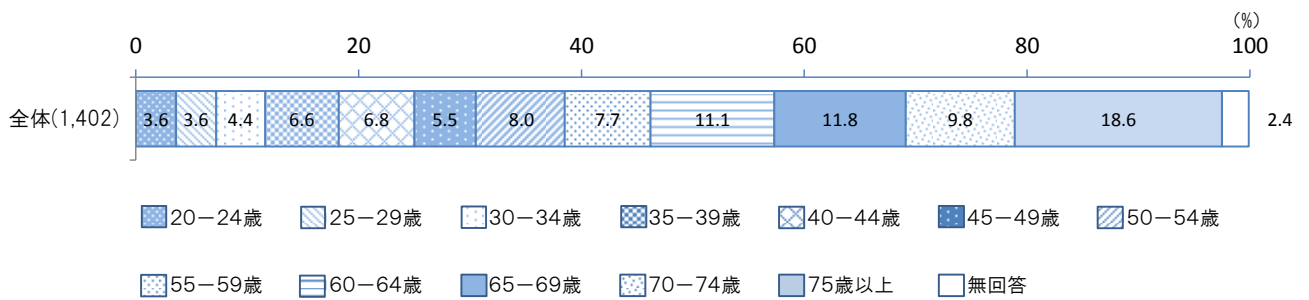
全国調査と比較すると、「望まない」と回答した割合が【御自身の場合】で13.0ポイント、【身近で大切な人の場合】で30.9ポイント低くなっている。



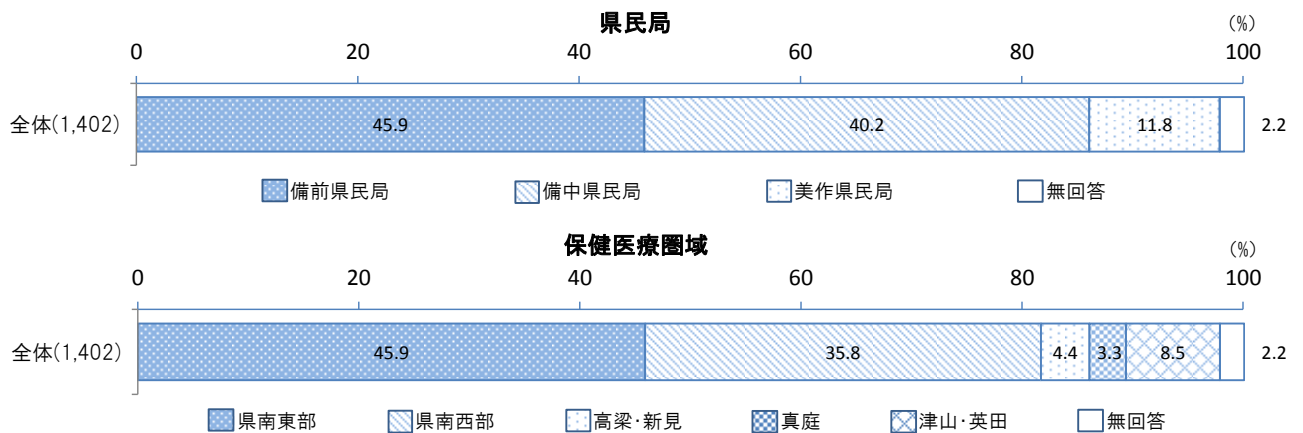
F1 性別



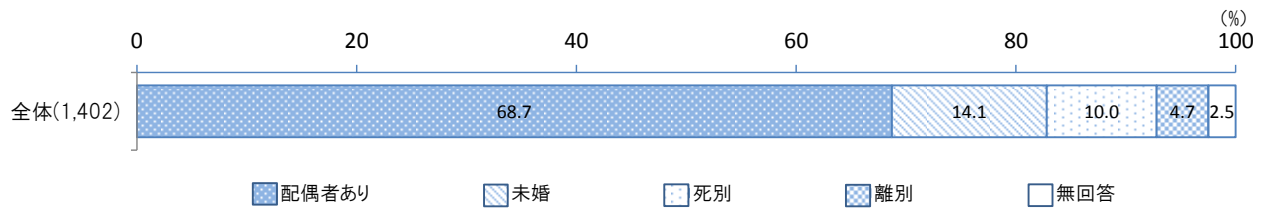
F2 満年齢



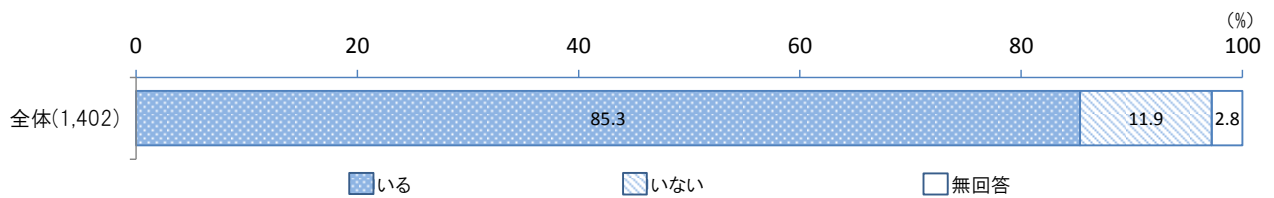
F3 お住まいの市町村



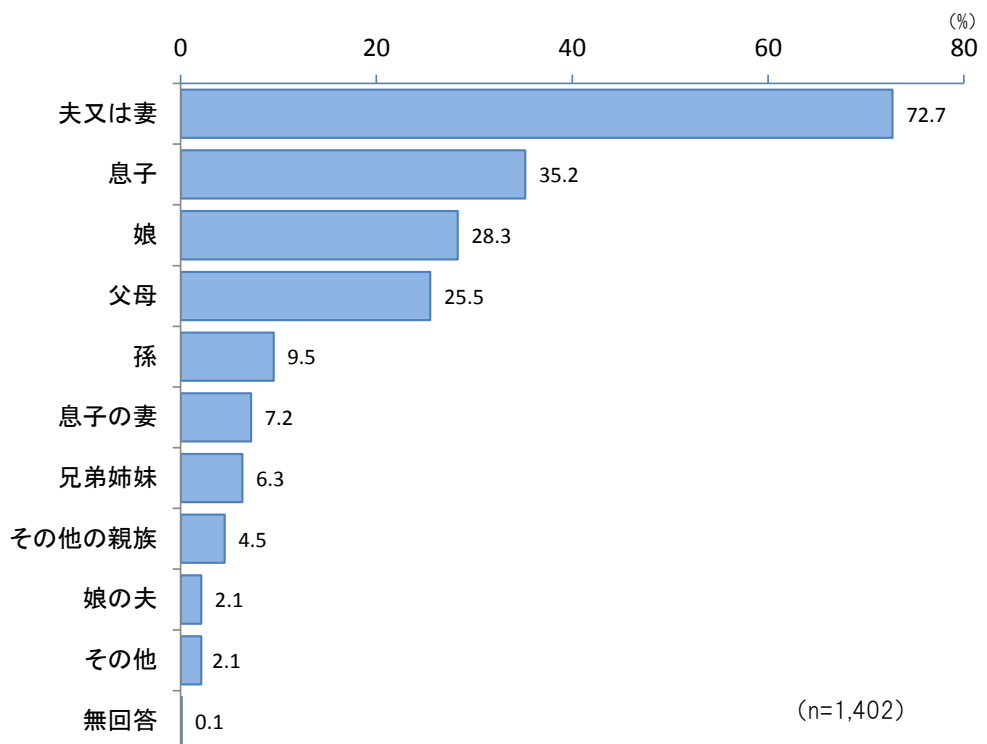
F4 婚姻状況(○は1つ)



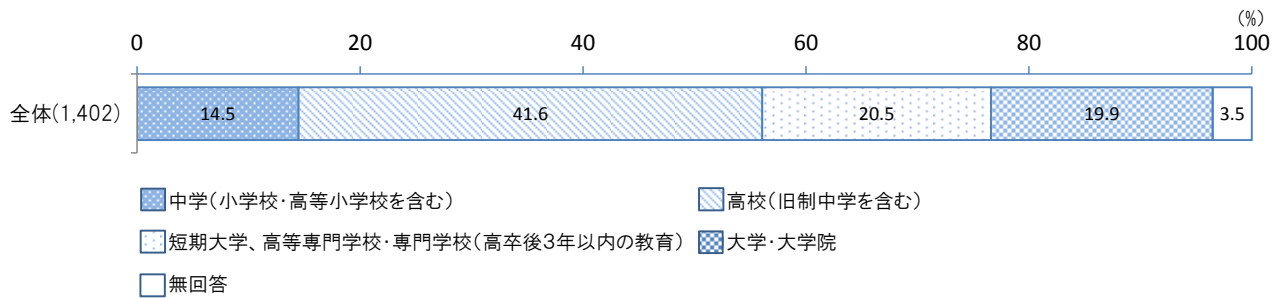
F5 同居している方はいらっしゃいますか。(○は1つ)



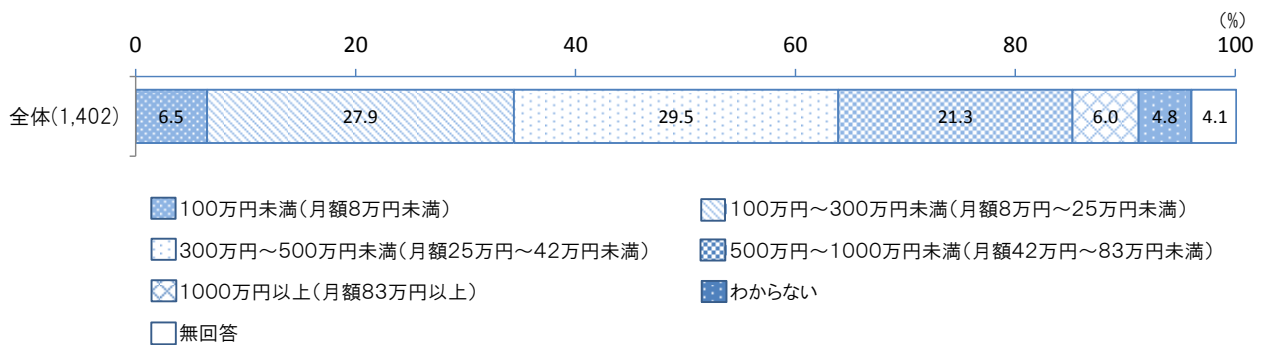
F6 同居しているのはどなたですか。あてはまる回答全てに○をつけてください。



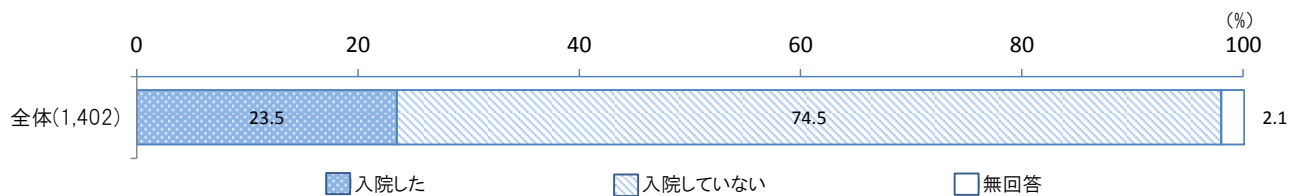
F7 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。中退、在学中も卒業とお考えください。(〇は1つ)



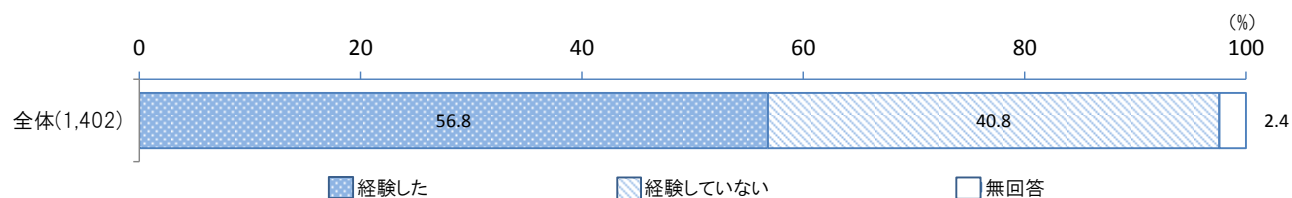
F8 あなたの世帯全体の年間収入(税込み)はおよそどのくらいですか。次の中から当てはまるものに〇をつけてください。(〇は1つ)



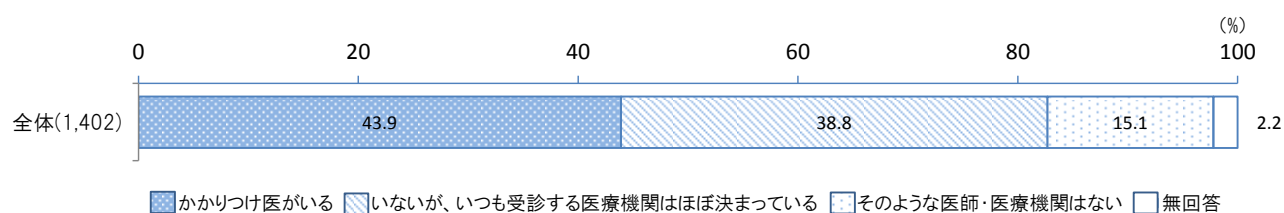
F9 あなたは最近5年間に病気やけがで入院しましたか。(〇は1つ)



F10 あなたは、身近で大切な人の病気やけがによる入院を最近5年間に経験しましたか。(○は1つ)



F11 あなたは、健康状態や病気のこと、気軽に相談でき、決めて診察を受けるかかりつけ医がいますか。(○は1つ)



資料

【調査票】

在宅療養及び人生の最終段階における医療に関する意識調査 御協力をお願い

岡山県の保健医療福祉行政に、日頃から、御理解と御協力をいただきありがとうございます。
我が国では急速に高齢化が進んでおり、本県においても、高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口割合）は27.1%（平成25年10月1日現在）と超高齢社会に突入しています。県では、岡山県保健医療計画に基づき、可能な限り、住み慣れた地域で日常生活を継続しながら、必要な医療と介護が受けられるように、在宅医療と介護サービスが適切に提供できる体制づくりに取り組んでいるところです。つきましては、在宅療養に関する施策を推進する上での参考とするため、「在宅療養及び人生の最終段階における医療に関する意識調査」を行わせていただきます。

御多忙中とは存じますが、本調査へ御協力を賜りますようお願いいたします。

岡山県

【御記入に際してのお願い】

- (1) 宛名の方御本人がお答えください。もし、御本人が御記入できない場合は、御家族や代理の方が御本人の考えを聞きながら御記入ください。
- (2) 御記入は質問の番号にそってお願いします。
- (3) 一部の方だけにお答えいただく質問もございますが、その場合は【…の方に】といった指示があります。
- (4) お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。

【調査票の回収についてのお願い】

- (1) 御記入いただきました調査票は、**2月13日（金）まで**に返送用封筒にて御投函くださいますようお願いいたします。
- (2) 切手は不要です。調査票・返信用封筒に氏名・住所を記入する必要はありません。

【その他】

- (1) 本調査票は県内在住の20歳以上の方のうち、無作為に抽出した2,500名にお送りしています。
- (2) 回答内容は、全て統計的に処理し、個人が特定されることはありません。また、この調査の目的以外のために使用することはありません。

<問い合わせ先>

岡山県保健福祉部医療推進課 担当：土橋、高原

電話：086-226-7321

FAX：086-224-2313

【在宅療養についての御意見をお尋ねします。】

問1 あなたは、「在宅医療」という言葉とその意味を知っていましたか。(〇は1つ)

1 知っていた
2 聞いたことがあるが、意味は知らなかった
3 知らなかった

※ 在宅医療とは、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、リハビリ専門職等の医療関係者が、通院困難な患者の自宅や施設などを定期的に訪問して提供する医療行為のことをいいます。患者や御家族などが、「住み慣れた自宅や地域で過ごしたい・過ごさせたい」とか、「できれば最期は家族と一緒に暮らしたい・看取りたい」ということを望んだときに提供する医療です。
また、在宅療養とは医療行為と同時に必要な介護サービスや、生活支援等を受けながら住み慣れた自宅や地域で療養を行うことをいいます。

問2 あなたは、在宅療養（在宅医療と介護サービス等を受けること）についてどのようなイメージをお持ちですか。下記のア～スそれぞれに該当する数字を1つずつ選んでください。

(〇はそれぞれ1つ)

	1 とてもそう思う	2 やや思う	3 あまり思わない	4 思わない	5 わからない
(記入例) ⇒	1	②	3	4	5
(ア) 在宅でどのような医療を受けられるかわからない	1	2	3	4	
(イ) 在宅でどのような介護サービスを受けられるかわからない	1	2	3	4	
(ウ) 急に病状が変わったときの対応ができない	1	2	3	4	5
(エ) 訪問診療をしてくれる医師を見つけるのは難しい	1	2	3	4	5
(オ) 訪問看護でどのようなサービスを受けられるかわからない	1	2	3	4	
(カ) 家族に負担がかかる	1	2	3	4	5
(キ) 療養できる部屋や風呂・トイレなど住環境が整っている必要がある	1	2	3	4	5
(ク) 費用が高額になる	1	2	3	4	5
(ケ) 今ではがん末期でも痛みのコントロールをしながら在宅で過ごすことができる	1	2	3	4	5
(コ) 在宅でも満足のいく最期を迎えられる	1	2	3	4	5
(サ) 満足度の高い在宅医療と介護サービスが受けられる	1	2	3	4	5
(シ) 御自身の家族が在宅療養を希望した場合、最期まで在宅療養できる	1	2	3	4	5
(ス) 老衰や後遺症等で通院が困難になった場合も病院に入院せず、在宅療養を継続できる体制を社会全体で進めていくべきだと思う	1	2	3	4	5

【人生の最終段階における医療についての御対応や御意見をお尋ねします。】

問3 あなたは、御自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、御家族とどのくらい話し合ったことがありますか。(〇は1つ)

- 1 詳しく話し合っている
- 2 一応話し合ったことがある
- 3 全く話し合ったことがない

問4 あなたは、「リビングウィル」という言葉とその意味を知っていましたか。(〇は1つ)

- 1 知っていた
- 2 聞いたことがあるが、意味は知らなかった
- 3 知らなかった

問5 あなたは、自分で判断ができなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面(リビングウィル/事前指示書)をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。(〇は1つ)

- 1 賛成である
- 2 反対である
- 3 わからない

↓
次ページ 問6へ

→ (問5で「1 賛成である」と回答の方に)

問5-1 実際に書面を作成していますか。(〇は1つ)

- 1 作成している
- 2 作成していない

→ (問5で「1 賛成である」と回答の方に)

問5-2 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面について、どのように扱われるのがよいと思いますか。(〇は1つ)

- 1 そのような書面に従って治療してほしい
- 2 書面に記載した希望を尊重しつつ、家族等や医師又は医療・ケアチームの判断も取り入れながら、治療してほしい
- 3 その他(具体的に)
- 4 わからない

問6 あなたは、治療の選択について自分で判断できなくなった場合には、誰に、治療方針を決めてもらいたいですか。(〇は1つ)

- 1 家族等のうち、自分のことを一番よく分かっている一人の方
- 2 家族等が集まって話し合った結果
- 3 担当する医師又は医療・ケアチーム
- 4 他の人に決めてほしいとは思わない
- 5 わからない

※ 「家族等」の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の治療を決めてほしいと思う人を含みます。

問7 あなたは、どのような治療を受けたいかあるいは受けたくないか自分で判断できなくなった場合に備えて、家族等の中から、あなたに代わって判断してもらう人をあらかじめ決めておくことについてどのように思いますか。(〇は1つ)

- 1 賛成である
- 2 反対である
- 3 わからない

問8 前の問6とは逆に、家族から、治療の選択について代わって判断してもらいたいとあらかじめ頼まれた場合、引き受けますか。(〇は1つ)

- 1 引き受ける
- 2 引き受けようとは思わない
- 3 わからない

問9 あなたは、身近で大切な人の死を最近5年間に経験しましたか。(〇は1つ)

- 1 経験した
- 2 経験していない

↓
次ページ 問10へ

→ (問9で「1 経験した」と回答の方は、直近の方について回答ください。)

問9-1 その大切な人が最期を迎えられた場所はどこでしたか。(〇は1つ)

- 1 医療機関
- 2 介護施設
- 3 居宅

→ (問9で「1 経験した」と回答の方は、直近の方について回答ください。)

問9-2 その大切な人を満足してお送りすることができましたか。(〇は1つ)

- 1 できた
- 2 できなかった

↓
具体的にどのようなところが満足できなかったのか、また、どのようにした方がよかったのか
お考えを教えてください。

[]

【ここから先の質問では、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が回復の難しい状態になった場合の、医療に関する御希望を伺います。いくつかの異なる状態を示しますので、あなた御自身の場合と、あなたの身近で大切な人の場合のそれぞれについてお答えください。】

問10 《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

末期がんと診断されましたが、少し疲れやすいものの、食事もよくとれ、痛みもなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、徐々に死に至る。」とのこと。

お考えに近いものを選んでください。

問10-1

(i) あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいですか。(〇は1つ)

1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

(ii) あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいですか。(〇は1つ)

1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問10-2

(i) あなた御自身の場合、これから、どのような方針での医療を希望しますか。(どの方針であっても、できるだけ痛みや呼吸の苦しきなどの不快な症状を和らげる医療は行います。)(〇は1つ)

- 1 がんの治療を優先した医療
- 2 自分のやりたいこと、自分の生活を優先した医療
- 3 できるだけ医療は受けたくない
- 4 わからない

(ii) あなたの身近で大切な人の場合、これから、どのような方針での医療を希望しますか。(どの方針であっても、できるだけ痛みや呼吸の苦しきなどの不快な症状を和らげる医療は行います。)(〇は1つ)

- 1 がんの治療を優先した医療
- 2 大切な人のやりたいこと、大切な人の生活を優先した医療
- 3 できるだけ医療は受けてもらいたくない
- 4 わからない

問11 《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくく、呼吸が苦しい状態です。
しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、徐々にあるいは急に死に至る。」とのこと。

お考えに近いものを選んでください。

問11-1

(i) あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいですか。(○は1つ)

1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

(ii) あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいですか。
(○は1つ)

1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問11-2 (i) あなた御自身の場合、(ii) あなたの身近で大切な人の場合、下記のア～クの治療を望みますか。(○は(Ⅰ)(Ⅱ)について、それぞれ1つ)

	(i) あなた御自身の場合			(ii) あなたの身近で大切な人の場合		
	1 望む	2 望まない	3 わからない	1 望む	2 望まない	3 わからない
(記入例) ⇒	1	②	3	1	②	3
(ア) 副作用はあるが、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療	1	2	3	1	2	3
(イ) 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲みだり点滴したりすること	1	2	3	1	2	3
(ウ) 口から水が飲めなくなった場合の点滴	1	2	3	1	2	3
(エ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)	1	2	3	1	2	3
(オ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)	1	2	3	1	2	3
(カ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)	1	2	3	1	2	3
(キ) 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉が発声できなくなる場合もあります)	1	2	3	1	2	3
(ク) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生措置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)	1	2	3	1	2	3

問12 《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

慢性の重い心臓病が進行して悪化し、今は食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態です。しかし、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、徐々に死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問12-1

(i) あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいですか。(○は1つ)

1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

(ii) あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいですか。(○は1つ)

1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問12-2 (i) あなた御自身の場合、(ii) あなたの身近で大切な人の場合、下記のア～キの治療を望みますか。(○は(Ⅰ)(Ⅱ)について、それぞれ1つ)

	(i) あなた御自身の場合			(ii) あなたの身近で大切な人の場合		
	1 望む	2 望まない	3 わからない	1 望む	2 望まない	3 わからない
(記入例) ⇒	1	②	3	1	②	3
(ア) 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること	1	2	3	1	2	3
(イ) 口から水が飲めなくなった場合の点滴	1	2	3	1	2	3
(ウ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)	1	2	3	1	2	3
(エ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)	1	2	3	1	2	3
(オ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)	1	2	3	1	2	3
(カ) 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉が発声できなくなる場合もあります)	1	2	3	1	2	3
(キ) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生措置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)	1	2	3	1	2	3

問13 《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

認知症が進行し、自分の居場所や家族の顔が分からず、食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態で、かなり衰弱が進んできました。

—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、徐々にあるいは急に肺炎などで死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問13-1

(i) あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいですか。(Oは1つ)

1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

(ii) あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいですか。(Oは1つ)

1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問13-2 (i) あなた御自身の場合、(ii) あなたの身近で大切な人の場合、下記のア～キの治療を望みますか。(○は(i)(ii)について、それぞれ1つ)

	(i) あなた御自身の場合			(ii) あなたの身近で大切な人の場合		
	1 望む	2 望まない	3 わからない	1 望む	2 望まない	3 わからない
(記入例) ⇒	1	②	3	1	②	3
(ア) 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲みたり点滴したりすること	1	2	3	1	2	3
(イ) 口から水が飲めなくなった場合の点滴	1	2	3	1	2	3
(ウ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)	1	2	3	1	2	3
(エ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)	1	2	3	1	2	3
(オ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)	1	2	3	1	2	3
(カ) 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉が発声できなくなる場合もあります)	1	2	3	1	2	3
(キ) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生措置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)	1	2	3	1	2	3

問14 《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—
 交通事故で強く頭を打ち、既に半年以上意識がなく、管から栄養をとっている状態ですが、衰弱が進んでいます。

—医療上の判断—
 「回復の見込みはなく、いずれ肺炎などで死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問14-1

(i) あなた御自身の場合、どこで過ごしながらか医療を受けたいですか。(○は1つ)

1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

(ii) あなたの身近で大切な人の場合、どこで過ごしながらか医療を受けてもらいたいですか。(○は1つ)

1 医療機関 2 介護施設 3 居宅

問14-2 (i) あなた御自身の場合、(ii) あなたの身近で大切な人の場合、下記のア～ウの治療を望みますか。(○は(i)(ii)について、それぞれ1つ)

	(i) あなた御自身の場合			(ii) あなたの身近で大切な人の場合		
	1 望む	2 望まない	3 わからない	1 望む	2 望まない	3 わからない
(記入例) ⇒	1	②	3	1	②	3
(ア) 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること	1	2	3	1	2	3
(イ) 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)	1	2	3	1	2	3
(ウ) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生措置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)	1	2	3	1	2	3

問15 《もし、あなた御自身やあなたの身近で大切な人が以下のような病状になった場合、どのような医療を希望しますか。》

—あなた又はあなたの身近で大切な人の病状—

交通事故で全身を強く打ち、一時呼吸も心臓の動きも止まった状態になりましたが、処置により心臓の動きは戻りました。集中治療室に入って2週間が経過した現在、意識はなく、気管から管を入れて付けている人工呼吸器がなければ呼吸ができません。栄養や薬などを入れるため、太い血管に点滴の管が入っています。

—医療上の判断—

「あらゆる治療を行っているが、効果がなく、このまま徐々に死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問15-1 (i) あなた御自身の場合、(ii) あなたの身近で大切な人の場合、下記のA～Iの治療を望みますか。(○は(Ⅰ)(Ⅱ)について、それぞれ1つ)

	(i) あなた御自身の場合			(ii) あなたの身近で大切な人の場合		
	1 望む	2 望まない	3 わからない	1 望む	2 望まない	3 わからない
(記入例) ⇒	1	②	3	1	②	3
(ア) 状態が悪くなるのに対応して、薬の量や呼吸の補助のための機械の設定を増やすなどの更なる治療	1	2	3	1	2	3
(イ) 現在の治療を継続すること	1	2	3	1	2	3

【最後に、あなた御自身のことについてお答えください。】

F 1 性別

1 男性	2 女性
------	------

F 2 満年齢

1 20-24歳	4 35-39歳	7 50-54歳	10 65-69歳
2 25-29歳	5 40-44歳	8 55-59歳	11 70-74歳
3 30-34歳	6 45-49歳	9 60-64歳	12 75歳以上

F 3 お住まいの市町村

1 岡山市	7 総社市	13 真庭市	19 矢掛町	25 久米南町
2 倉敷市	8 高梁市	14 美作市	20 新庄村	26 美咲町
3 津山市	9 新見市	15 浅口市	21 鏡野町	27 吉備中央町
4 玉野市	10 備前市	16 和気町	22 勝央町	
5 笠岡市	11 瀬戸内市	17 早島町	23 奈義町	
6 井原市	12 赤磐市	18 里庄町	24 西粟倉村	

F 4 婚姻状況 (〇は1つ)

1 配偶者あり	3 死別
2 未婚	4 離別

F 5 同居している方はいらっしゃいますか。(〇は1つ)

1 いる	2 いない
------	-------

↓
次ページF 6へ

→ (F5で「1 いる」と回答の方に)

F 6 同居しているのはどなたですか。あてはまる回答全てに〇をつけてください。

1 夫又は妻	4 娘	7 兄弟姉妹	10 その他
2 父母	5 息子の妻	8 孫	
3 息子	6 娘の夫	9 その他の親族	

F7 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。中退、在学中も卒業とお考えください。
(○は1つ)

- 1 中学 (小学校・高等小学校を含む)
- 2 高校 (旧制中学を含む)
- 3 短期大学、高等専門学校・専門学校 (高卒後3年以内の教育)
- 4 大学・大学院

F8 あなたの世帯全体の年間収入 (税込み) はおよそどのくらいですか。次の中から当てはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

- 1 100万円未満 (月額8万円未満)
- 2 100万円～300万円未満 (月額8万円～25万円未満)
- 3 300万円～500万円未満 (月額25万円～42万円未満)
- 4 500万円～1000万円未満 (月額42万円～83万円未満)
- 5 1000万円以上 (月額83万円以上)
- 6 わからない

F9 あなたは最近5年間に病気やけがで入院しましたか。(○は1つ)

- 1 入院した
- 2 入院していない

F10 あなたは、身近で大切な人の病気やけがによる入院を最近5年間に経験しましたか。
(○は1つ)

- 1 経験した
- 2 経験していない

F11 あなたは、健康状態や病気のことで、気軽に相談でき、決まって診察を受けるかかりつけ医がいますか。(○は1つ)

- 1 かかりつけ医がいる
- 2 かかりつけ医といえる医師はいないが、いつも受診する医療機関はおぼろげに決まっている
- 3 そのような医師・医療機関はない

長い間、御協力くださりまして、ありがとうございました。